

西宮市

子ども・子育て支援事業計画
作成のためのアンケート調査

結果速報

平成 26 年 1 月

西宮市

～ 目 次 ～

調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査設計	2
3. 回収結果	2
4. 報告書の見方	2
就学前児童用調査結果	3
1. 宛名のお子さんご家族の状況などについて	4
2. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	8
3. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	16
4. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	21
5. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	25
6. 宛名のお子さんの病気の際の対応について	28
7. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	31
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	34
9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	35
10. 子育てへの思いについて	39
小学生用調査結果	43
1. 宛名のお子さんご家族の状況などについて	44
2. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	49
3. 宛名のお子さんの放課後や休日の過ごし方について	57
4. 宛名のお子さんの留守家庭児童育成センター（学童保育）の利用状況や今後の利用意向について	60
5. 子育て支援サービスの認知度・利用意向について	65
6. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	68
7. 子育てへの思いについて	69
宛名のお子さん（小学4年生～6年生）ご本人について	73
1. 放課後の過ごし方について	73
2. あなたの身の回りの遊び場やその環境について	75

調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、本市における子育て支援に関するご意見等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査設計

調査対象者：就学前児童：平成 25 年 9 月 30 日現在、西宮市に住んでいる就学前児童の保護者から無作為に抽出

小 学 生：平成 25 年 9 月 30 日現在、西宮市に住んでいる小学生の保護者から無作為に抽出

調査期間：平成 25 年 11 月 6 日～平成 25 年 12 月 20 日

調査方法：調査票による本人記入方式

郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

3. 回収結果

調査票	調査対象者 (配布数)	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
就学前児童	4,797	2,746	57.2%	2,721	56.7%
小学生	1,500	810	54.0%	798	53.2%
合計	6,297	3,556	56.5%	3,519	55.9%

4. 報告書の見方

今回の調査では子ども・子育て支援事業計画のサービス量を算出するために必要なサンプル数を得るために0歳、1～2歳の調査数を多くしています。集計にあたっては、母集団の構成に近くなるよう、サンプルにウェイト付けを行い集計しています。

回答結果は、少数第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%をこえる場合があります。

グラフおよび表のN数は有効標本数（集計対象者総数）（SA）は単数回答の設問、（MA）は複数回答の設問、（NA）は数量による設問を表しています。

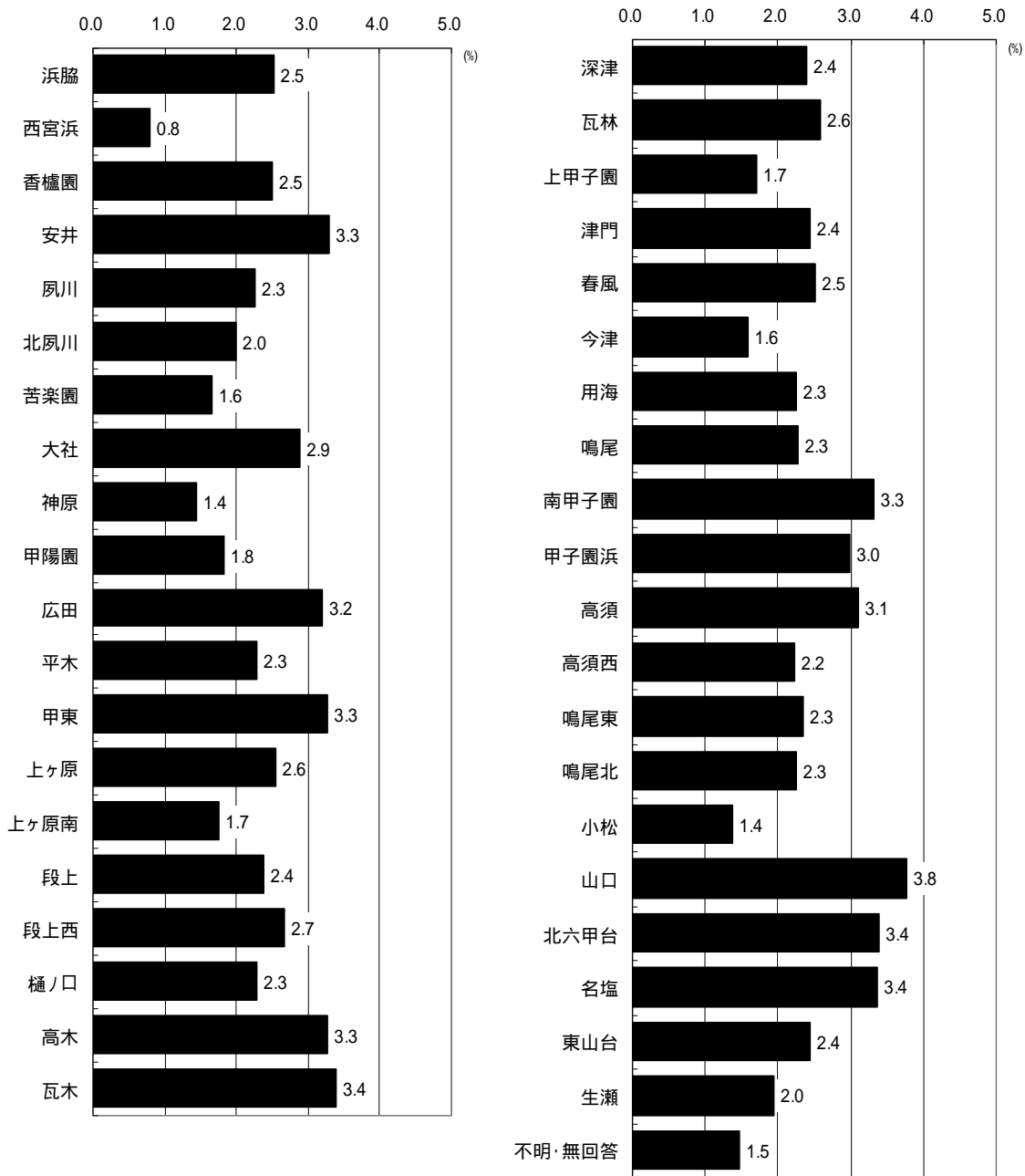
図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

クロス集計した際、不明・無回答票を除いているため、サンプル数の合計が一致しません。

就学前児童用調査結果

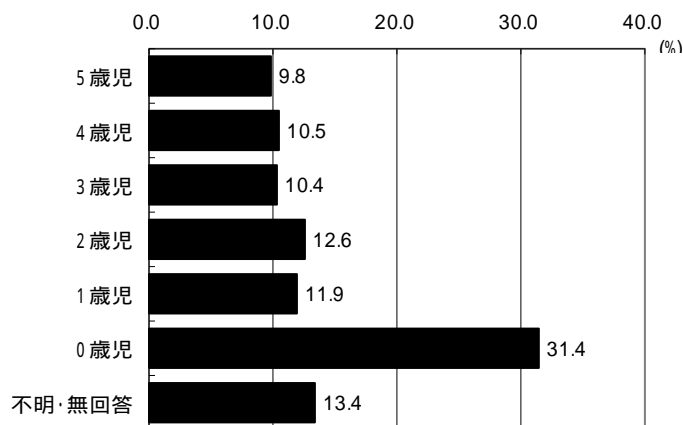
1. 宛名のお子さんご家族の状況などについて

問1 お住まいの小学校区について (SA)



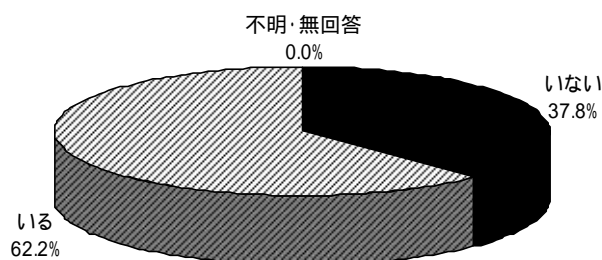
問2 宛名のお子さんの年齢について

お子さんの年齢については、「0歳」が31.4%と最も高くとなっています。



問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(NA)

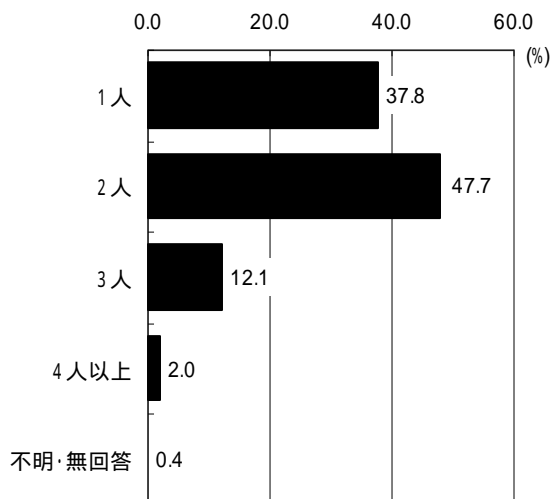
きょうだいの有無については、「いる」が62.2%、「いない」が37.8%となっています。



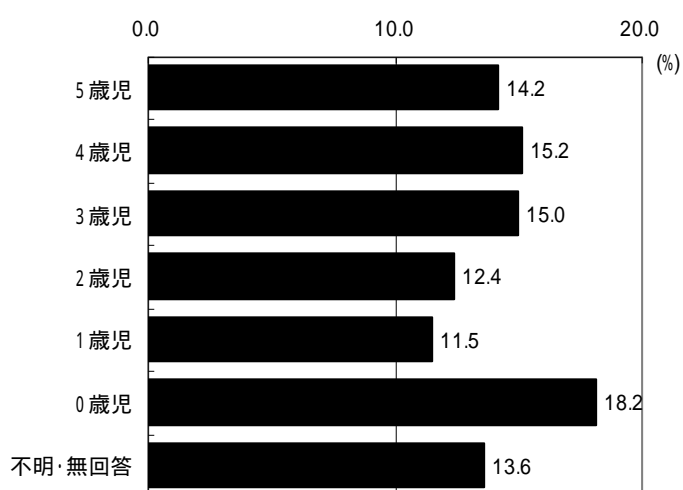
お子さんの人数についてみると、「2人」が47.7%と最も高く、次いで「1人」が37.8%となっています。

末子の年齢については、「0歳児」が18.2%と最も高く、次いで「4歳児」が15.2%となっています。

お子さんの人数

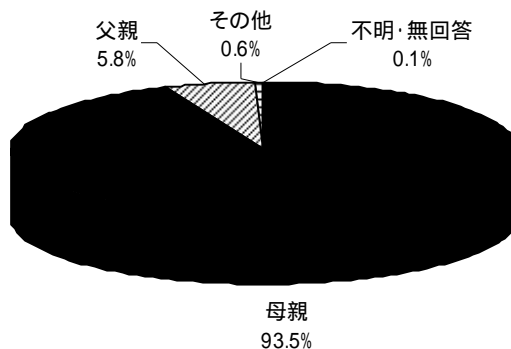


末子の年齢



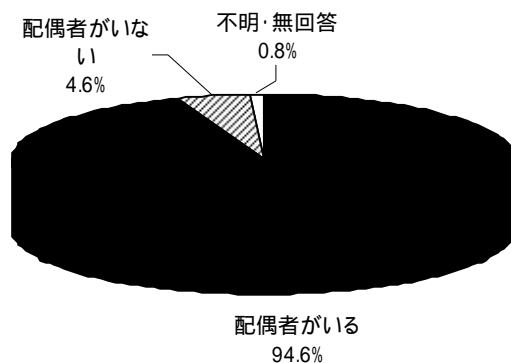
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
(SA)

調査票の回答者は、大半が「母親」で、93.5%となっています。



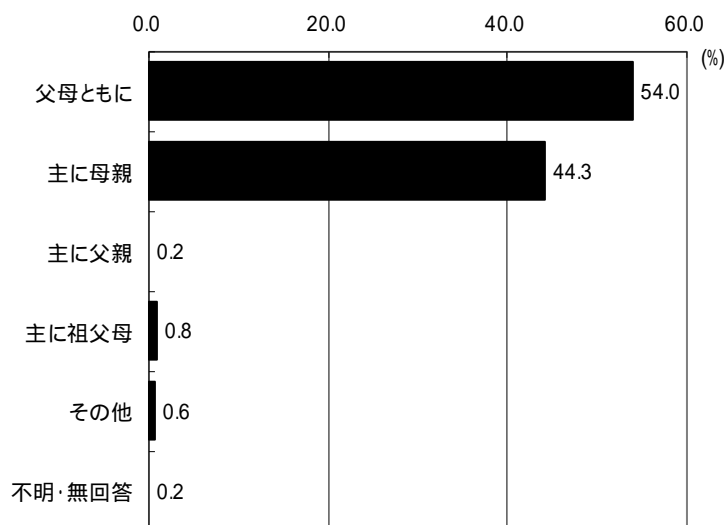
問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(SA)

調査票の回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が最も高く、94.6%となっています。



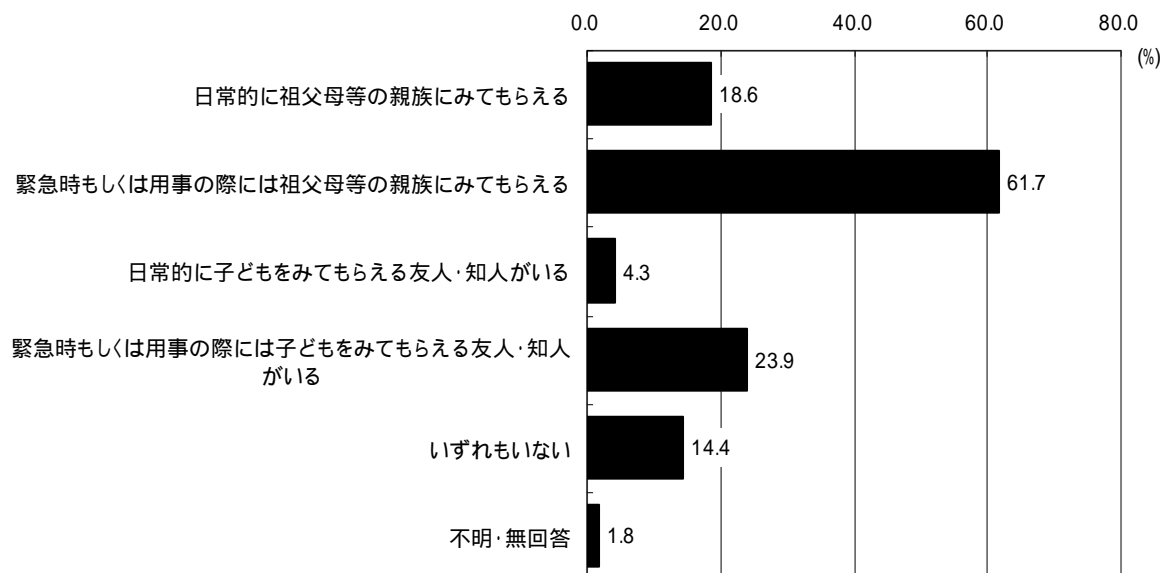
問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(SA)

お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている人を見ると、「父母ともに」が54.0%と最も高く、次いで「主に母親」が44.3%となっています。



問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(MA)

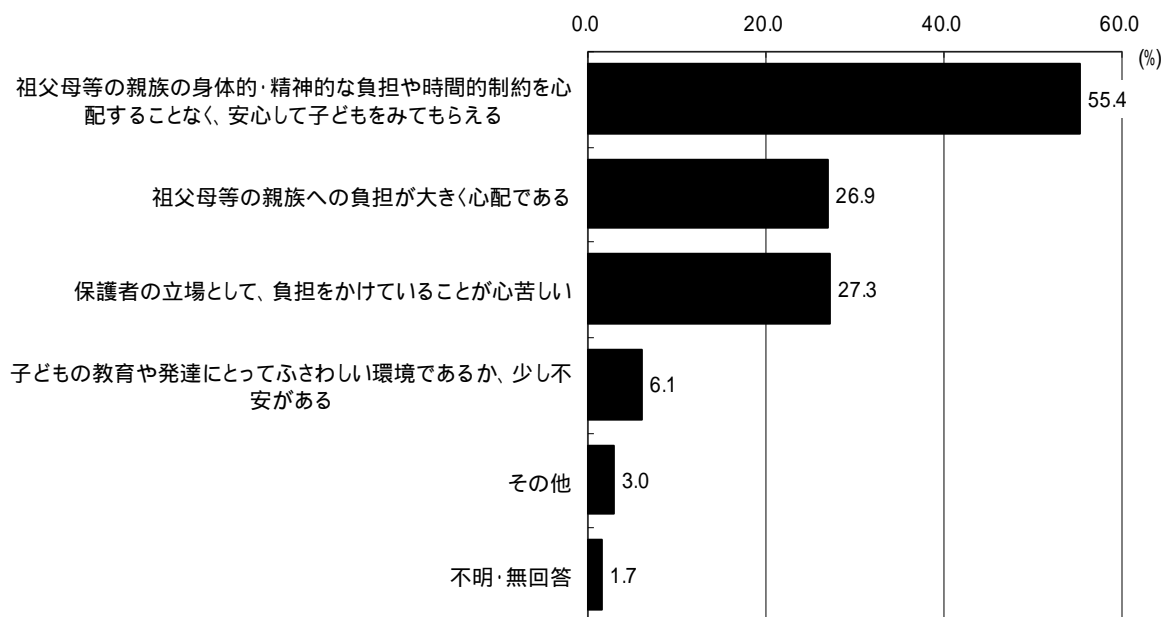
日頃、お子さんを預かってもらえる人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.7%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が23.9%となっています。



[問7 日常的、もしくは緊急時、祖父母等の親族に預かってもらえる方に]

問7 - 1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)

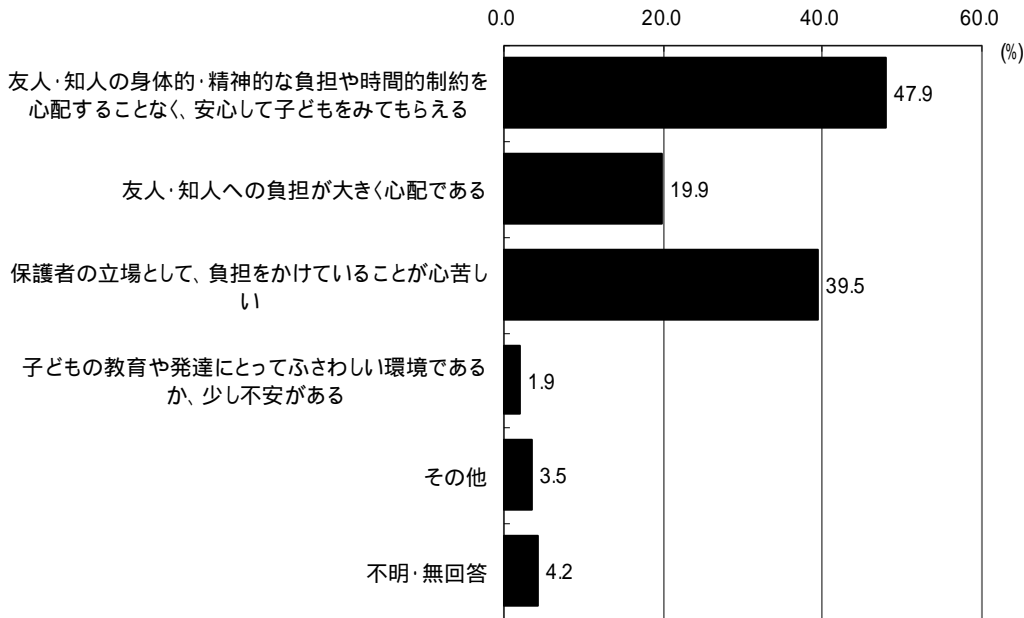
祖父母等に預かってもらっている状況についてみると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.4%と半数以上を占めています。



[問7 日常的、もしくは緊急時、友人・知人に預かってもらえる方に]

問7 - 2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)

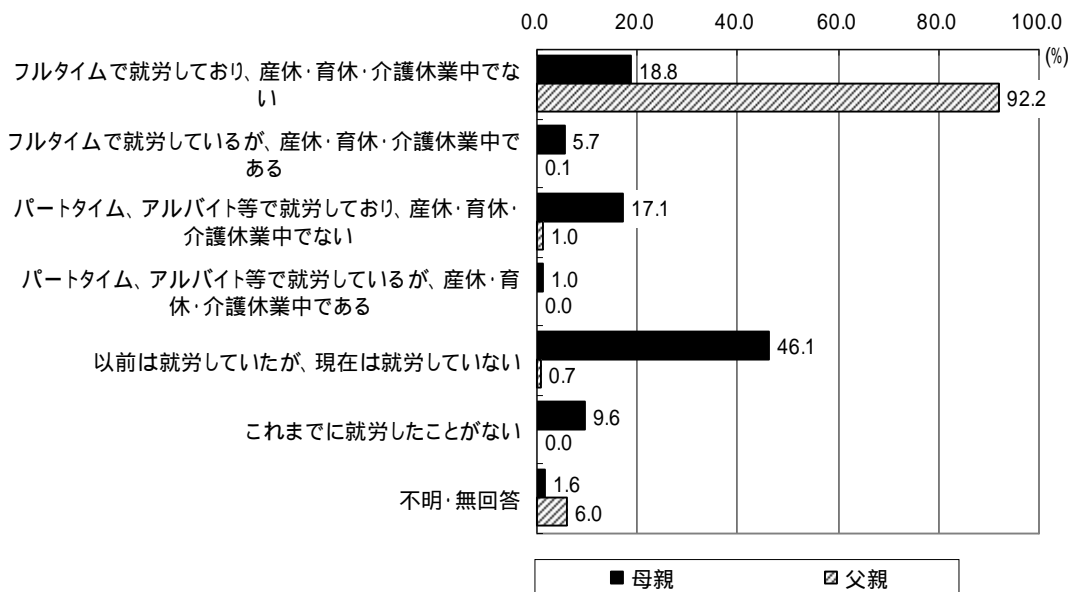
友人・知人に預かってもらっている状況についてみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が47.9%と約半数を占めています。



2. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問8 宛名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。(SA)

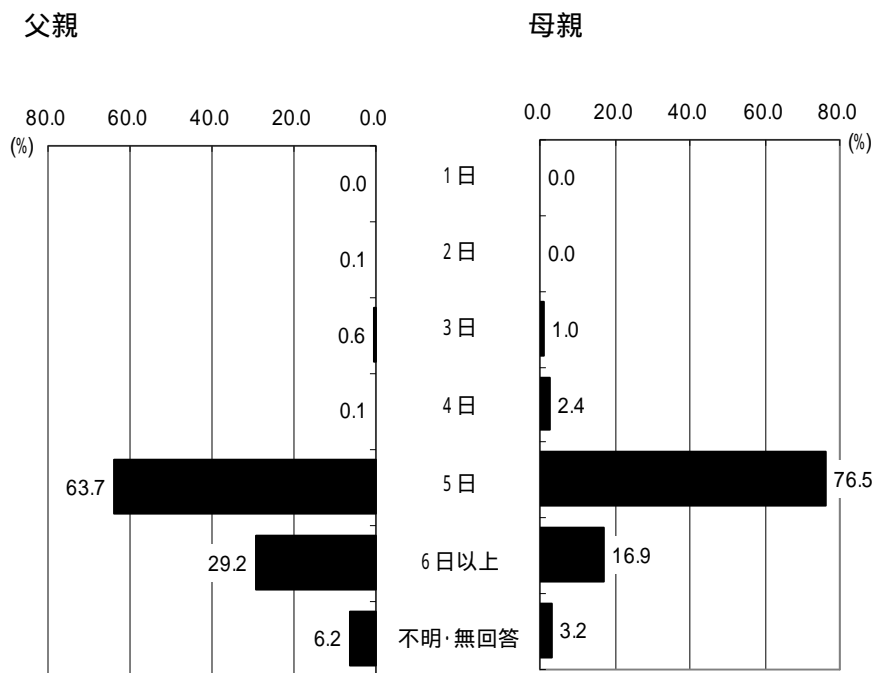
就労状況についてみると、母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が46.1%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が18.8%となっています。父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が92.2%と最も高くなっています。



フルタイム（産休・育休・介護休業中は含まない）の就労状況（NA）

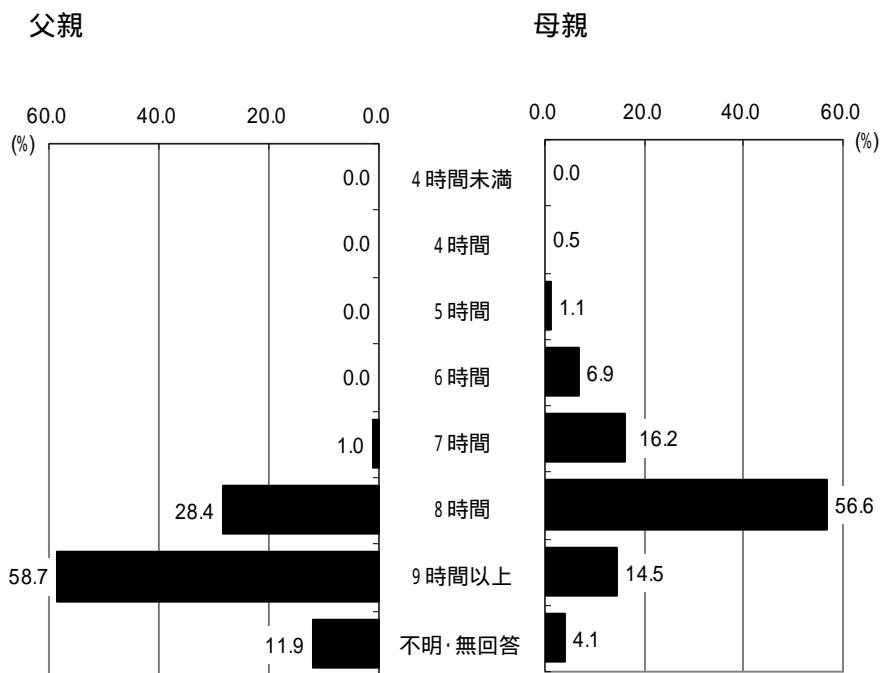
1週当たりの就労日数をみると、父親、母親ともに「5日」が最も高くなっています。

フルタイム：1週当たりの就労日数



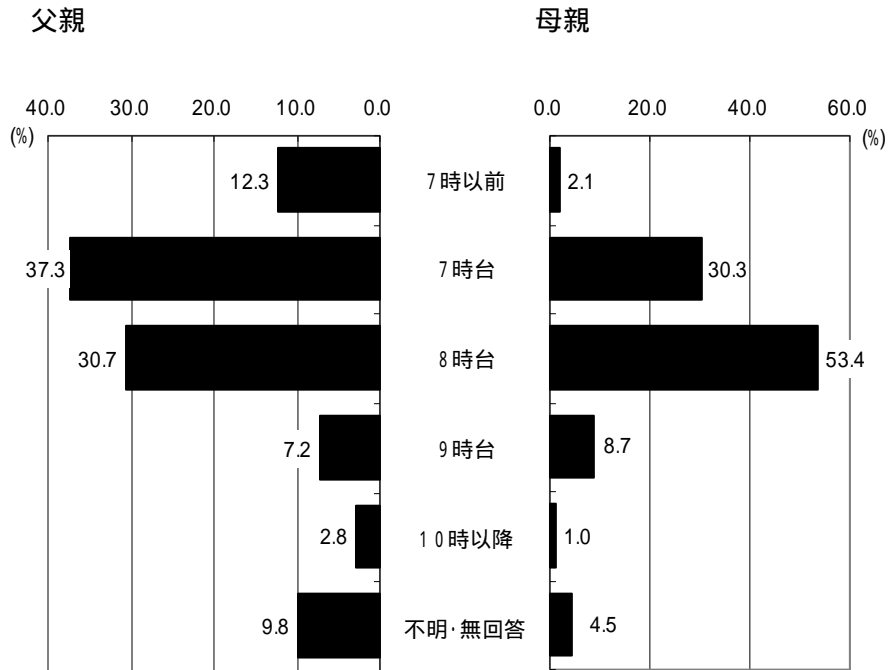
1日当たりの就労時間をみると、父親は「9時間以上」が58.7%と最も高く、次いで「8時間」が28.4%となっています。母親は「8時間」が56.6%と最も高く、次いで「7時間」が16.2%となっています。

フルタイム：1日当たりの就労時間



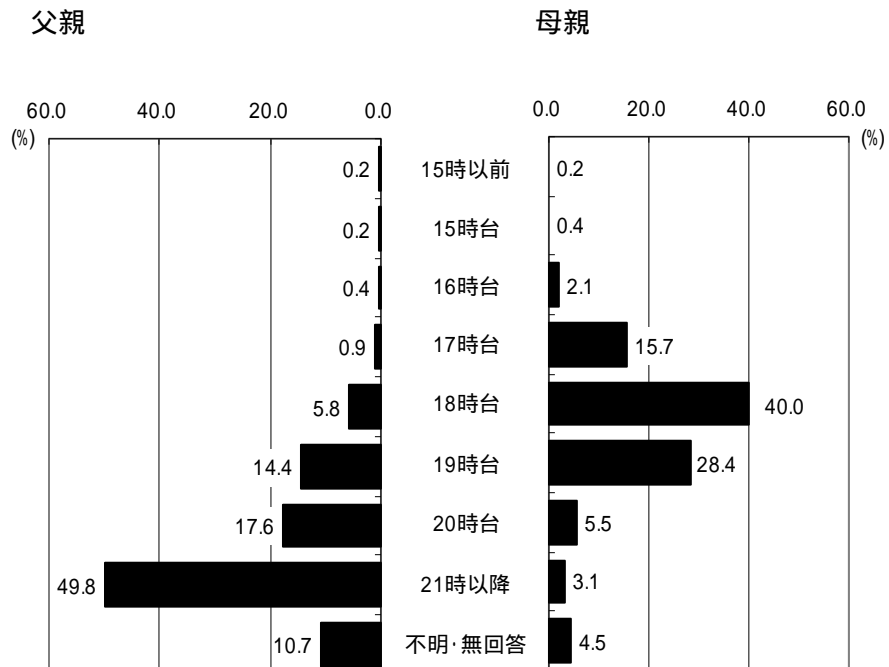
家を出る時間については父親は「7時台」が37.3%と最も高く、次いで「8時台」が30.7%となっています。母親は「8時台」が53.4%と最も高く、次いで「7時台」が30.3%となっています。

フルタイム：家を出る時間



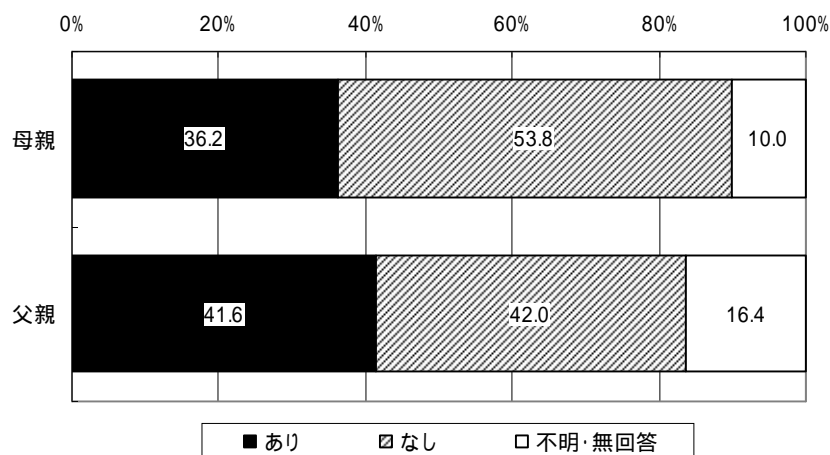
帰宅時間については父親は約半数が「21時以降」となっています。母親では「18時台」が40.0%と最も高く、次いで「19時台」が28.4%となっています。

フルタイム：帰宅時間



変則的な勤務の有無については、「あり」が母親は36.2%、父親は41.6%となっています。

フルタイム：変則的な勤務の有無

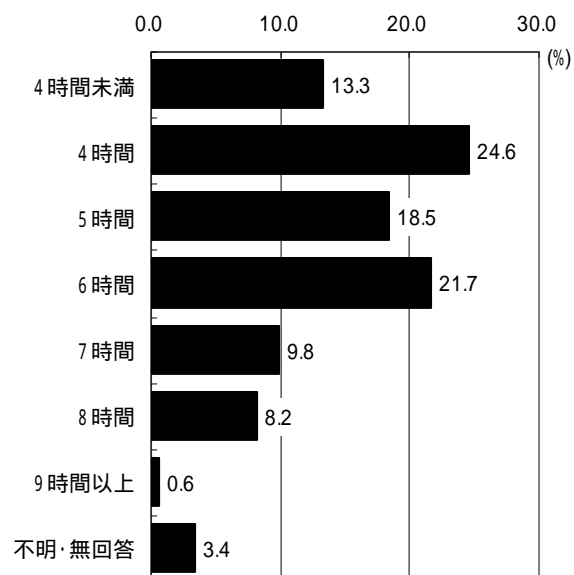
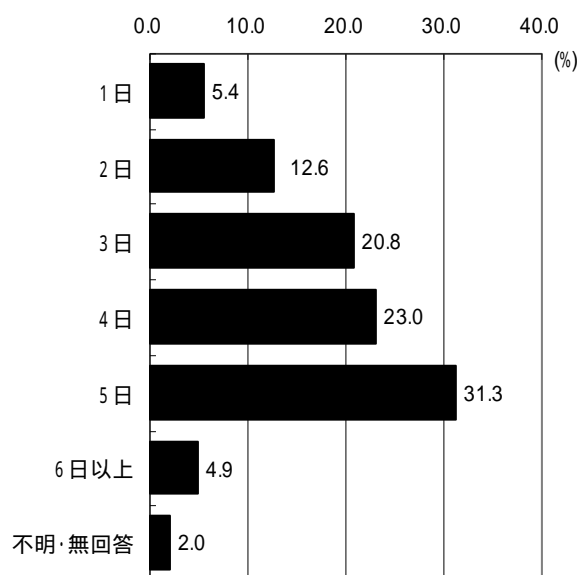


母親：パートタイム、アルバイト等（産休・育休・介護休業中は含まない）の就労状況（NA）

母親の1週当たりの就労日数については、ばらつきがありますが「5日」が31.3%と最も高く、次いで「4日」が23.0%となっています。1日当たりの就労時間についてもばらつきがありますが、「4時間」が24.6%と最も高く、次いで「6時間」が21.7%となっています。

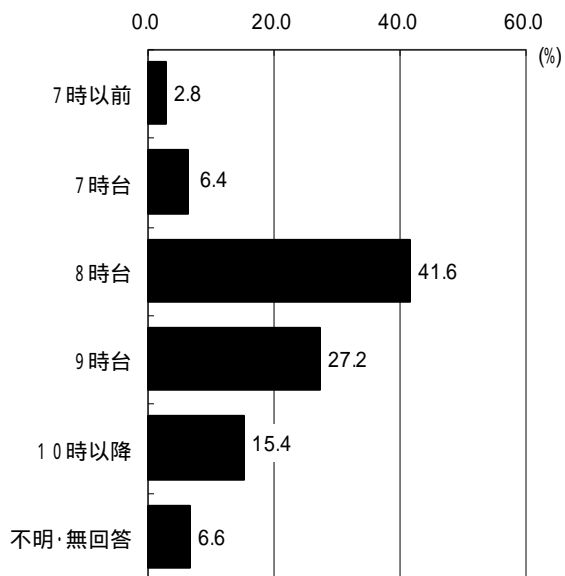
パートタイム：1週当たりの就労日数

パートタイム：1日当たりの就労時間

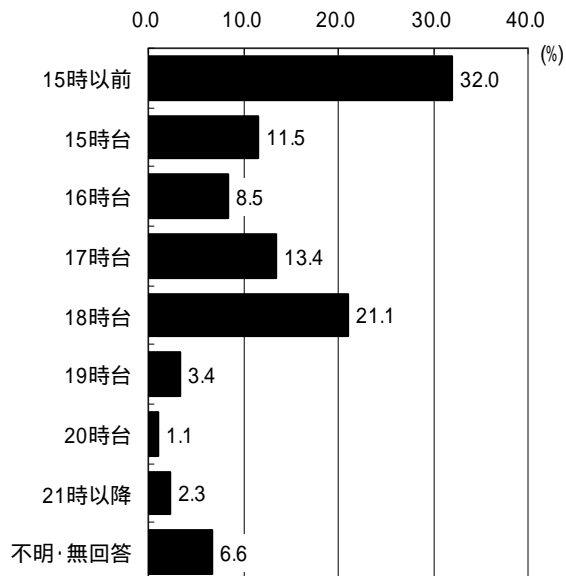


家を出る時間については、「8時台」が41.6%と最も高く、次いで「9時台」が27.2%となっています。帰宅時間については、ばらつきがみられますが、「15時以前」が32.0%と最も高く、次いで「18時台」が21.1%となっています。

パートタイム：家を出る時間

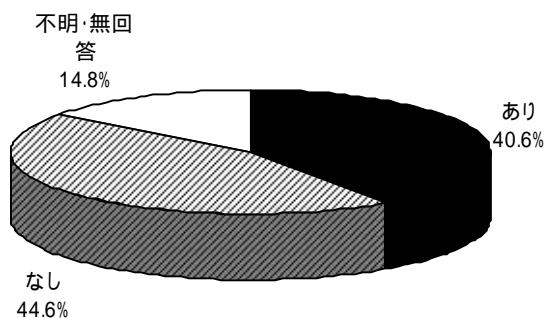


パートタイム：帰宅時間



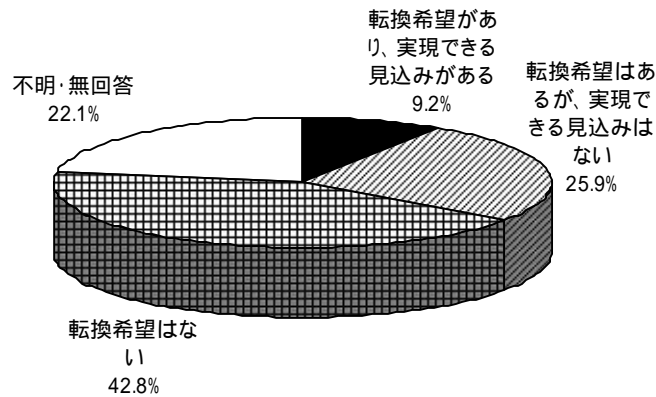
変則的な勤務の有無については、「あり」が40.6%となっています。

パートタイム：変則的な勤務の有無



フルタイムへの転換希望の有無については、「転換希望はない」が42.8%と最も高く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.9%となっています。

パートタイム：フルタイムへの転換希望の有無

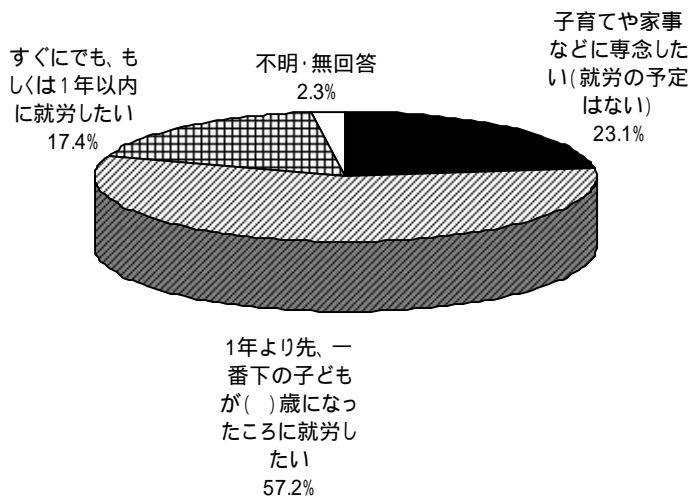


[問8 母親：以前は就労していたが、現在は就労していない方に]

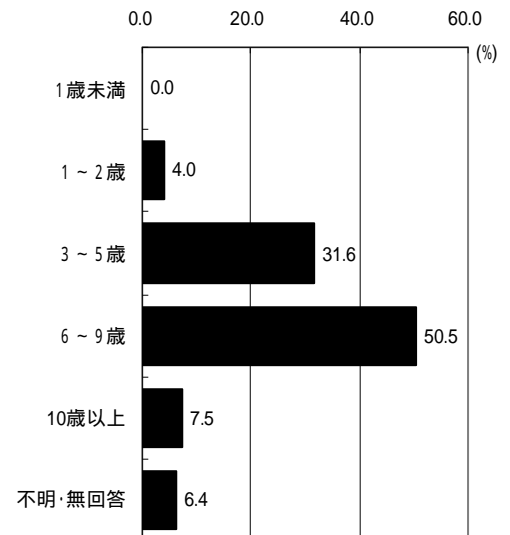
問8 就労したいという希望はありますか。(SA)

以前は就労していたが、現在は就労していない母親の今後の就労希望についてみると、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が57.2%と半数以上を占めています。次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が23.1%となっています。末子の年齢については「6～9歳(小学校低学年)」が50.5%と半数を占めています。

就労希望の有無



末子の年齢

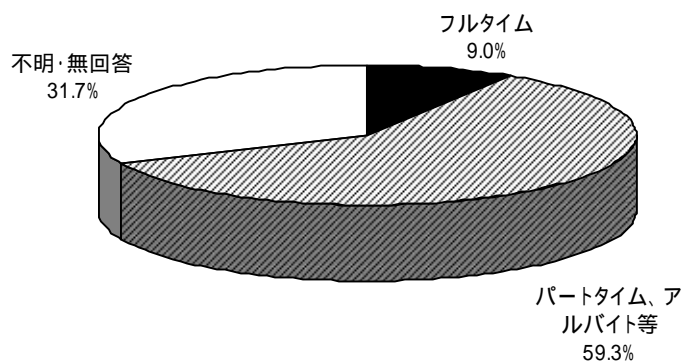


[問8 母親：就労希望がある方に]

問8 希望する就労形態はどのようなものですか。(SA)

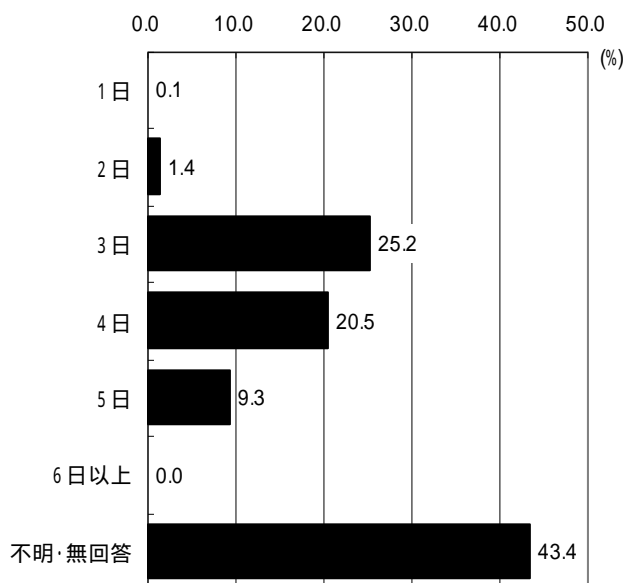
以前は就労していたが、現在は就労していない母親の希望する就労形態についてみると、「パートタイム、アルバイト等」が59.3%と約6割を占めています。

希望する就労形態

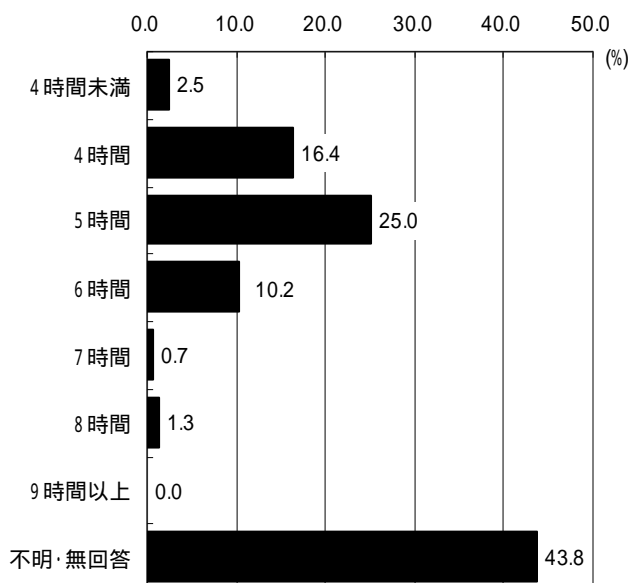


希望する週当たりの日数は、「3日」が25.2%と最も高く、また1日当たりの就労時間については「5時間」が25.0%となっています。

希望する週当たりの就労日数



希望する1日当たりの就労時間

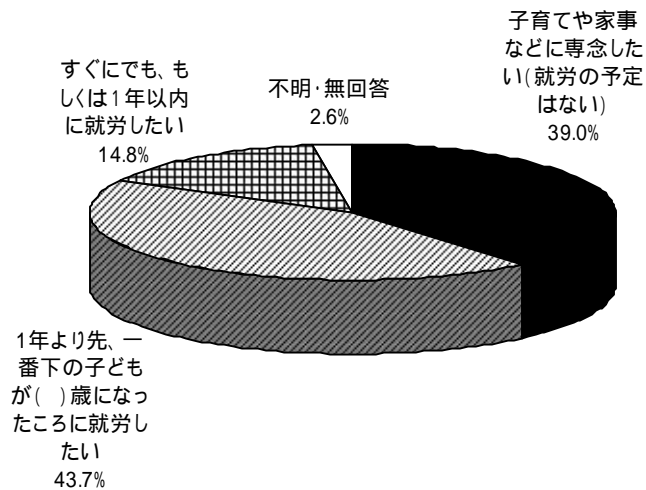


[問8 母親：これまでに就労したことがない方に]

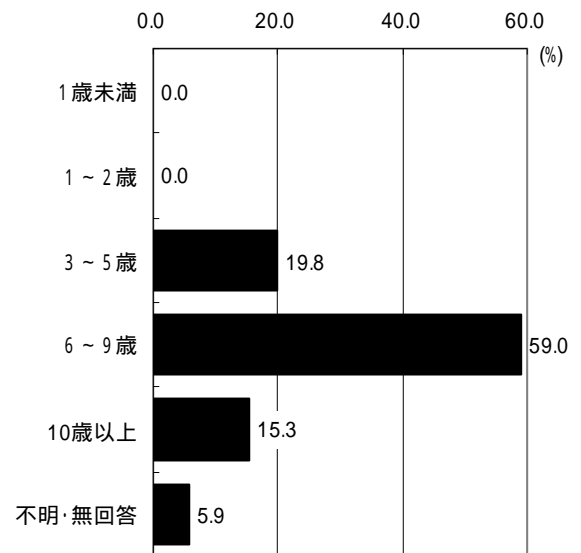
問8 就労したいという希望はありますか。(SA)

これまで就労経験のない母親の今後の就労希望についてみると、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が43.7%と最も高く、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が39.0%となっています。末子の年齢については「6～9歳(小学校低学年)」が59.0%と6割を占めています。

就労希望の有無



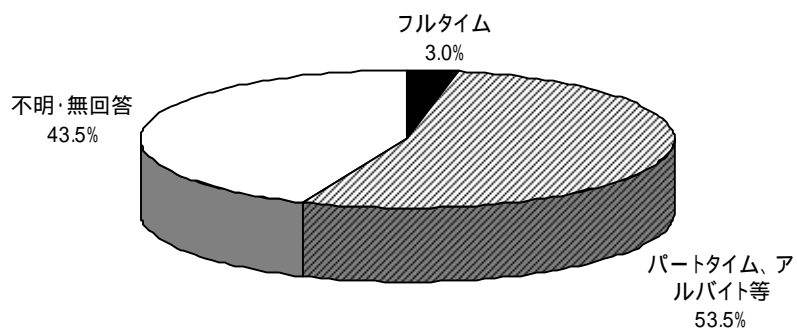
末子の年齢



問8 希望する就労形態はどのようなものですか。(SA)

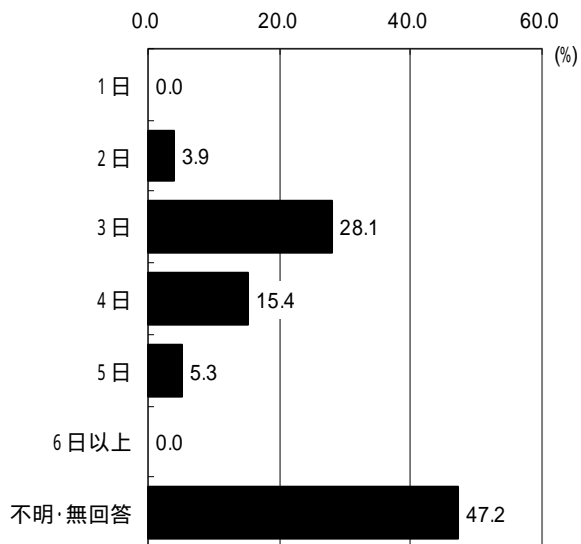
これまで就労経験のない母親の希望する就労形態についてみると、「パートタイム、アルバイト等」が53.5%と約半数を占めています。

希望する就労形態

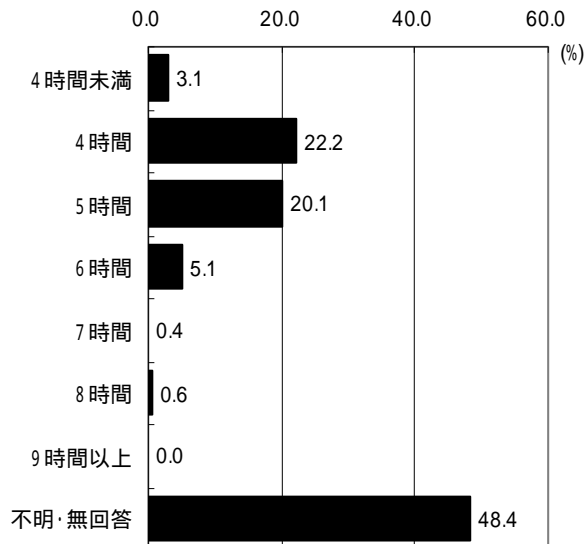


希望する週当たりの就労日数については、「3日」が28.1%と最も高くなっています。希望する1日当たりの就労時間については、「4時間」が22.2%と最も高く、次いで「5時間」が20.1%となっています。

希望する週当たりの就労日数



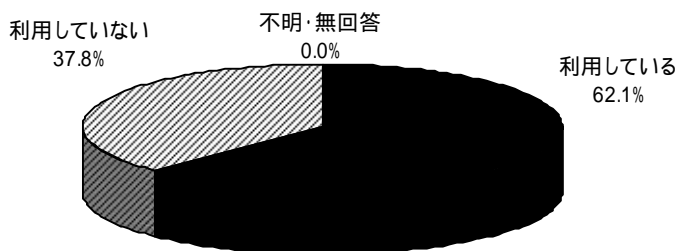
希望する1日当たりの就労時間



3. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問9 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの教育・保育の事業を定期的に利用されていますか。
(SA)

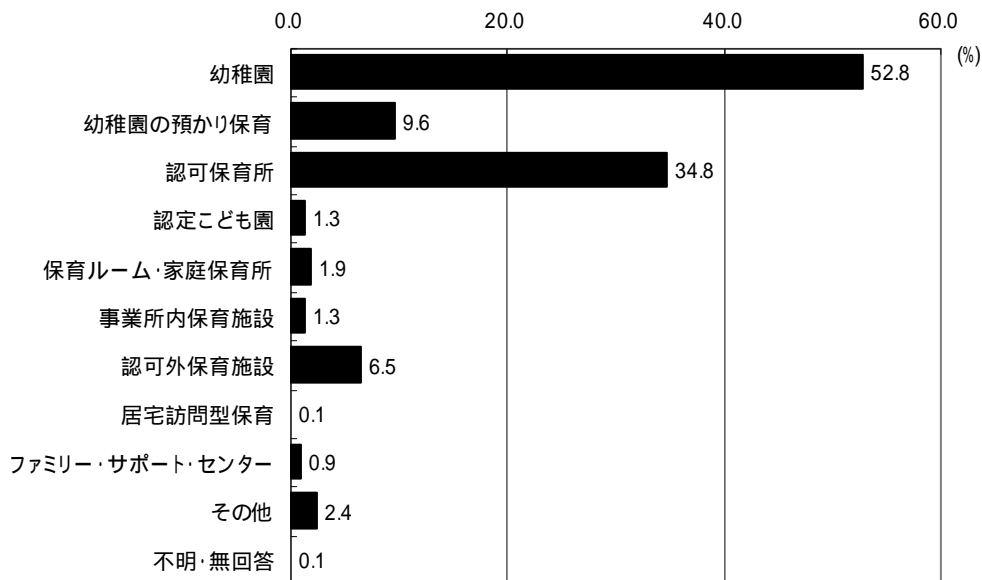
幼稚園や保育所などの教育・保育事業の定期的な利用の有無については、「利用している」が62.1%、「利用していない」が37.8%となっています。



[問9で「1.利用している」に つけた方に]

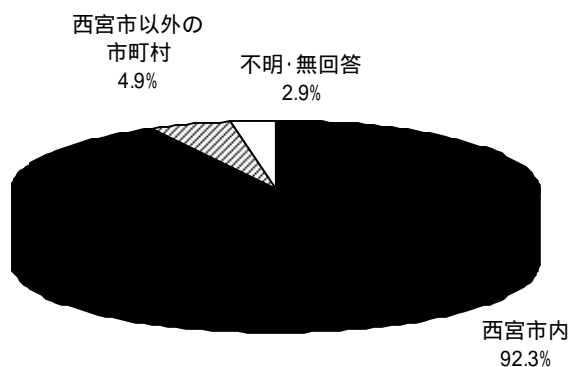
問9 - 1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(MA)

利用している事業については、「幼稚園」が52.8%と最も高く、次いで「認可保育所」が34.8%となっています。



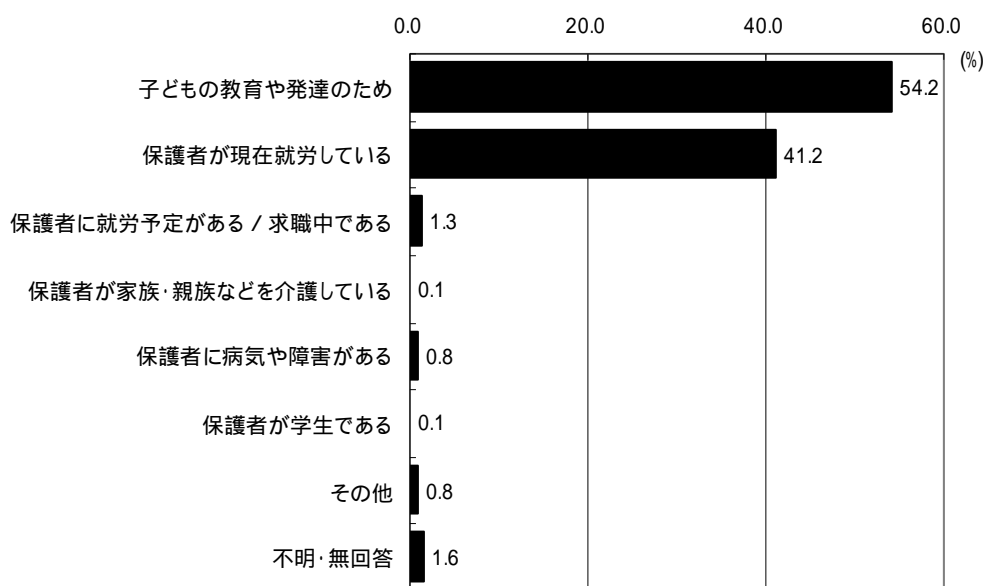
問9 - 3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。(SA)

現在利用している教育・保育事業の実施場所については、大半が「西宮市内」(92.3%)としています。



問9 - 4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。(SA)

教育・保育事業を利用している理由については、「子どもの教育や発達のため」が54.2%と最も高く、次いで「保護者が現在就労している」が41.2%となっています。

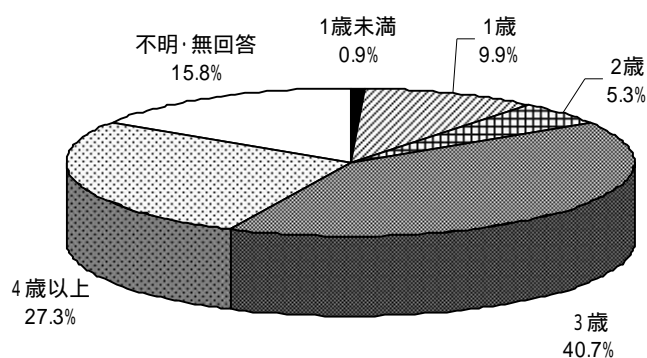


[問9で「2. 利用していない」に つけた方に]

問9 - 5 利用していない理由は何ですか。(MA)

教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」が64.6%と最も高くなっています。その子どもの年齢としては、3歳になったら利用したいという人が40.7%と最も高くなっています。

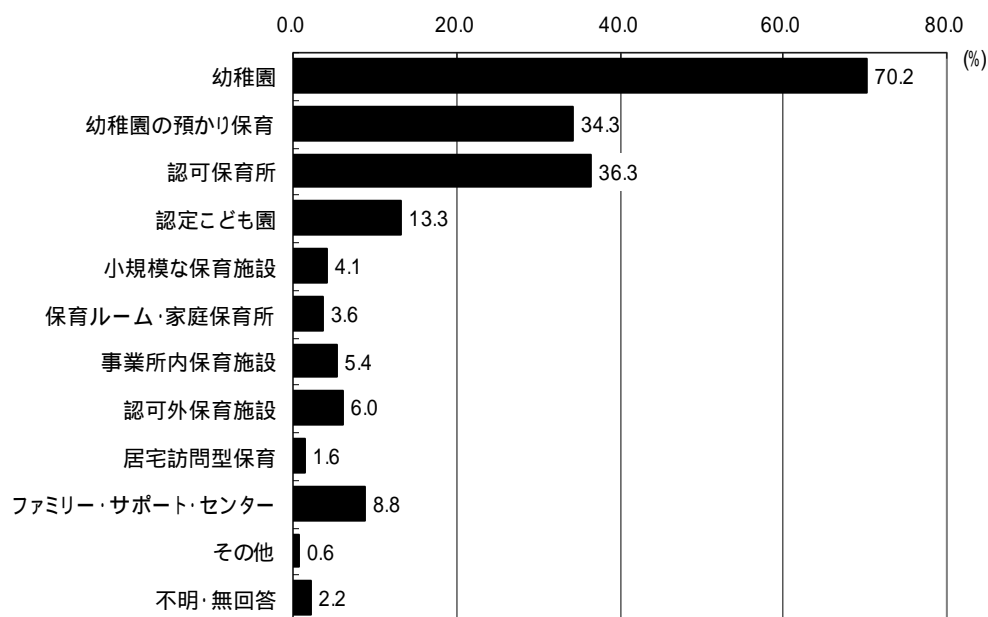
次いで「利用する必要がある(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)」が31.8%となっています。





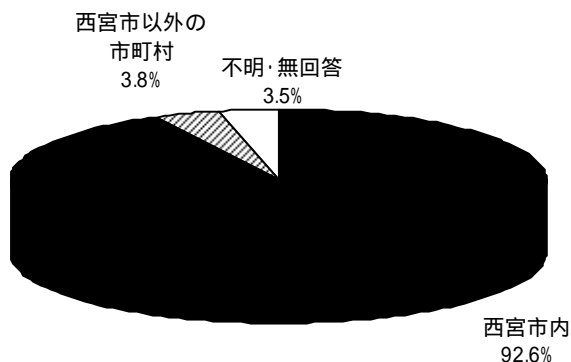
問10 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(MA)

教育・保育事業の利用意向を聞いたところ、「幼稚園」が70.2%と最も高く、次いで「認可保育所」が36.3%、「幼稚園の預かり保育」が34.3%となっています。



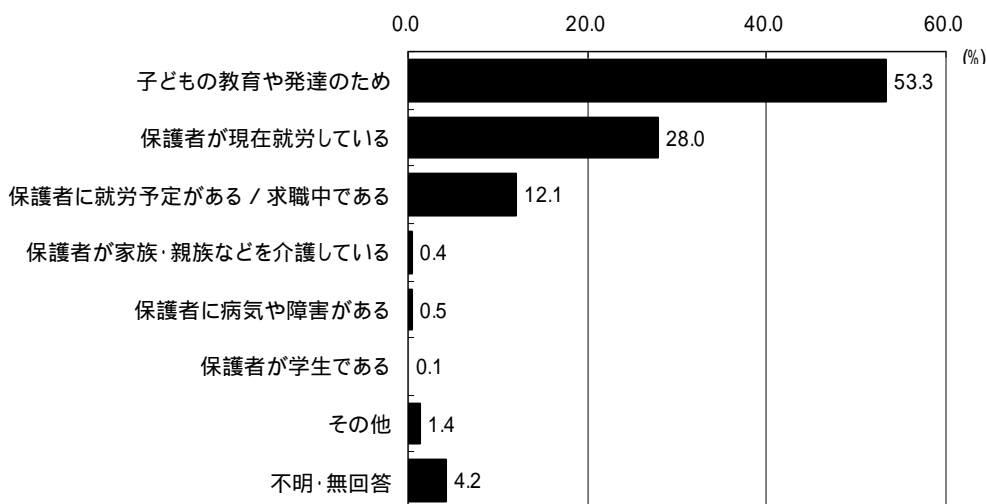
問10-2 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(SA)

教育・保育事業を利用したい場所については、大半が「西宮市内」(92.6%)となっています。



問10-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用したい理由についてうかがいます。(SA)

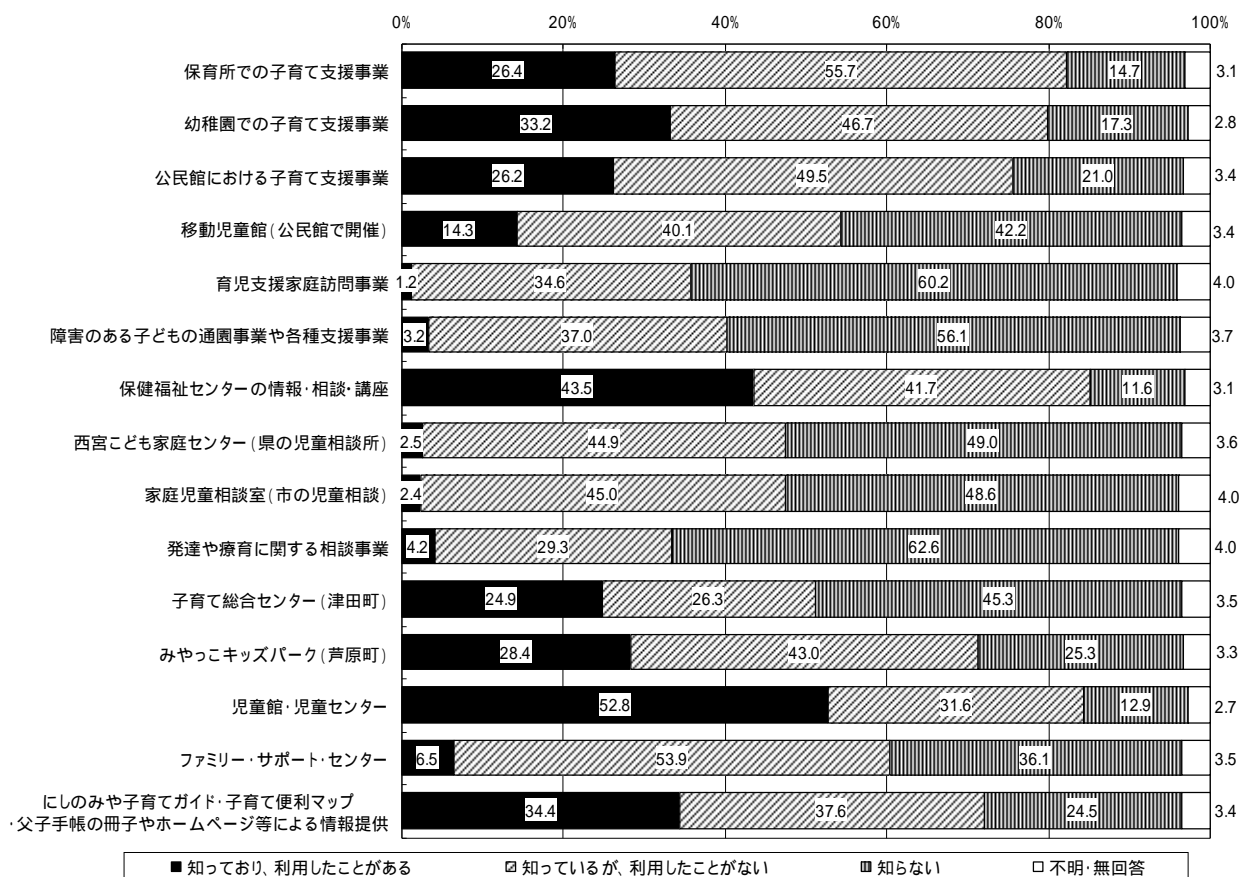
教育・保育事業を利用したい理由については、「子どもの教育や発達のため」が53.3%と最も高く、次いで「保護者が現在就労している」が28.0%となっています。



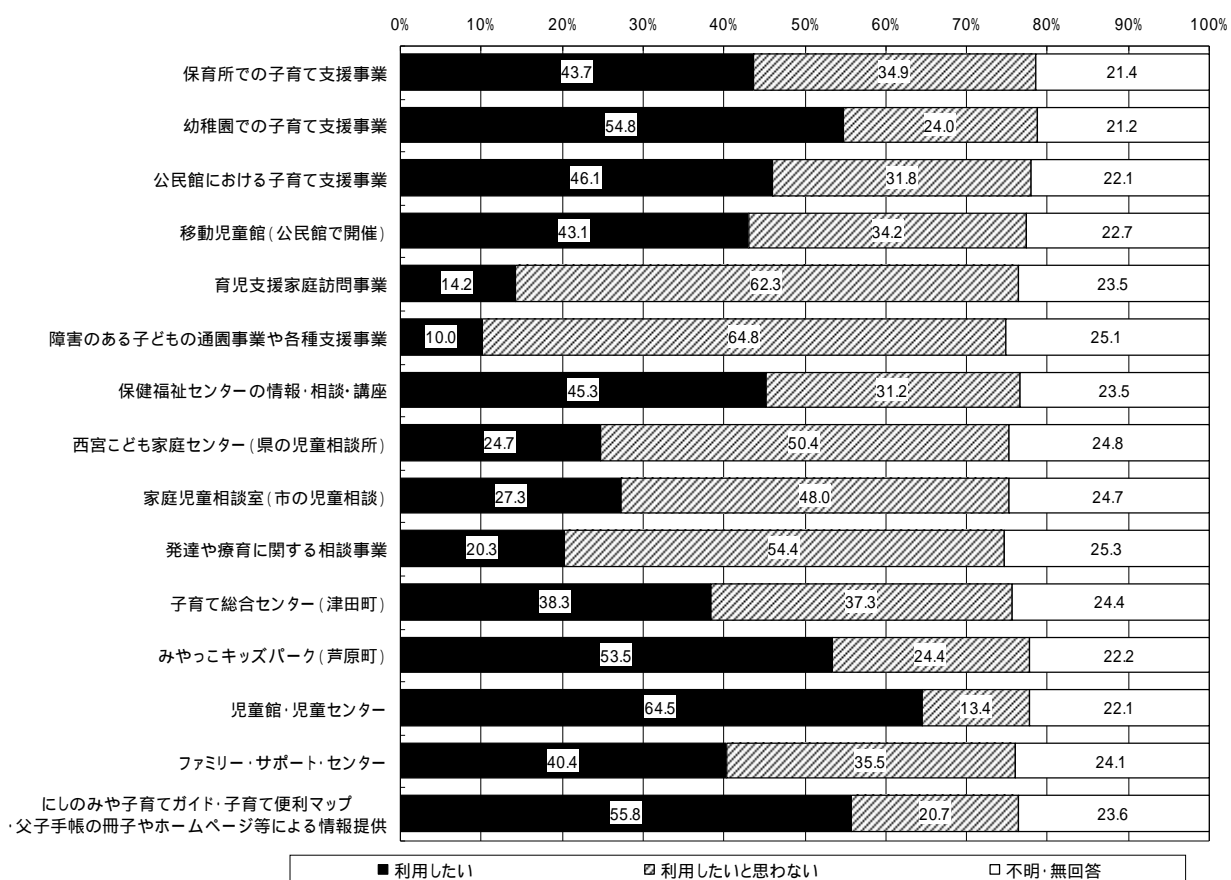
4. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問11 下記の事業で知っているものやこれまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについてうかがいます。(SA)

子育て支援事業で知っており、利用したことがある割合が高いのは、「児童館・児童センター」(52.8%)、「保健福祉センターの情報・相談・講座」(43.5%)、「幼稚園での子育て支援事業」(33.2%)となっています。一方、知らない人の割合が高いのは「発達や療育に関する相談事業」(62.6%)、「育児支援家庭訪問事業」(60.2%)、「障害のある子どもの通園事業や各種支援事業」(56.1%)となっています。

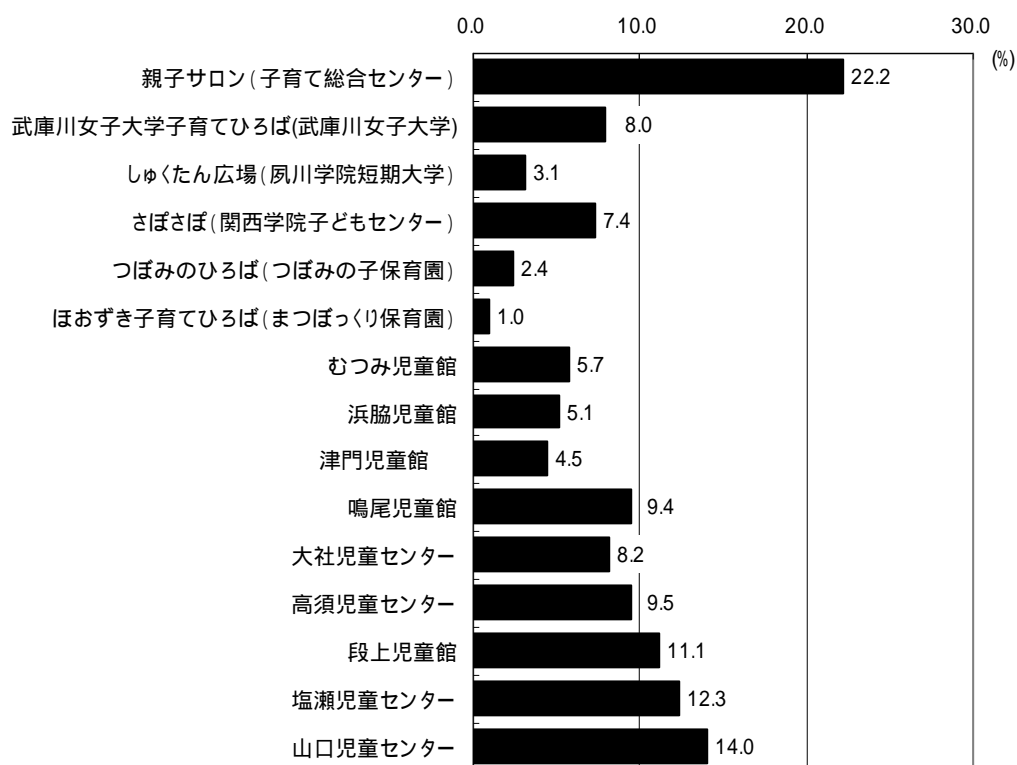


今後の利用希望を聞いたところ、おおむねどの事業も半数前後の利用希望となっています。特に高いものは、「児童館・児童センター」(64.5%)となっており、次いで「にしのみや子育てガイド・子育て便利マップ・父子手帳の冊子やホームページ等による情報提供」(55.8%)となっています。



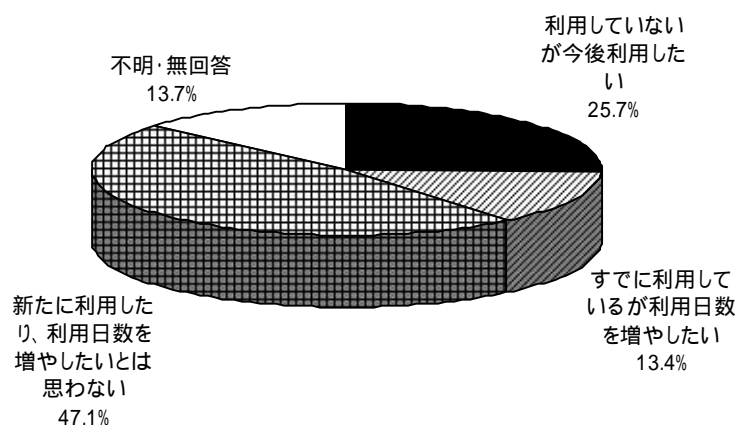
問12 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。(MA)

地域子育て支援拠点事業の利用状況を見ると、利用されているでは「親子サロン(子育て総合センター)」が22.0%と最も高く、次いで「山口児童センター」が14.0%となっています。



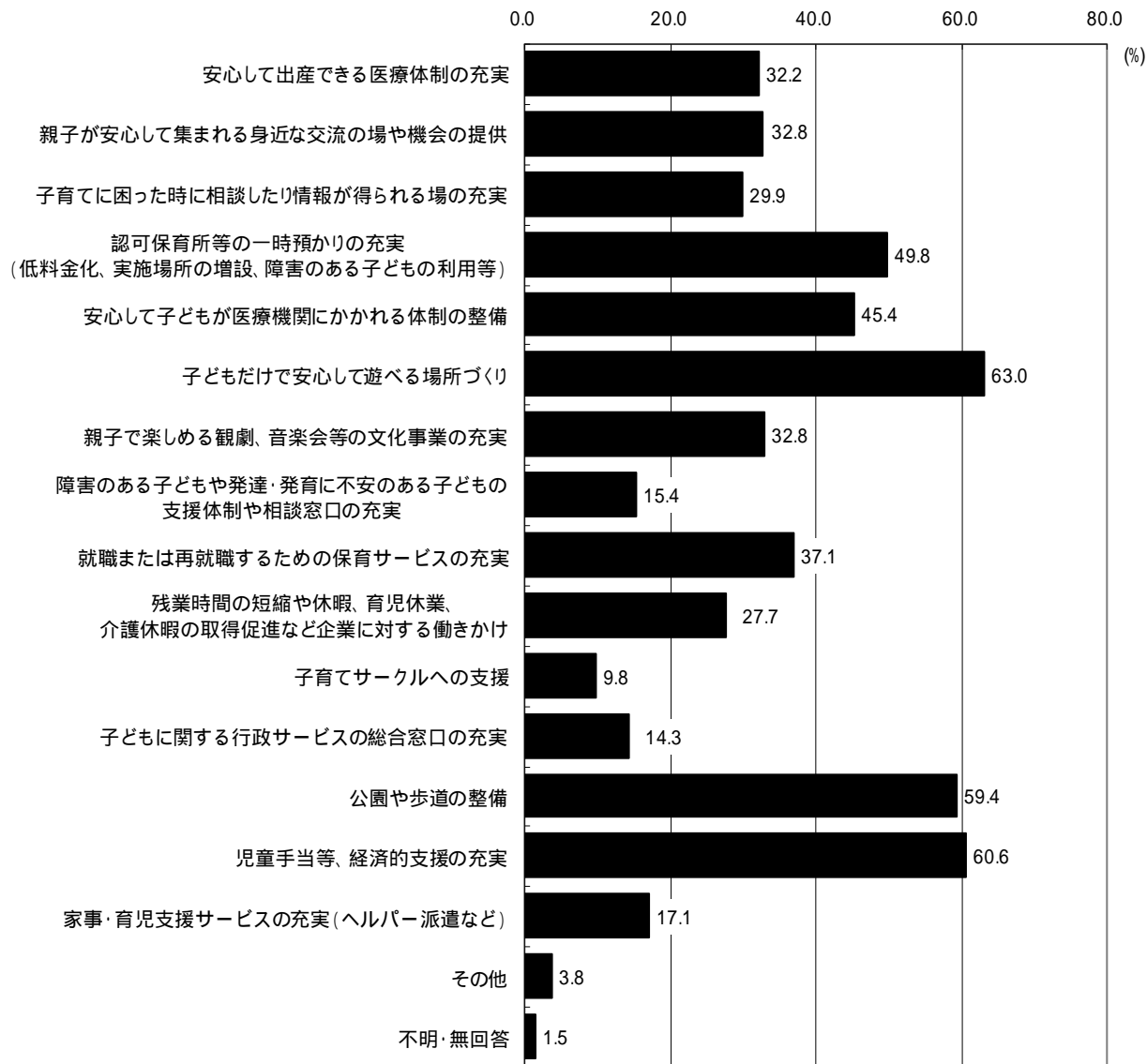
問12-1 問12のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(SA)

今後の地域子育て支援拠点事業の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が約半数の47.1%、「利用していないが今後利用したい」が25.7%となっています。



問14 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。(MA)

子育て支援でもっと力をいれてほしいものについては、「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」が63.0%と最も高く、次いで「児童手当等、経済的支援の充実」が60.6%となっています。

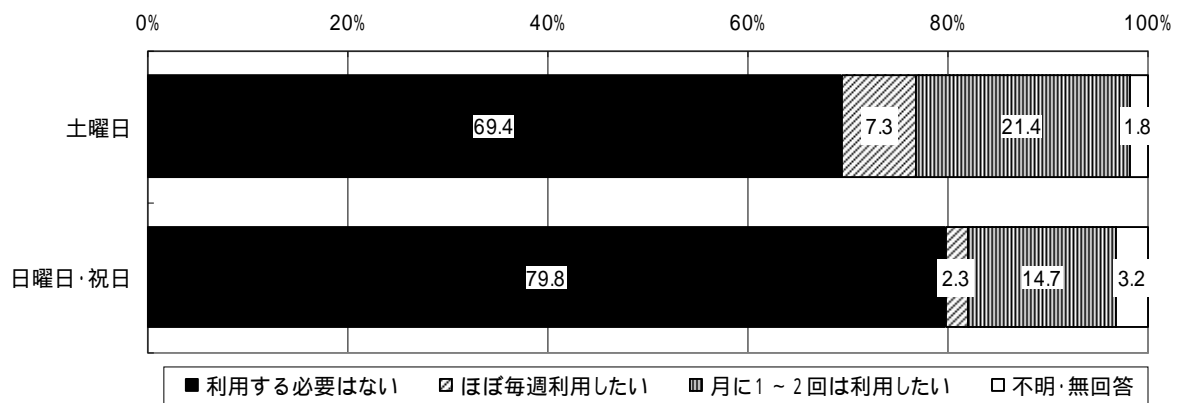


5. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問15 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）（SA）

お子さんの土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、土曜日については「利用する必要はない」が69.4%と約7割となっています。一方で、「月に1～2回は利用したい」が21.4%となっています。

日曜日・祝日では「利用する必要はない」が79.8%と約8割となっています。一方で、「月に1～2回は利用したい」が14.7%となっています。

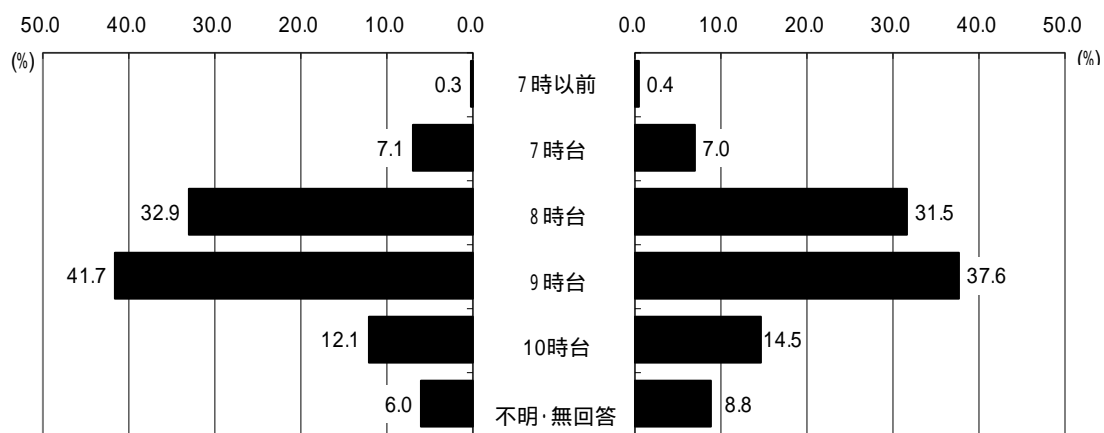


利用希望の開始時間は土曜日、日曜日・祝日とも、「8時台」、「9時台」を希望する人の割合が高くなっています。

希望開始時間

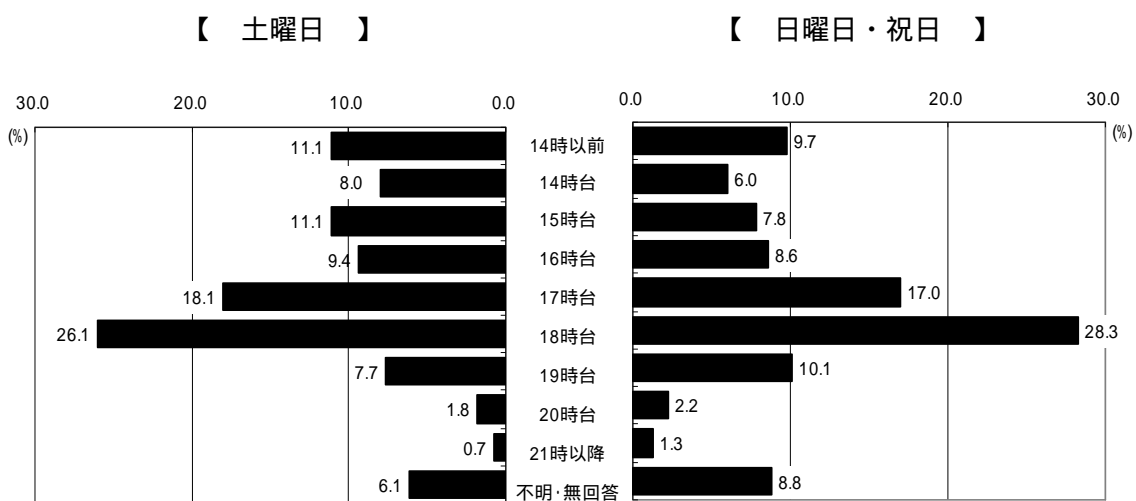
【 土曜日 】

【 日曜日・祝日 】



利用希望の終了時間は土曜日、日曜日・祝日とも、「18 時台」を希望する人の割合が高くなっています。

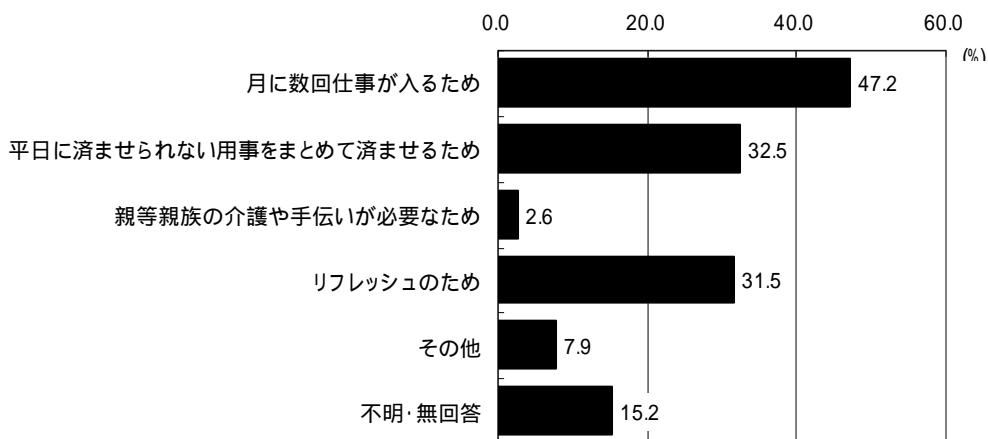
希望終了時間



[問 1 5 土曜日や日曜日・祝日に「3.月に1～2回は利用したい」に つけた方に]

問 1 5 - 1 毎週ではなく、月に1～2回、利用したい理由は何ですか。(MA)

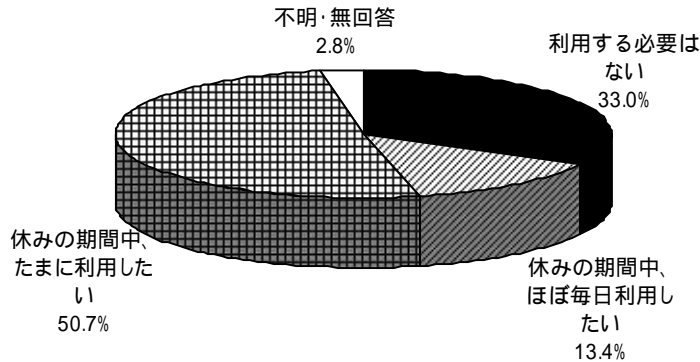
土曜日や日曜日・祝日に月に1～2回利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が47.2%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が32.5%となっています。



[「幼稚園」を利用されている方に]

問16 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(SA)

幼稚園を利用している人の夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、たまに利用したい」が約半数の50.7%となっています。

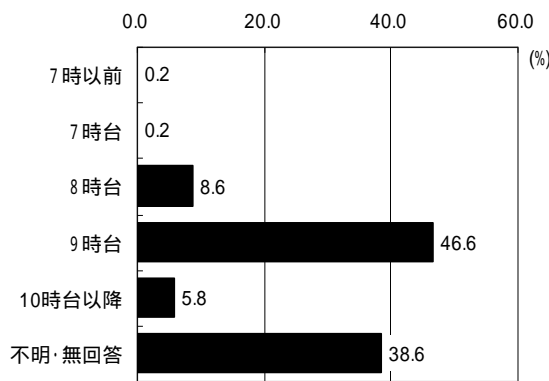


[問16で、「3. たまに利用したい」につけた方に]

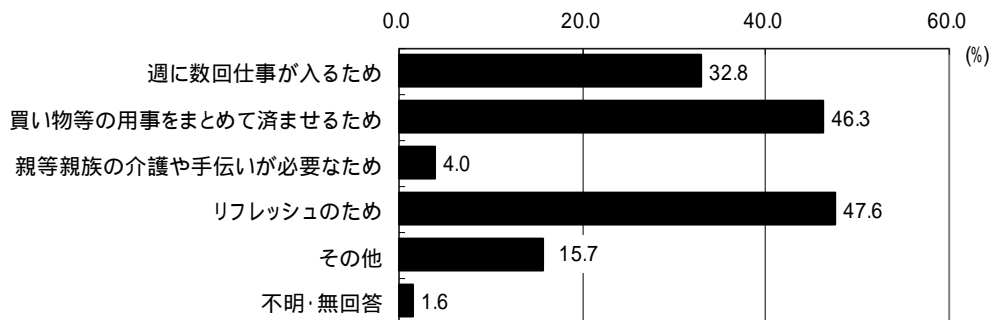
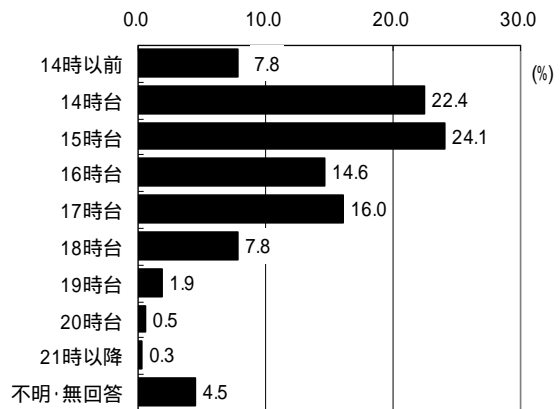
問16-1 長期休暇ごとに、利用したい日数を数字でご記入ください。(NA) また、毎日ではなく、たまに、利用したい理由は何ですか。(MA)

利用希望の開始時間は「9時台」を、利用希望の終了時間は「14時台」、「15時台」を希望する人の割合が高くなっています。利用したい理由としては、「リフレッシュのため」(47.6%)、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(46.3%)が高くなっています。

希望開始時間



希望終了時間

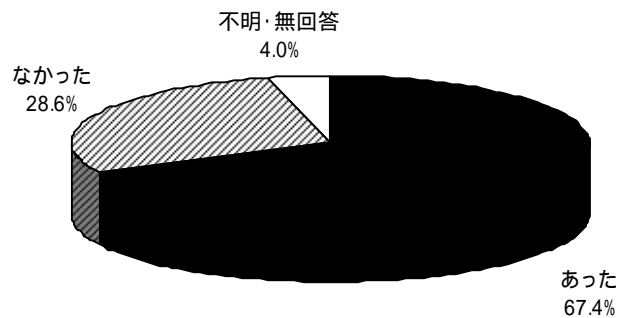


6. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

[問9 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方に]

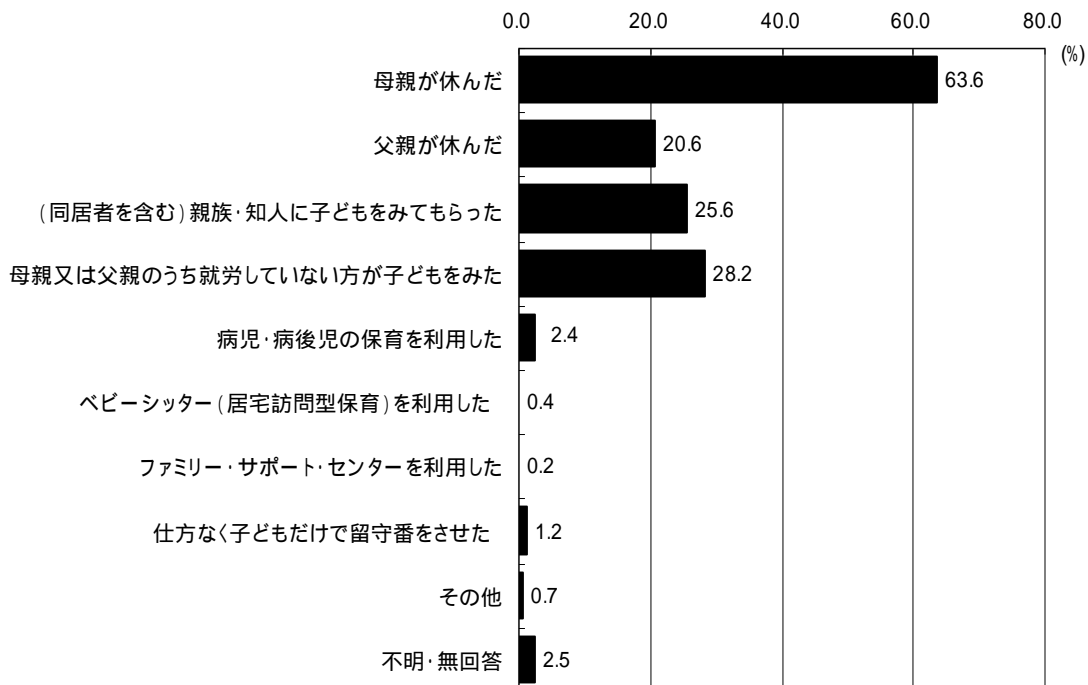
問17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(SA)

宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことが「あった」とする人が67.4%と半数以上となっています。



問17-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をご記入ください。(MA)

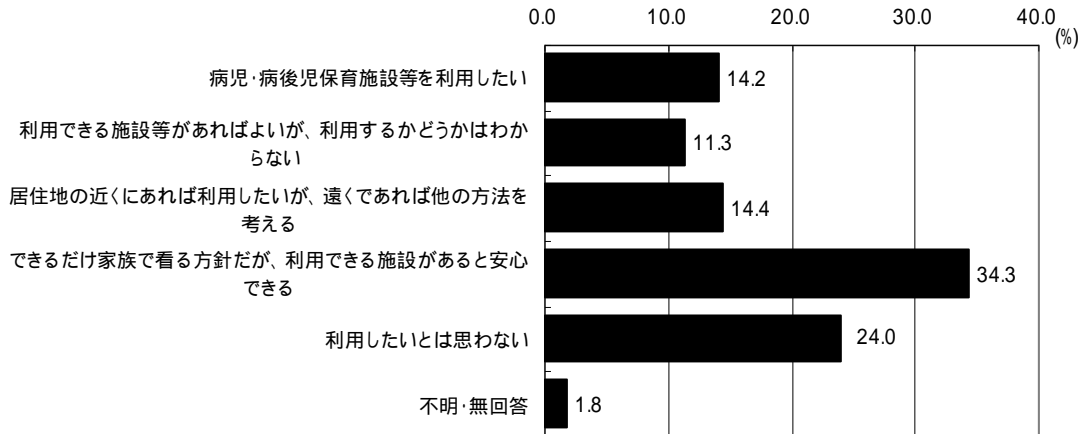
宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった時の対処法としては、「母親が休んだ」が63.6%と最も高くなっています。



[問17-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方に]

問17-2 宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった時に、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(SA)

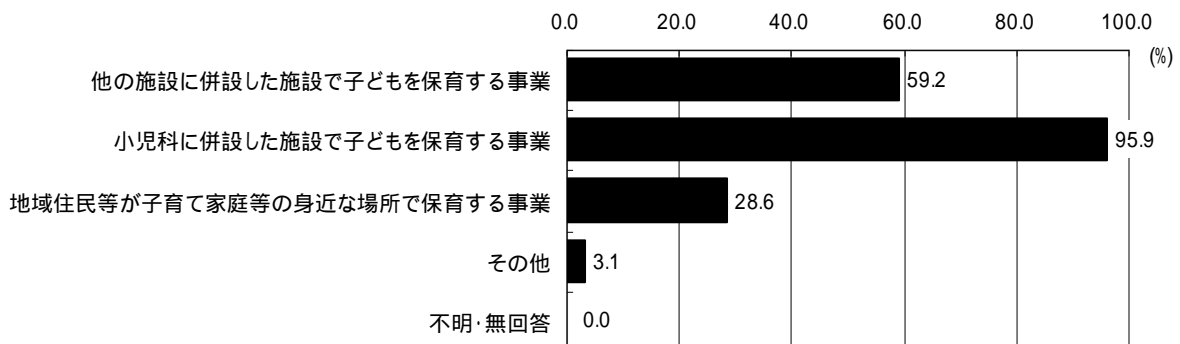
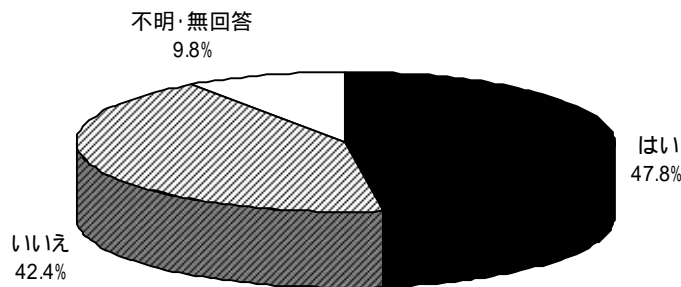
お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった時の対処法として、母親・父親が休んだ人で、病児・病後児保育施設を利用したいかについては、「できるだけ家族で見る方針だが、利用できる施設があると安心できる」(34.3%)が最も高くなっています。



[問17-2で「1.病児・病後児保育施設等を利用したい」に をつけた方に]

問17-3 病児・病後児保育施設等にお子さんを預ける場合、居住地の近くになくても利用されますか。(SA) また、どの事業形態が望ましいと思われますか。(MA)

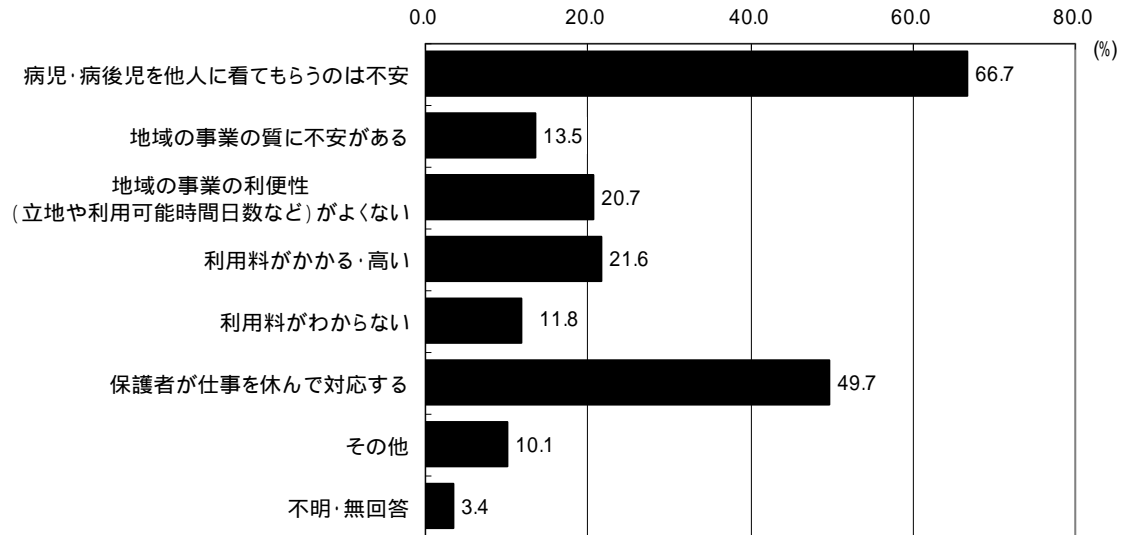
病児・病後児保育施設等にお子さんを預ける場合、居住地の近くになくても利用をしたいかについては、「はい」が47.8%となっている一方で、利用しないとする「いいえ」は42.4%となっています。望ましい事業形態としては、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が95.9%と大半を占めています。



[問17-2で「5.利用したいとは思わない」に つけた方に]

問17-4 宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった時に、病児・病後児のための保育施設等を「利用したくない」と思われる理由は何ですか。(MA)

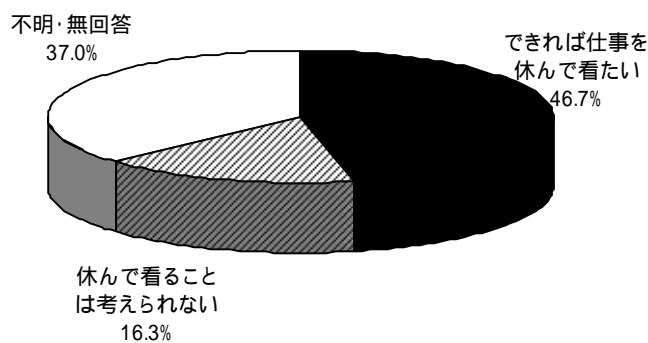
お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった時に、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由については、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が66.7%と最も高くなっています。



[問17-1で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方に]

問17-5 宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった時に、「できれば保護者のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(SA)

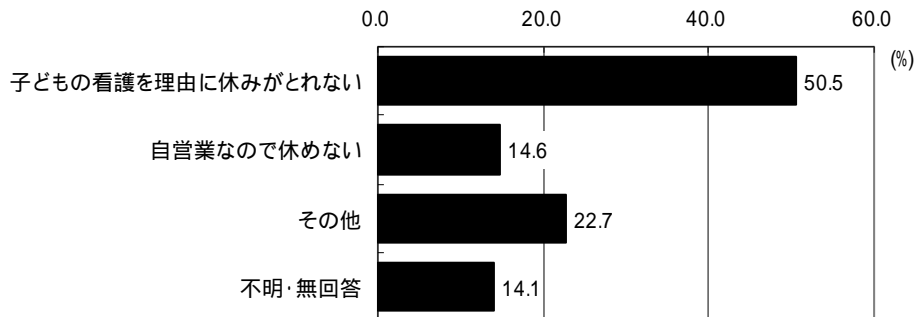
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらったり、母親又は父親のうち就労していない人が子どもを看た人の中では、「できれば保護者のいずれかが仕事を休んで看たい」とする人が46.7%と高くなっています。



[問17-5で「2.休んで見ることは考えられない」に つけた方に]

問17-6 宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった時に、休んで見ることは考えられないと思われる理由は何ですか。(MA)

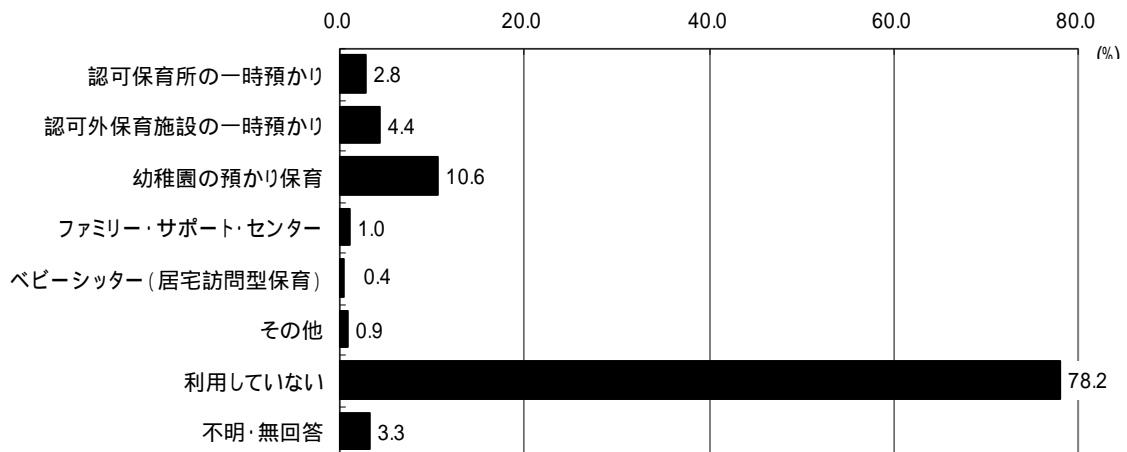
お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかった時に、休んで見ることは考えられない理由として、「子どもの看護を理由に休みがとれない」とする人が約半数の50.5%となっています。



7. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問18 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(MA)

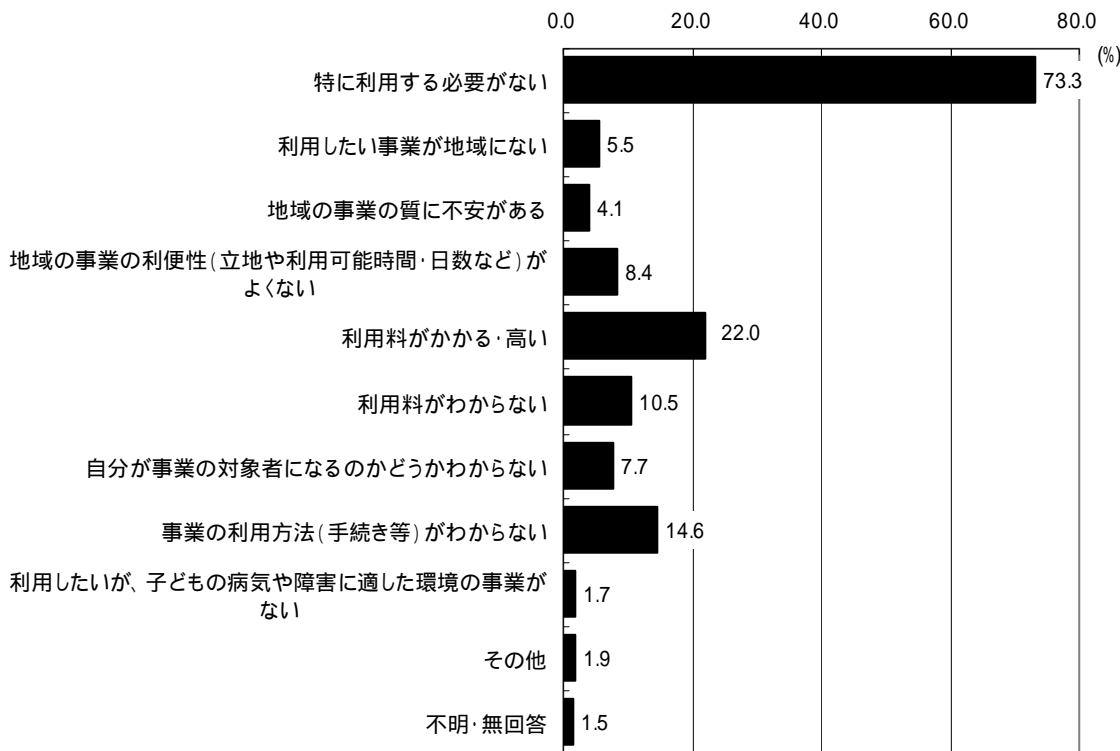
不定期に利用している事業については、利用している人の中で「幼稚園の預かり保育」(10.6%)が最も高くなっている一方で、利用していないとする人が78.2%います。



[問18で「7. 利用していない」と回答した方に]

問18-1 現在利用していない理由は何ですか。

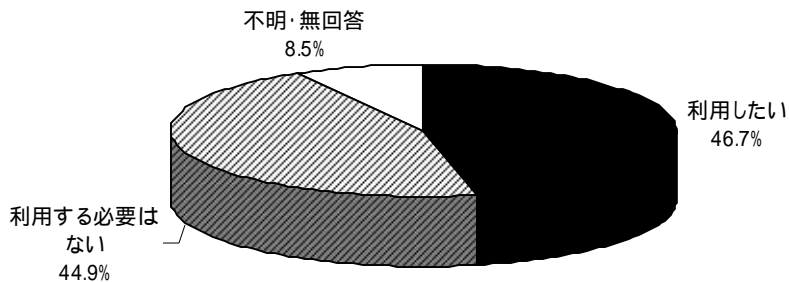
宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、現在は利用していない理由について、「特に利用する必要がない」とする人が73.3%と最も高くなっています。

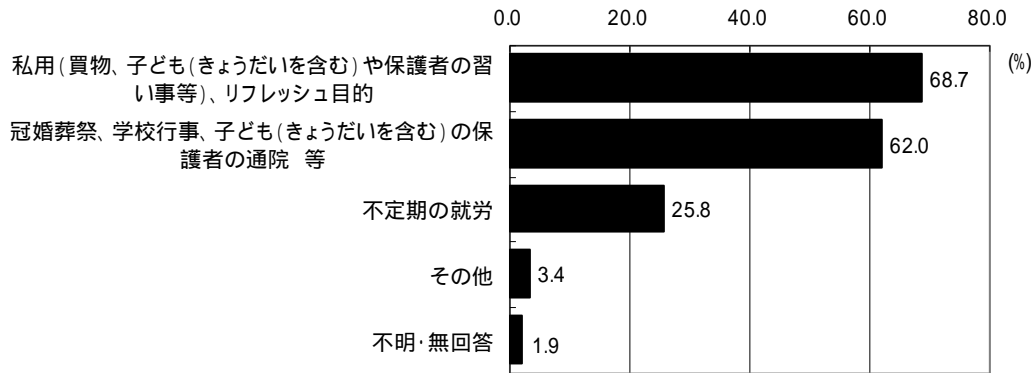


問19 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(SA)

宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で事業を「利用したい」という人が46.7%、「利用する必要はない」という人が44.9%となっています。

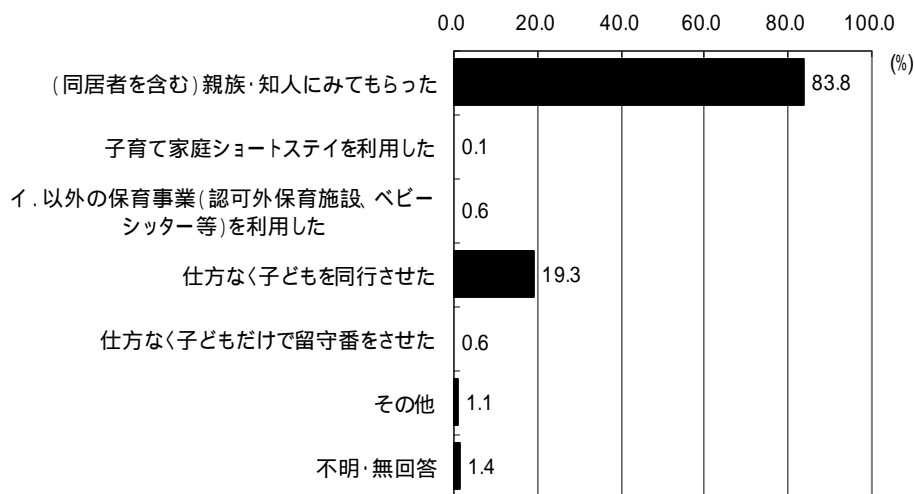
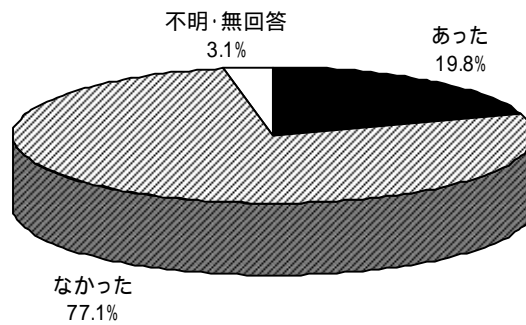
利用したい目的別にみると、「私用(買物、子ども(きょうだいを含む)や保護者の習い事等)、リフレッシュ目的(68.7%)」「冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)の保護者の通院 等(62.0%)」が高くなっています。





問20 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(MA)

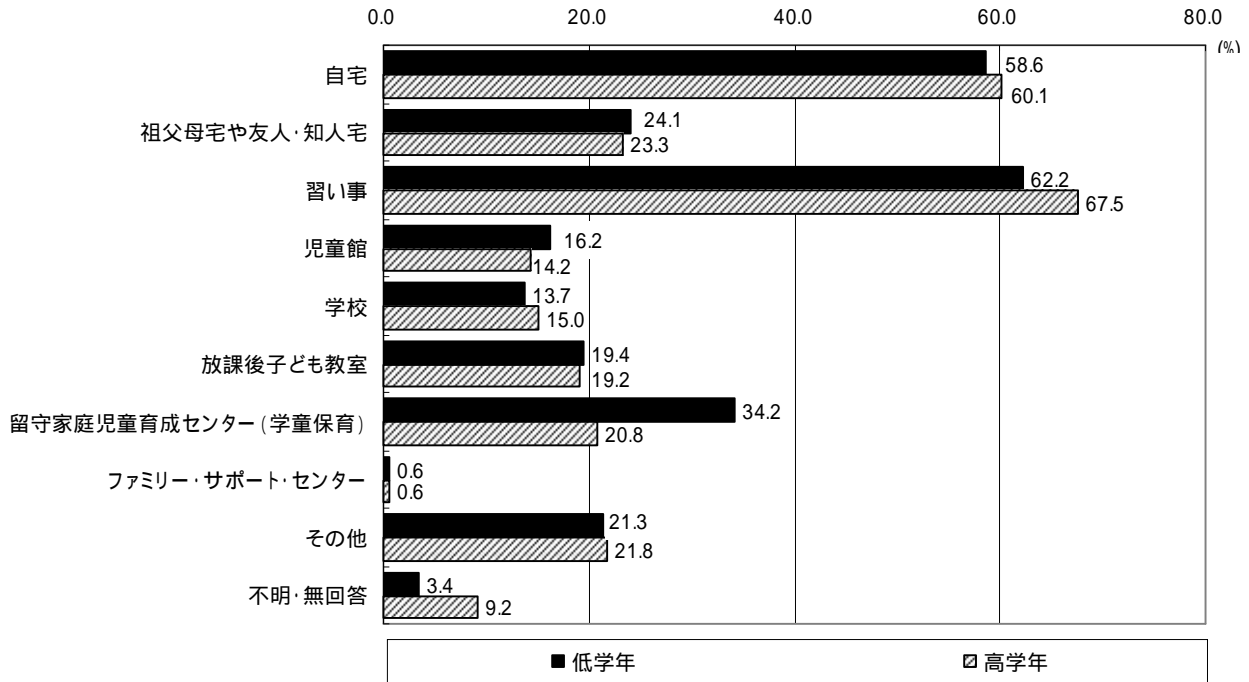
この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについては、「なかった」とする人が77.1%と高くなっている一方で、「あった」という人が19.8%となっています。その時の対処方法として「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」(83.8%)が最も高くなっています。



8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問2 1 宛名のお子さんが、1～3年生、4～6年生になったとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（MA）

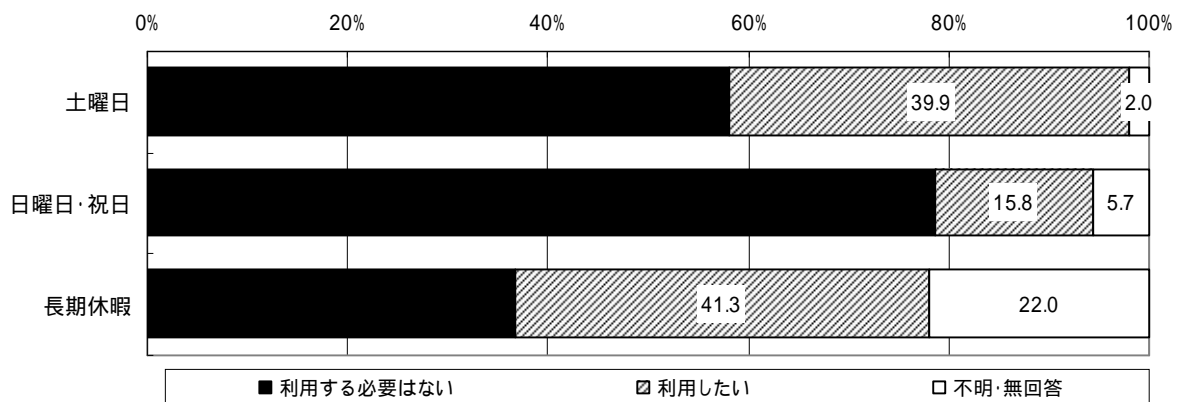
低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）ともに、「習い事」（62.2%、67.5%）が最も高く、次いで「自宅」（58.6%、60.1%）が高くなっています。



[問2 1で「7. 留守家庭児童育成センター（学童保育）」に つけた方に]

問2 2、2 3 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日および長期の休暇期間中に、留守家庭児童育成センター（学童保育）の利用希望はありますか。（SA）

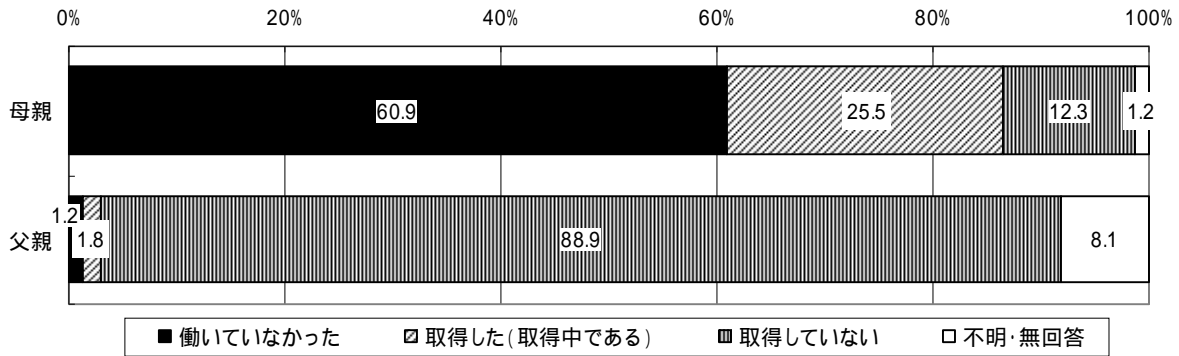
「利用したい」が土曜日では39.9%、日曜日・祝日では15.8%、長期休暇では41.3%となっています。特に日曜日・祝日では「利用する必要はない」が78.6%と高くなっています。



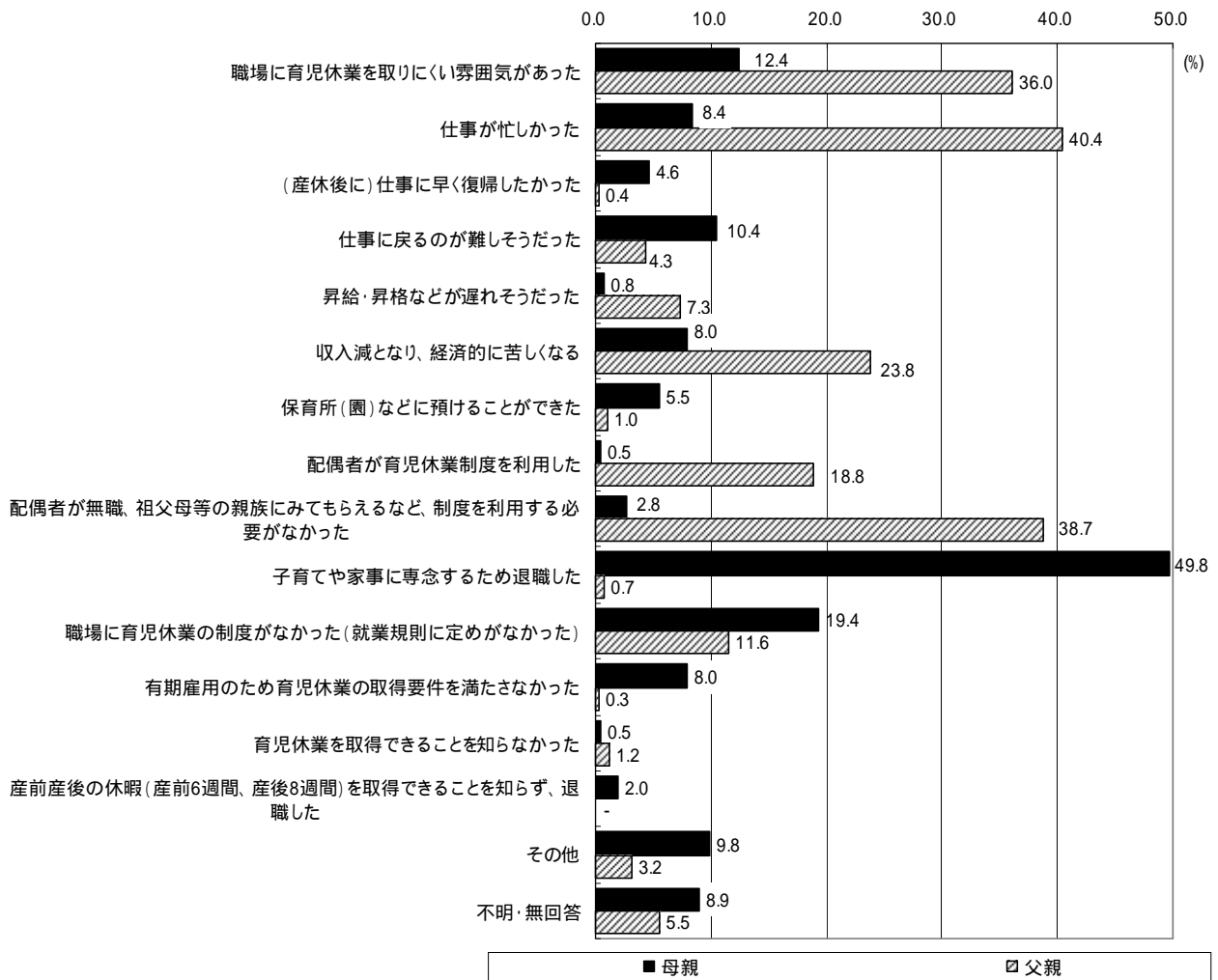
9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問24 宛名のお子さんが生まれた時、保護者のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてご記入ください。(SA)

母親は「取得した(取得中である)」が25.5%いるものの、「働いていなかった」が60.9%で最も高く、父親は「取得していない」が大半の88.9%となっています。

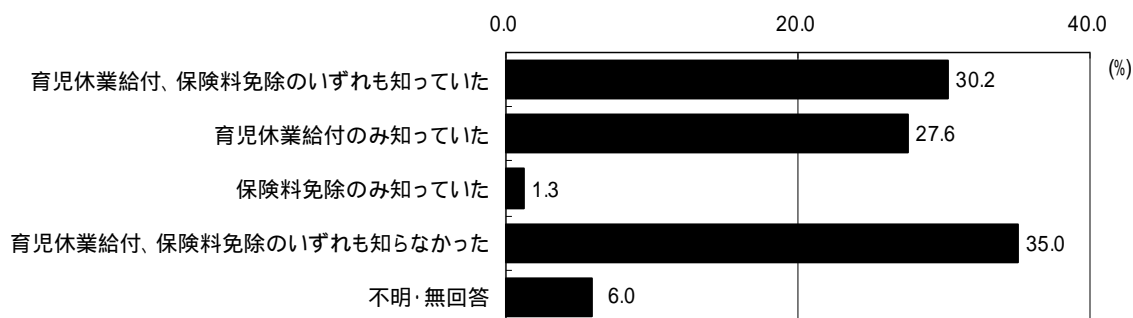


育児休業を取得していない理由としては、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が49.8%と最も高く、父親では「仕事が忙しかった」とする人が最も高く40.4%となっています。



問24-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(SA)

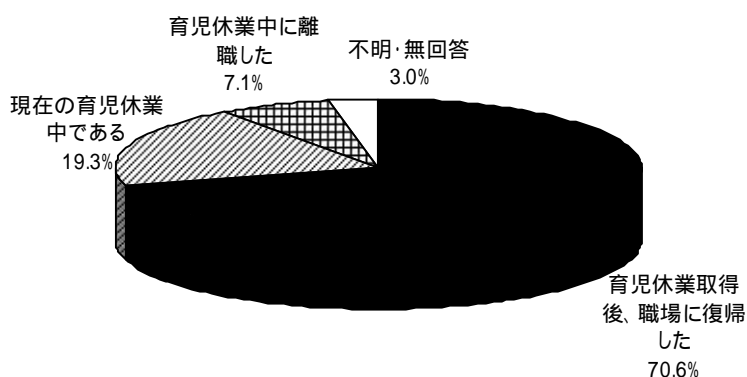
子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(30.2%)とする一方で、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」とする人が35.0%となっています。



[問24 母親が「2.取得した(取得中である)」と回答した方に]

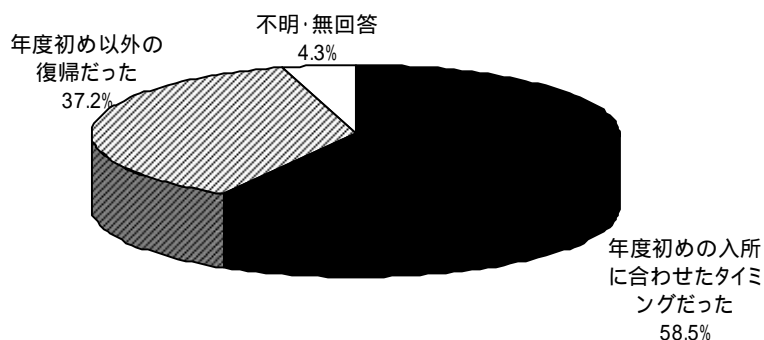
問24-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(SA)

育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が70.6%と最も高くなっています。



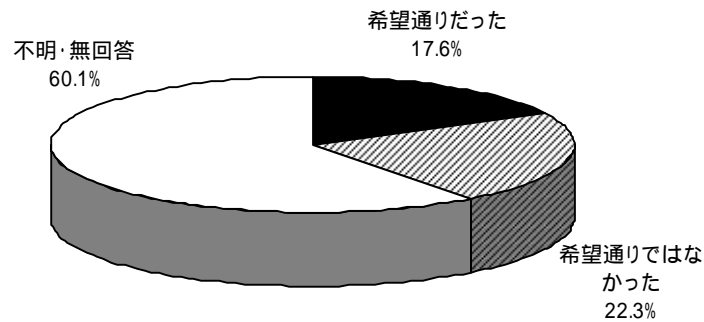
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(SA)

育児休業から職場に復帰したタイミングについては、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が半数以上の58.5%となっています。



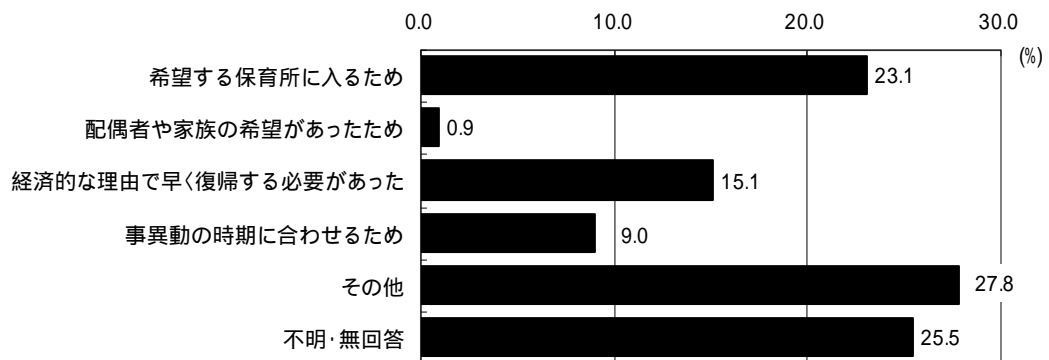
育児休業から職場に復帰した時期は、希望の時期と一致していましたか（SA）

育児休業から職場に復帰したタイミングが希望の時期と一致していたかについては、「希望通りだった」が 17.6%となっている一方で「希望通りではなかった」が 22.3%となっています。希望通りではない方のなかでは、大半が希望より早く復帰した人となっています。



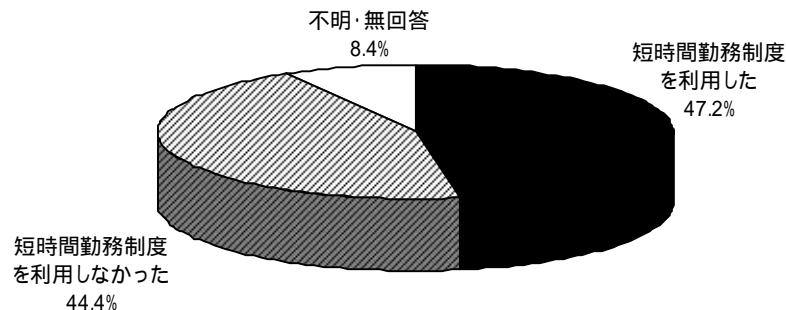
【希望通りではなかった方に理由についてうかがいます】

育児休業から職場に復帰したタイミングが希望通りでなく、「希望」より早く復帰した理由については、「希望する保育所に入るため」とする人が 23.1%となっています。



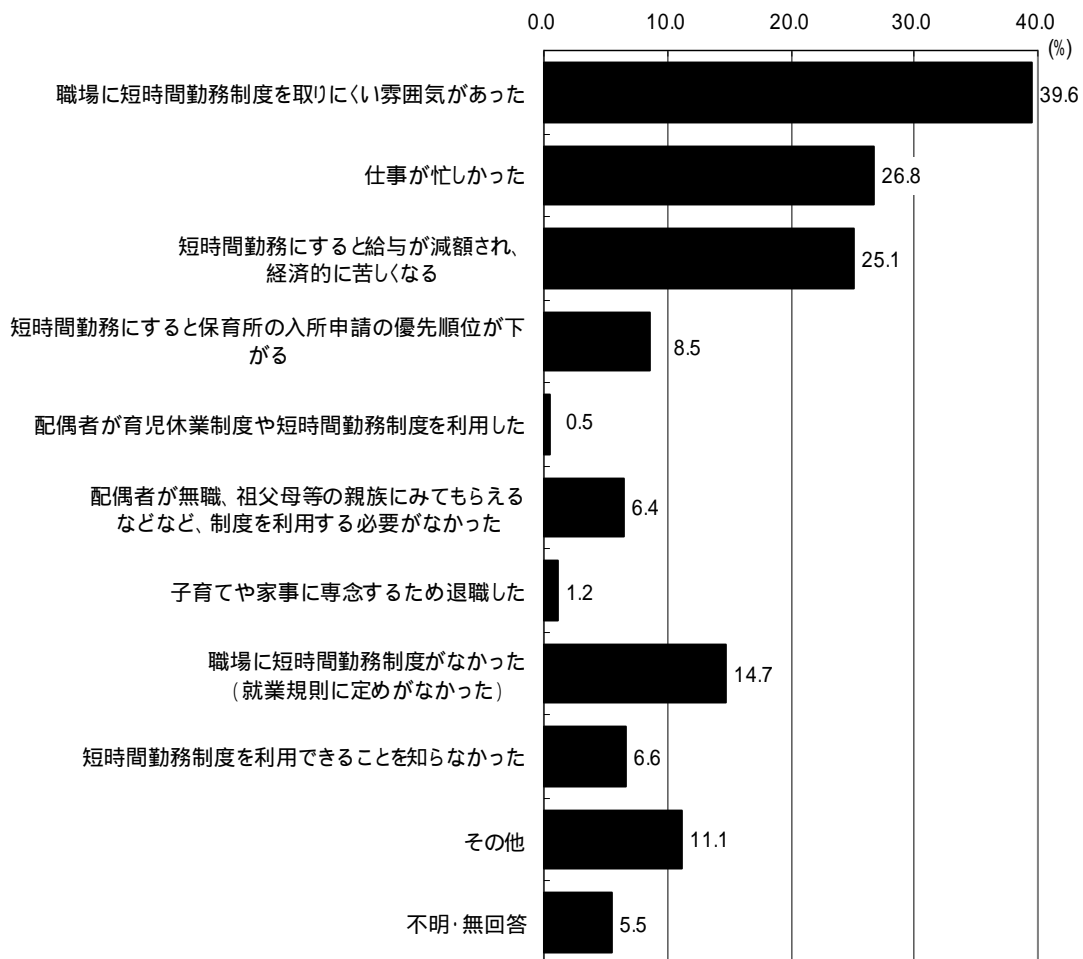
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(SA)

育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度の利用の有無については、「短時間勤務制度を利用した」が47.2%、「短時間勤務制度を利用しなかった」が44.4%とほぼ同じ割合になっています。



育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(MA)

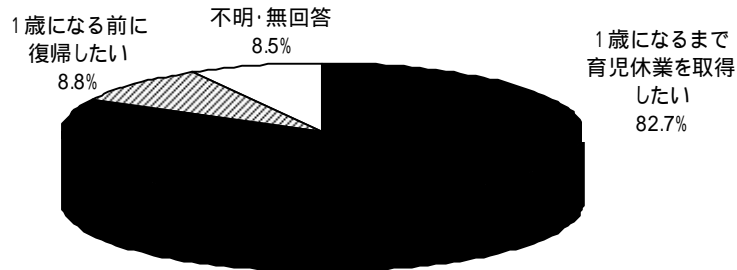
育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も高く、39.6%となっています。



[問24 - 2 母親が「現在も育児休業中である」と回答した方に]

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(SA)

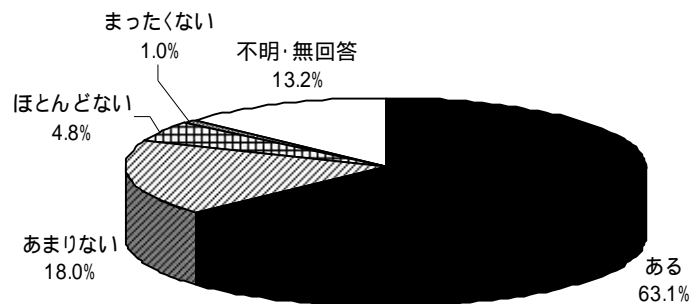
宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかどうかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が大半で82.7%となっています。



10. 子育てへの思いについて

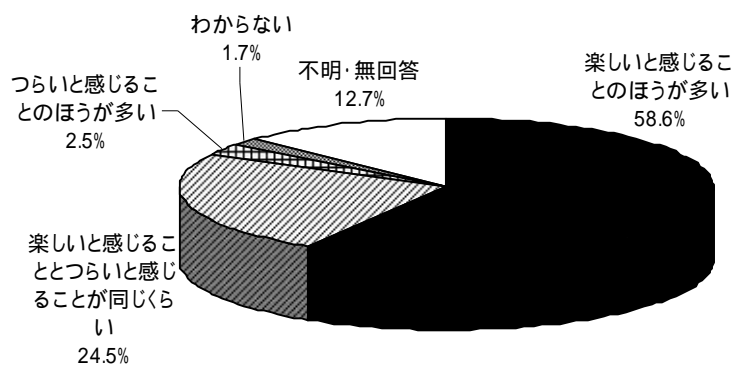
問25 子育てに関して情報を基に考えたり、家族で話し合ったりする時間はありますか。(SA)

子育てに関して情報を基に考えたり、家族で話し合ったりする時間の有無については、家族で話し合ったりする時間が「ある」という人が大半で63.1%となっています。



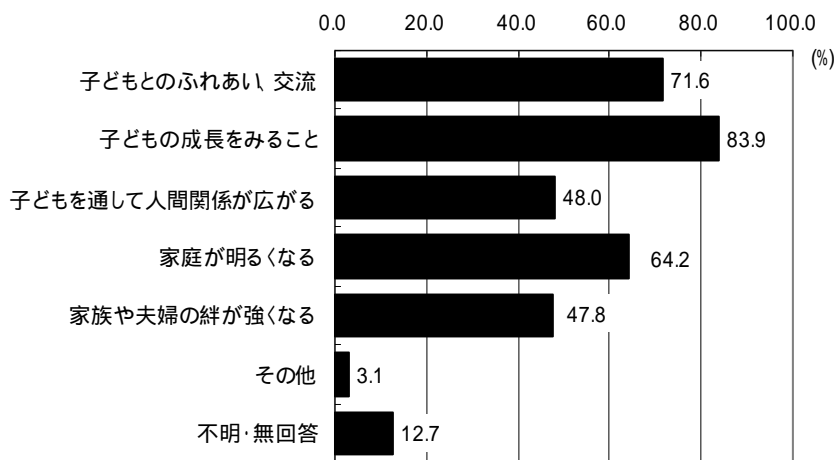
問25 - 1 子育てを楽しいと感じることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。(SA)

子育てを「楽しいと感じることが多い」という人が最も高く、半数以上の58.6%となっています。



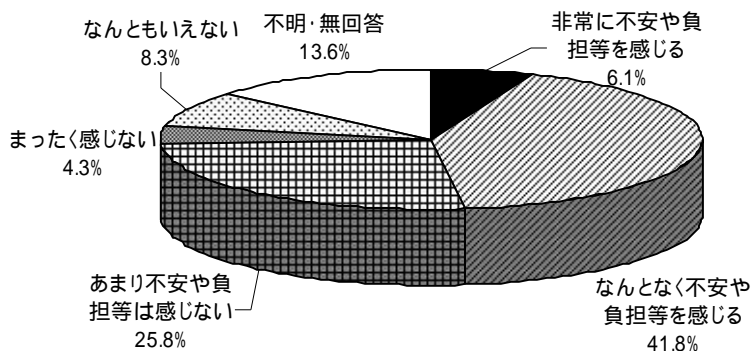
問25-2 子育ての楽しみはどんなことですか。(MA)

子育ての楽しみについて、「子どもの成長をみること」(83.9%)が最も高く、次いで「子どもとのふれあい、交流」(71.6%)が高くなっています。



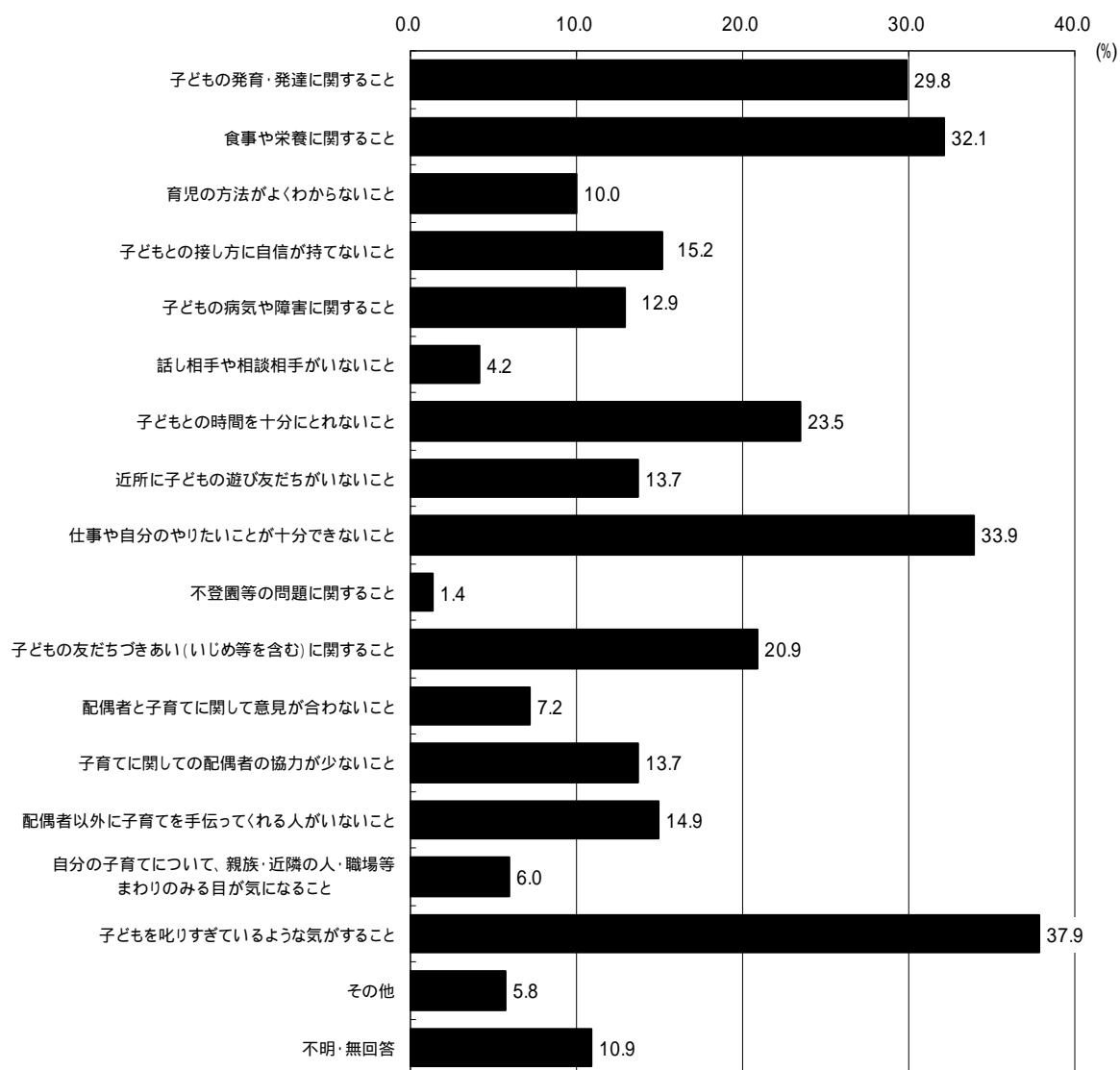
問25-3 子育てに関して不安や負担等を感じますか。(SA)

子育ての不安や負担について、「なんとなく不安や負担等を感じる」が41.8%と最も高くなっています。また、「非常に不安や負担等を感じる」という人が6.1%いる一方で、「まったく感じない」が4.3%となっています。

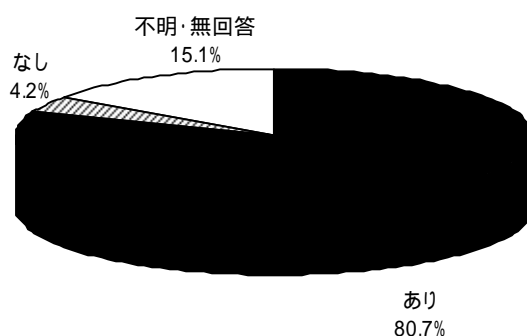


問25-4 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。(MA)

日頃の悩みや気になることについては、「子どもを叱りすぎているような気がする」と37.9%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」(33.9%)、「食事や栄養に関する事」(32.1%)となっています。



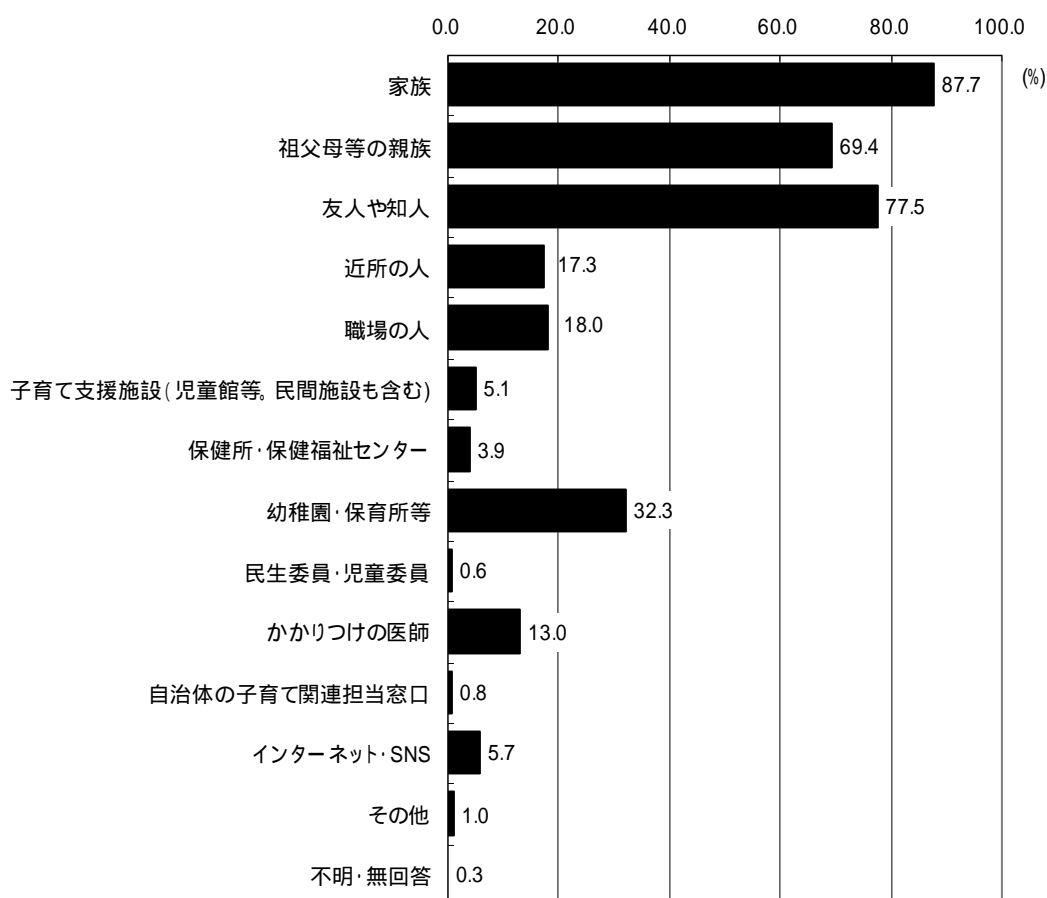
問25-5 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(SA)
 気軽に相談できる人や場所の有無について、「ある」という人が大半で80.7%となっています。



[問25-5 「1.あり」に つけた方に]

問25-6 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(MA)

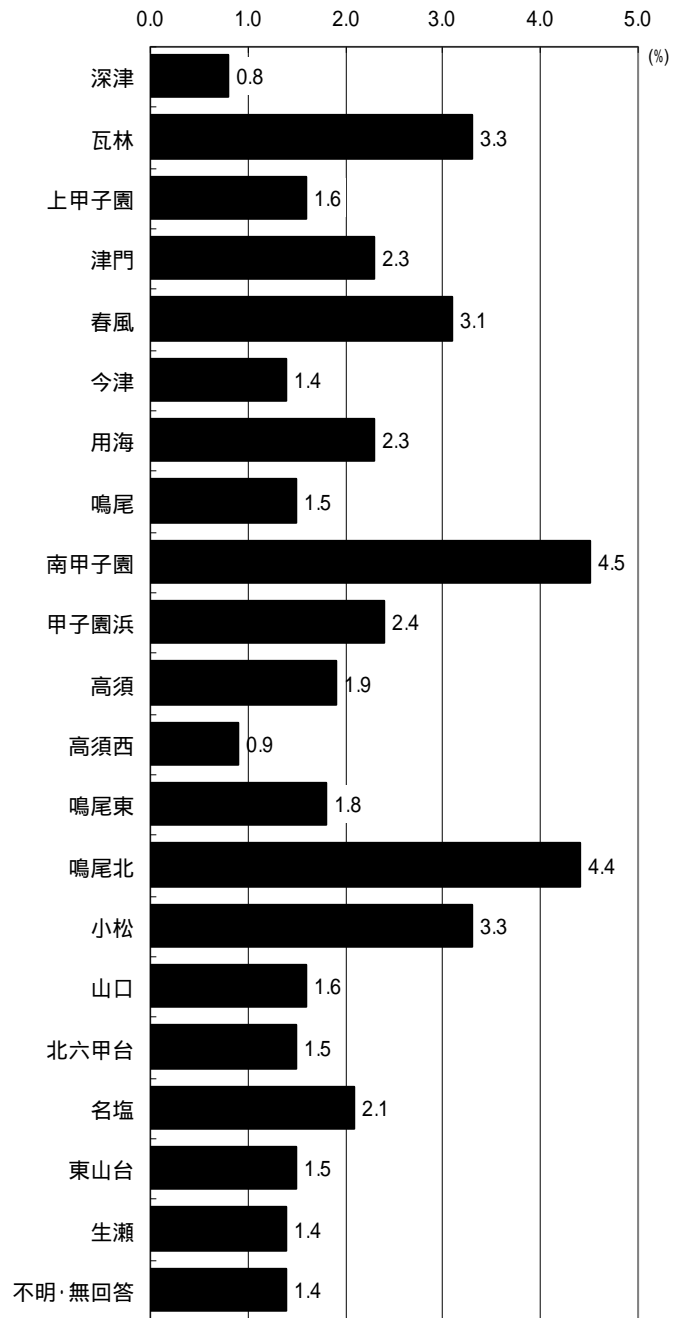
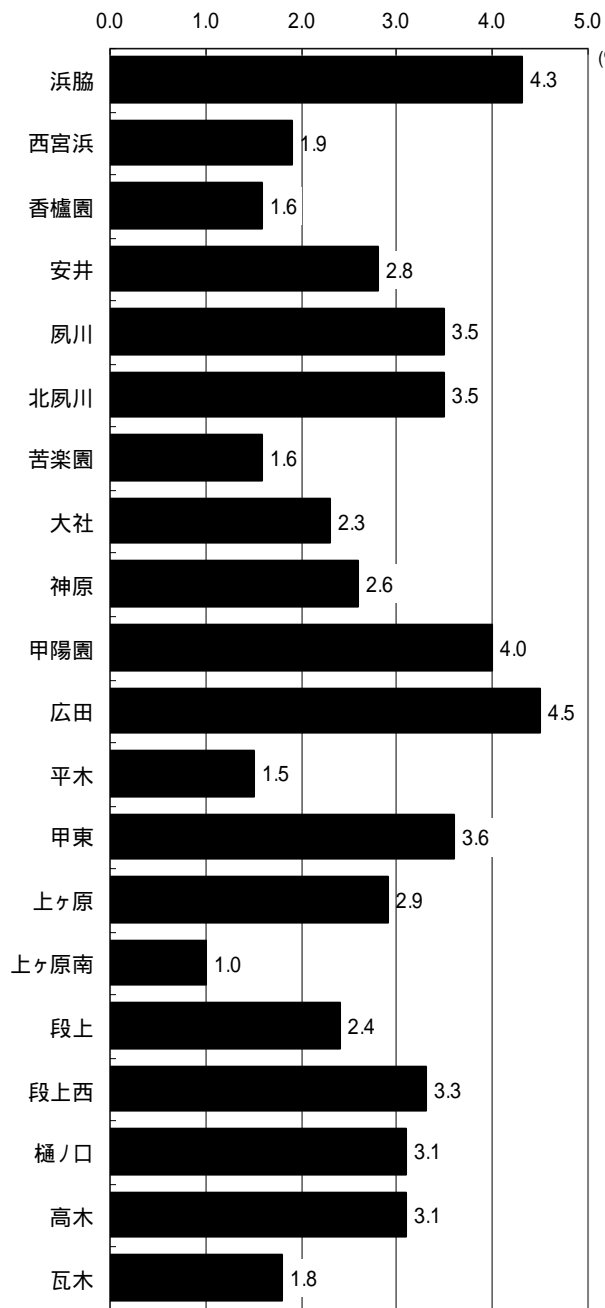
気軽に相談できる先について、「家族」が87.7%と最も高く、次いで「友人や知人」(77.5%)となっています。



小学生用調査結果

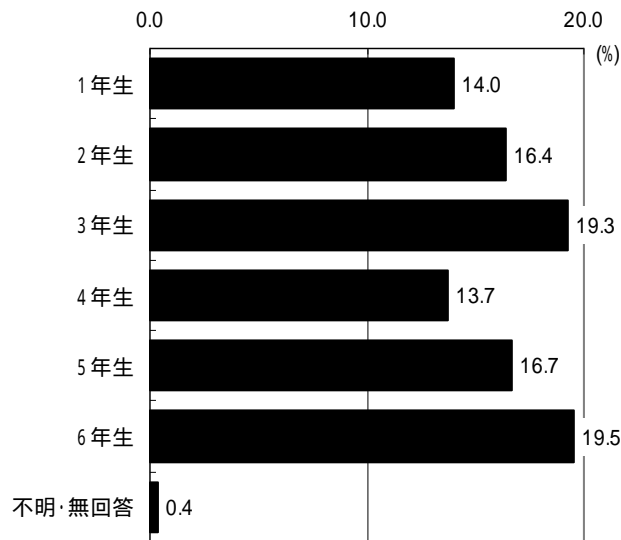
1. 宛名のお子さんご家族の状況などについて

問1 お住まいの小学校区について (SA)



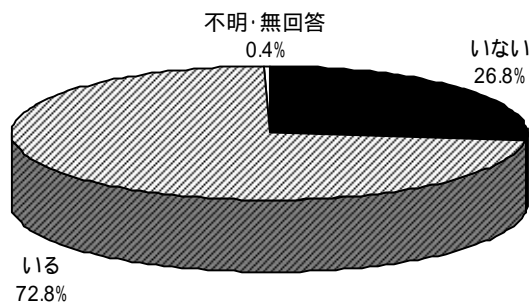
問2 宛名のお子さんの学年について (NA)

学年についてみると、「6年生」(19.5%)、「3年生」(19.3%)と高くなっています。



問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(SA)宛名のお子さんを含めた人数を、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(NA)

きょうだいの有無については、「いる」が72.8%、「いない」が(26.8%)となっています。

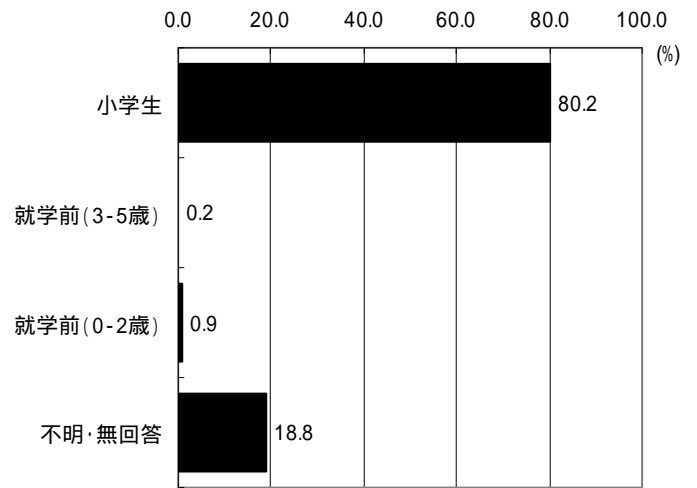
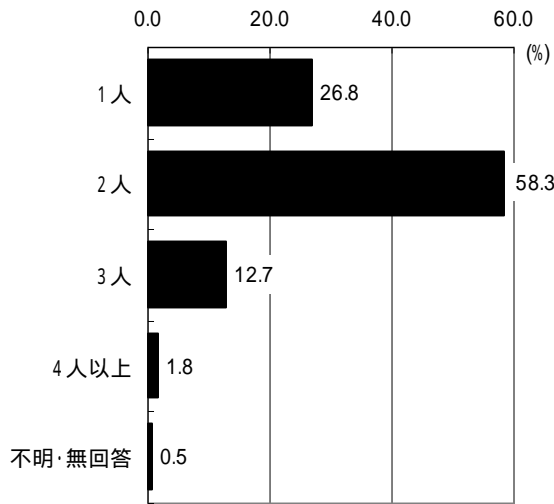


お子さんの人数についてみると、「2人」が58.3%と最も高く、次いで「1人」が26.8%となっています。

末子の年齢については、「小学生」が80.2%と大半を占めています。

お子さんの人数

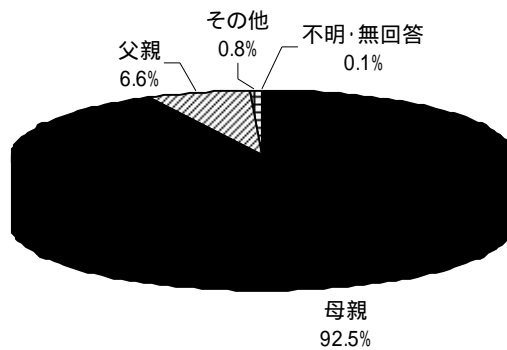
末子の年齢



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

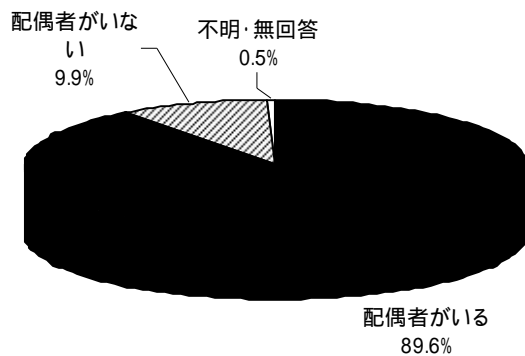
(SA)

調査票の回答者は、大半が「母親」で92.5%となっています。



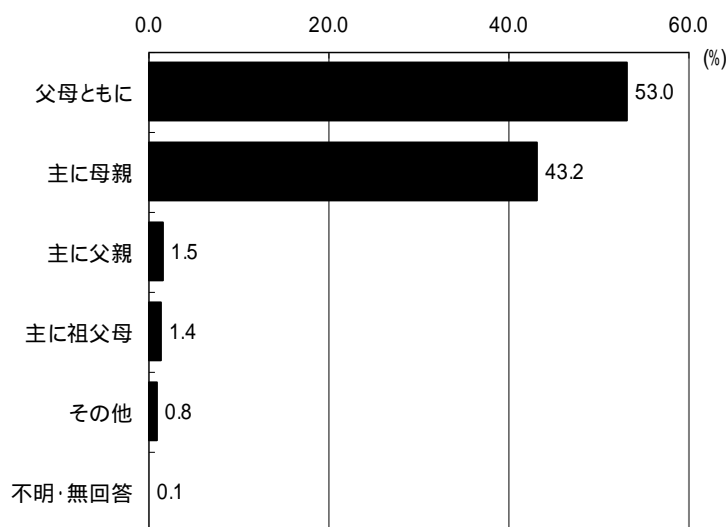
問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(SA)

調査票の回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が最も高く、89.6%となっています。



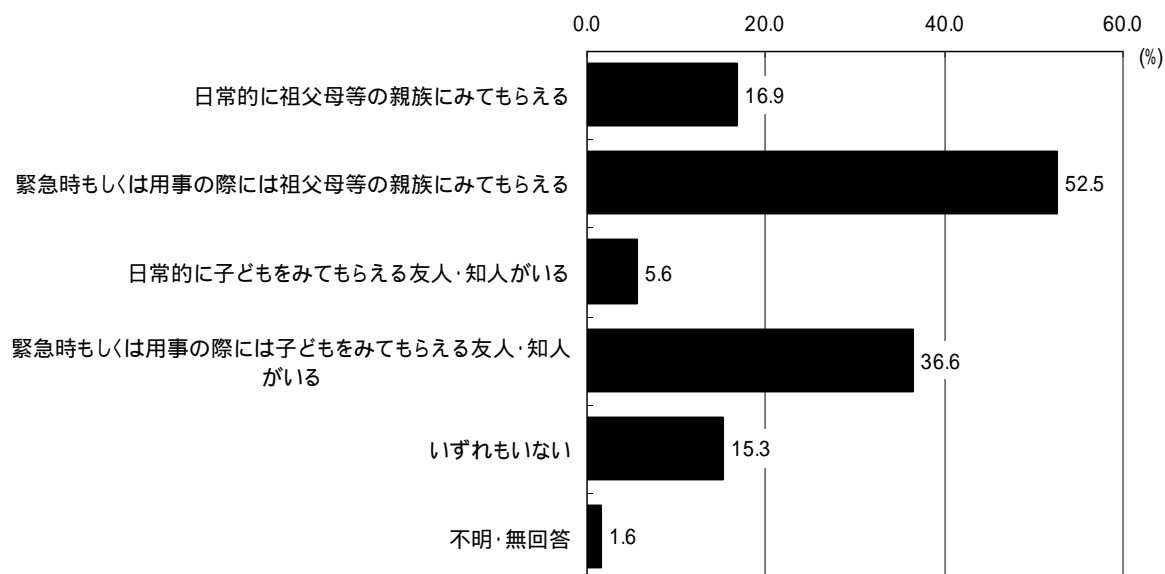
問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。（SA）

お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている人を見ると、「父母ともに」が53.0%と最も高く、次いで「主に母親」が43.2%となっています。



問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（MA）

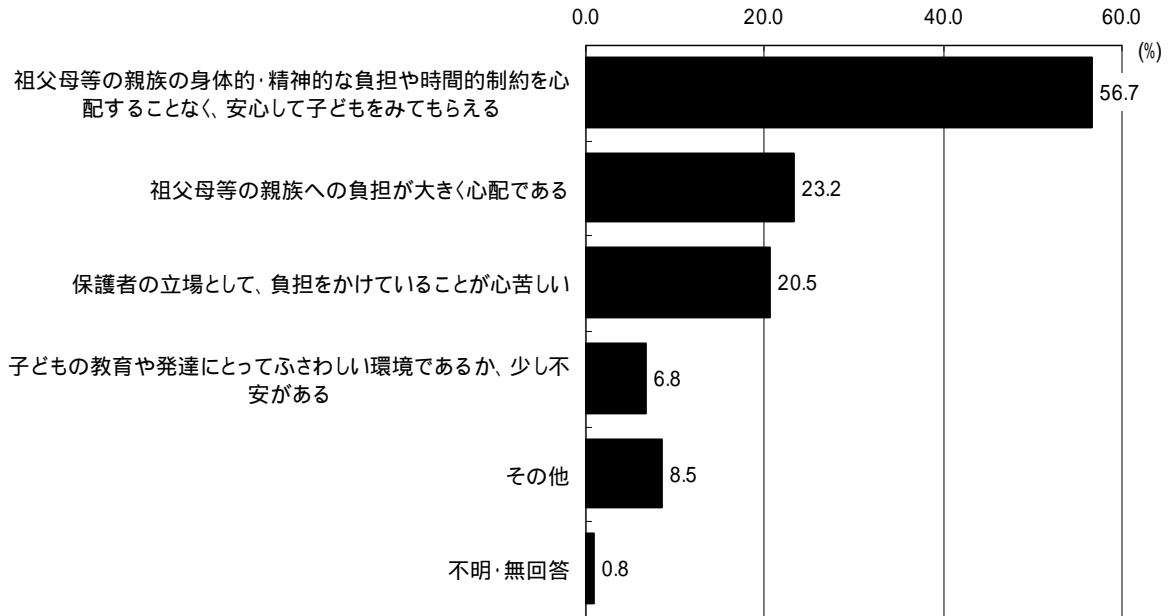
日頃、お子さんを預かってもらえる人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に見てもらえる」が52.5%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が36.6%となっています。



[問7 日常的、もしくは緊急時、祖父母等の親族に預かってもらえる方に]

問7 - 1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)

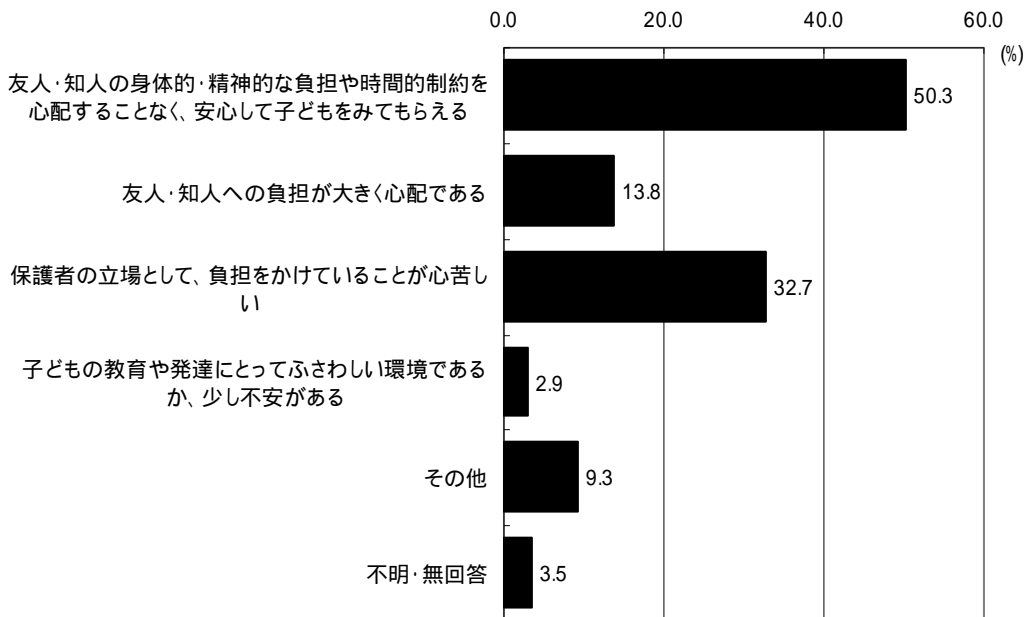
祖父母等に預かってもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.7%と半数以上を占めています。



[問7 日常的、もしくは緊急時、友人・知人に預かってもらえる方に]

問7 - 2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)

友人・知人に預かってもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が50.3%と約半数を占めています。

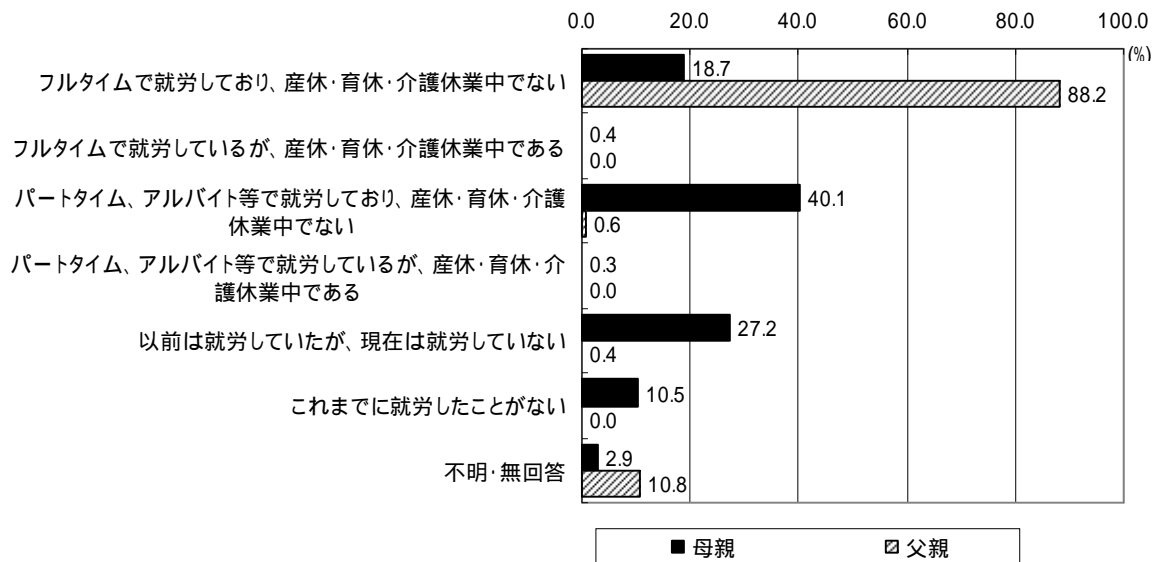


2. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問8 宛名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（SA）

就労状況については、母親は「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が40.1%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が27.2%となっています。

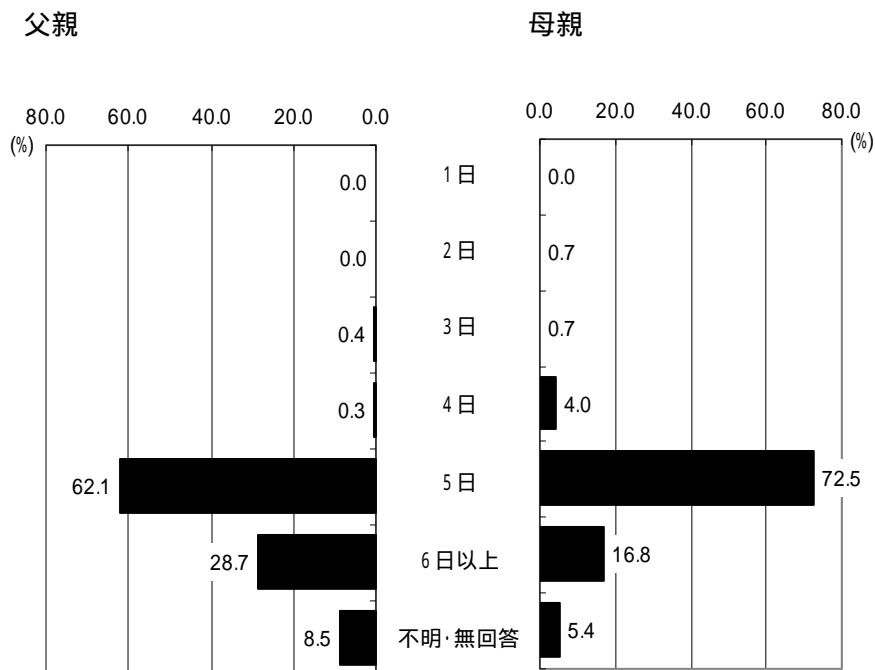
父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が88.2%と最も高くなっています。



フルタイム（産休・育休・介護休業中は含まない）の就労状況（NA）

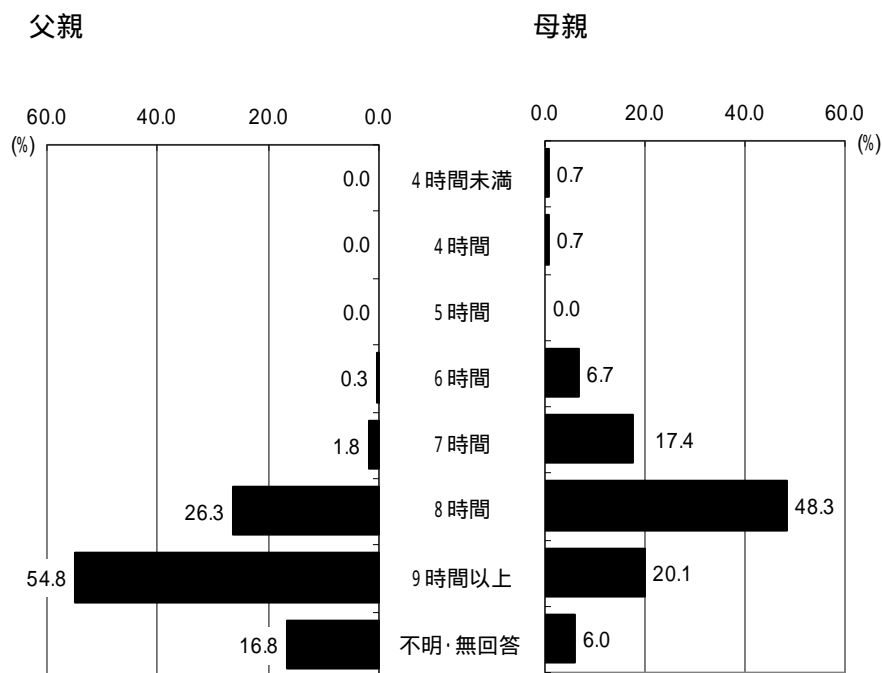
フルタイムの人の1週当たりの就労日数をみると、父親、母親ともに「5日」が最も高くなっています。

フルタイム：1週当たりの就労日数



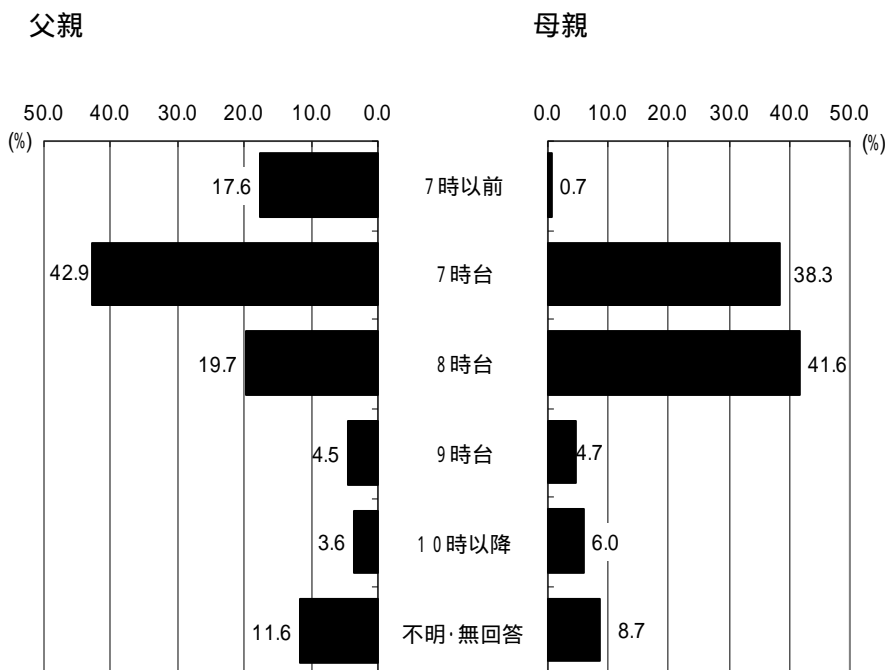
フルタイムの人の就労時間をみると、父親は「9時間以上」が54.8%と最も高く、次いで「8時間」が26.3%となっています。母親は「8時間」が48.3%と最も高く、次いで「7時間」が17.4%となっています。

フルタイム：1日当たりの就労時間



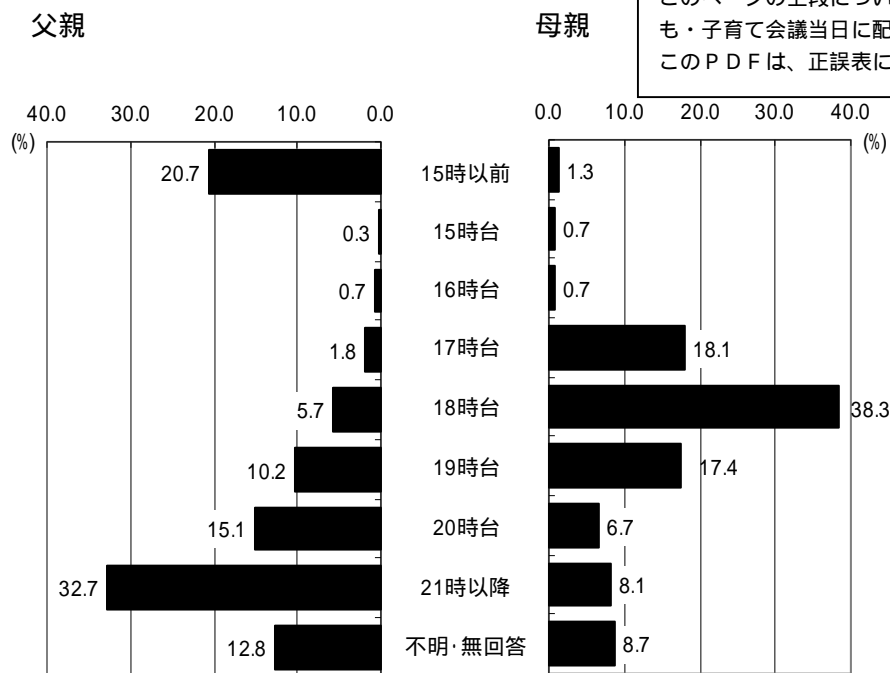
フルタイムの人の家を出る時間は、父親は「7時台」が42.9%と最も高く、次いで「8時台」が19.7%となっています。母親は「8時台」が41.6%と最も高く、次いで「7時台」が38.3%となっています。

フルタイム：家を出る時間



フルタイムの人の帰宅時間については、父親は32.7%が「21時以降」となっています。母親では「18時台」が38.3%と最も高く、次いで「17時台」が18.1%となっています。

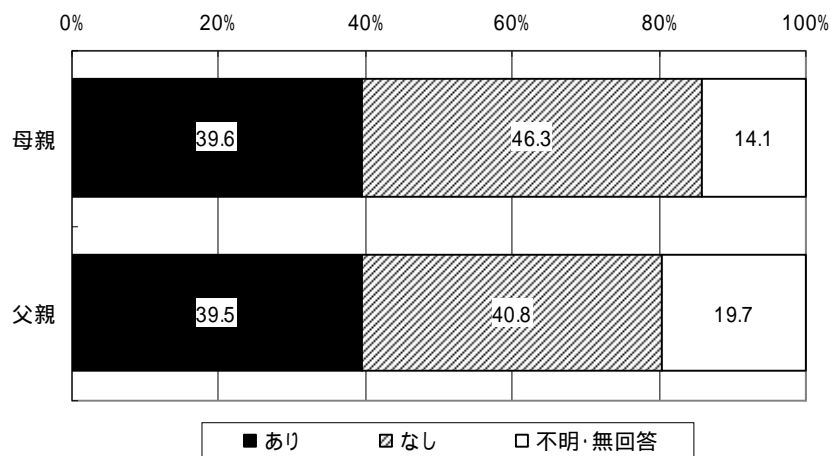
フルタイム：帰宅時間



このページの上段については、第3回西宮市子ども・子育て会議当日に配布した正誤表あり。
このPDFは、正誤表による修整前のもの

フルタイムの人の変則的な勤務の有無については、「あり」が母親は39.6%、父親は39.5%となっています。

フルタイム：変則的な勤務の有無

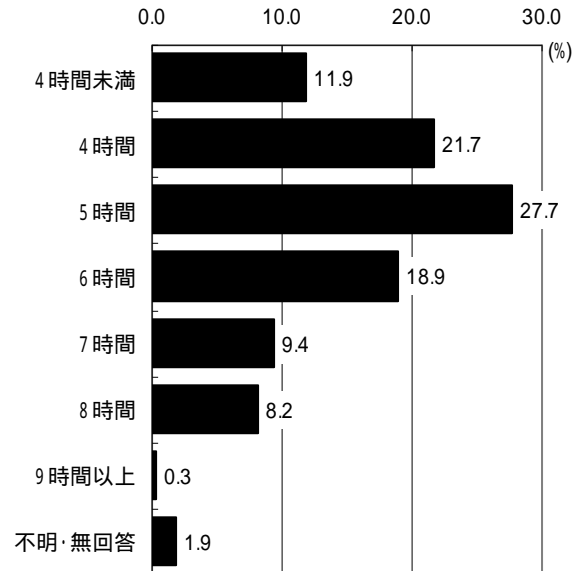
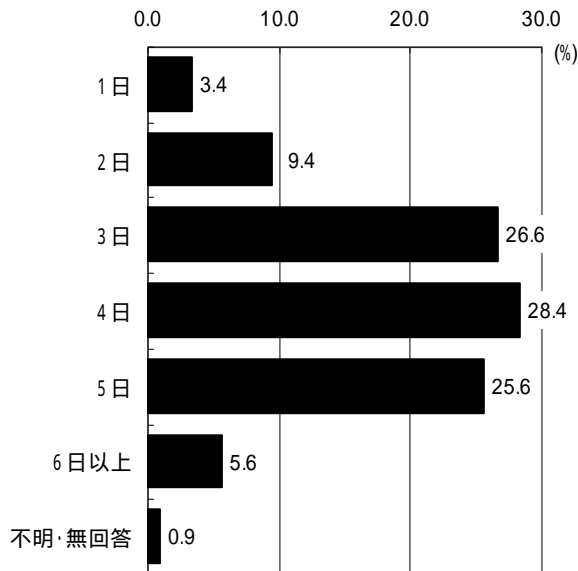


母親：パートタイム、アルバイト等（産休・育休・介護休業中は含まない）の就労状況（NA）

パートタイム・アルバイト等の母親の1週当たりの就労日数については、ばらつきがありますが「4日」が28.4%と最も高く、次いで「3日」が26.6%となっています。1日当たりの就労時間についてもばらつきがありますが、「5時間」が27.7%と最も高く、次いで「4時間」が21.7%となっています。

パートタイム：1週当たりの就労日数

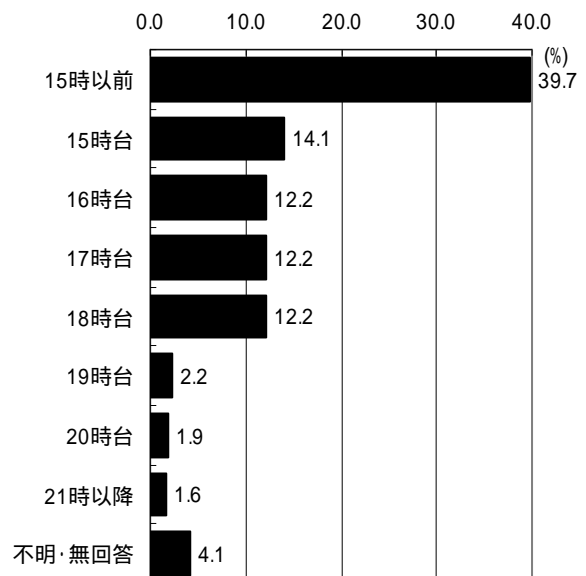
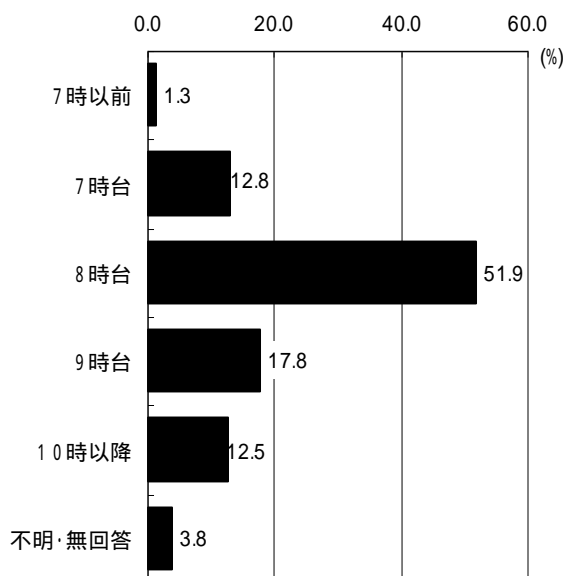
パートタイム：1日当たりの就労時間



パートタイム・アルバイト等の母親の家を出る時間については、「8時台」が51.9%と最も高く、次いで「9時台」が17.8%となっています。帰宅時間については、ばらつきがみられますが、「15時以前」が39.7%と最も高く、次いで「15時台」が14.1%となっています。

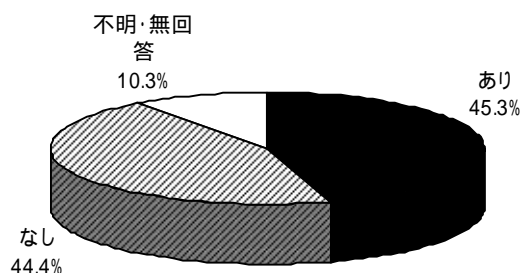
パートタイム：家を出る時間

パートタイム：帰宅時間



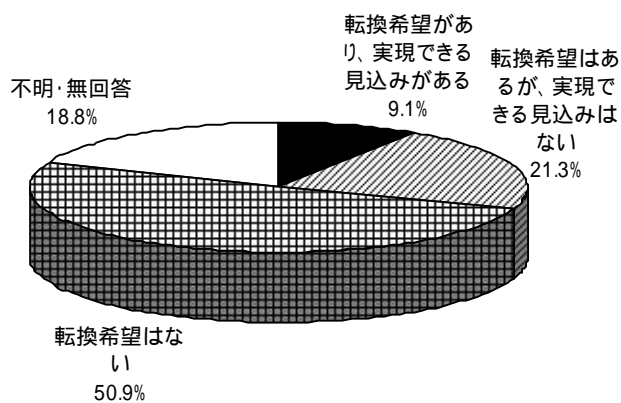
パートタイム・アルバイト等の母親の変則的な勤務の有無については、「あり」が 45.3%となっています。

パートタイム：変則的な勤務の有無



パートタイム・アルバイト等の母親のフルタイムへの転換希望の有無については、「転換希望はない」が 50.9%と最も高く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 21.3%となっています。

パートタイム：フルタイムへの転換希望の有無



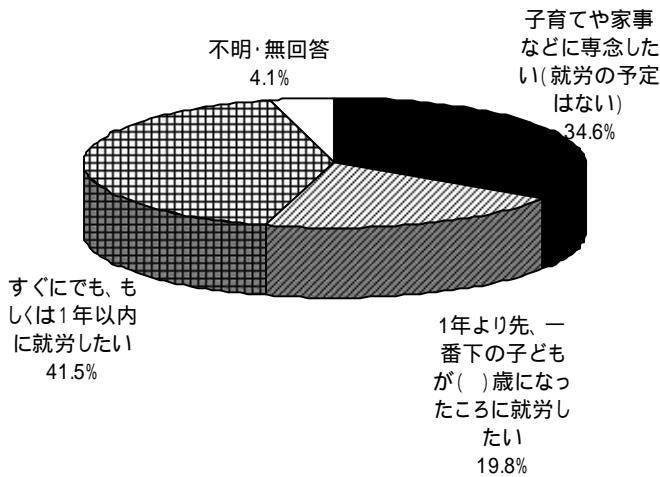
[問8 母親：以前は就労していたが、現在は就労していない方に]

問8 就労したいという希望はありますか。(SA)

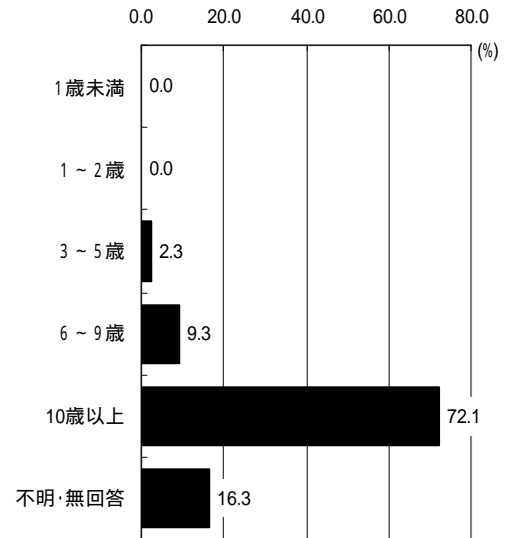
以前は就労していたが、現在は就労していない母親の今後の就労希望についてみると、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が41.5%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が34.6%となっています。

1年より先で一番下の子どもが大きくなったら働きたい人の、子どもの年齢については「10歳以上」が72.1%と大半を占めています。

就労希望の有無



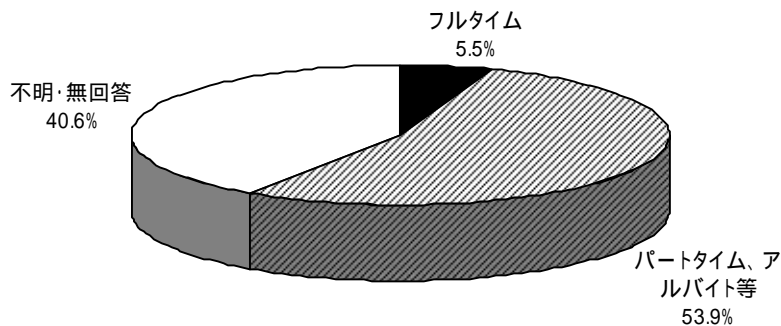
末子の年齢



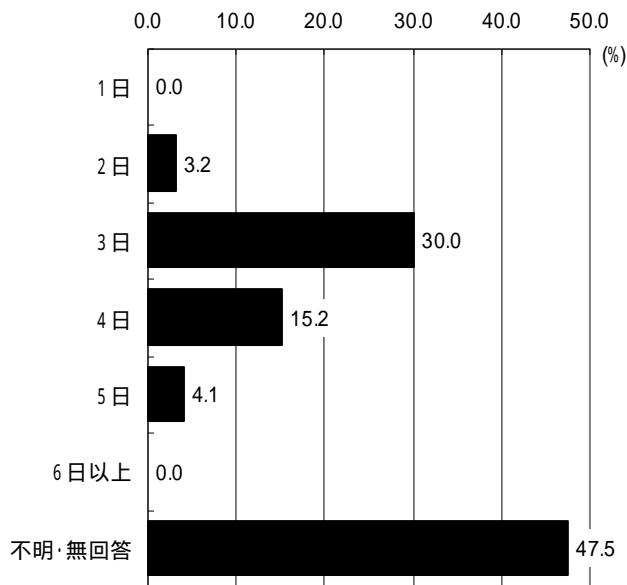
問8 希望する就労形態はどのようなものですか(SA)

パートタイム・アルバイト等の母親の希望する就労形態についてみると、「パートタイム、アルバイト等」が53.9%と約半数を占めています。希望する週当たりの日数は、「3日」が30.0%と最も高く、また1日当たりの就労時間については「5時間」が24.4%となっています。

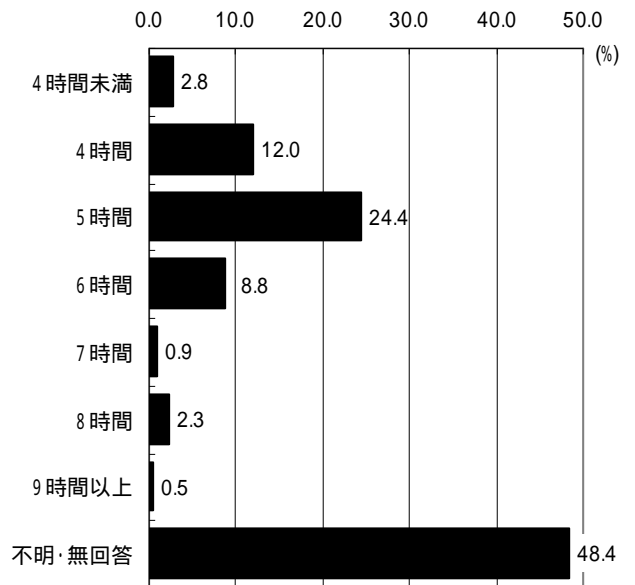
希望する就労形態



希望する週当たりの就労日数



希望する1日当たりの就労時間



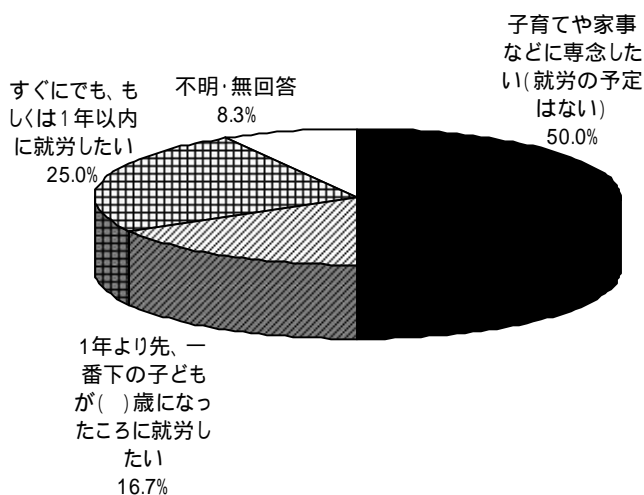
[問8 母親：これまでに就労したことがない方に]

問8 就労したいという希望はありますか。(SA)

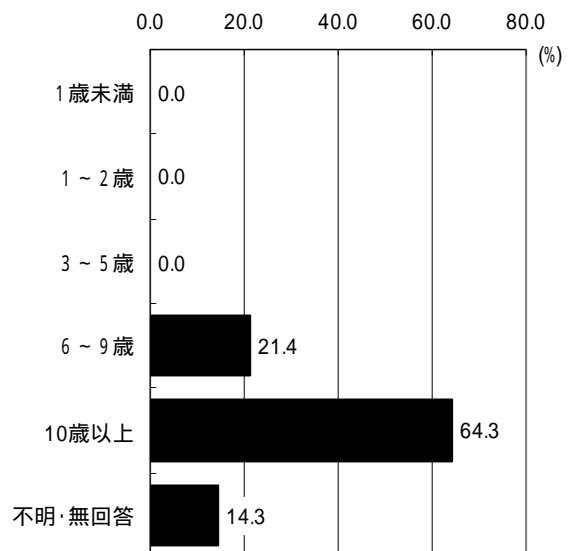
これまで就労経験のない母親の今後の就労希望についてみると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が50.0%と最も高く、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.0%となっています。

1年より先で一番下の子どもが大きくなったら働きたい人の、末子の年齢については「10歳以上」が64.3%と6割を占めています。

就労希望の有無



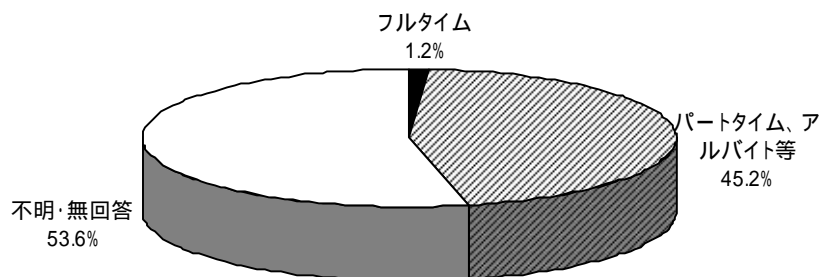
末子の年齢



問8 希望する就労形態はどのようなものですか。(SA)

これまで就労経験のない母親の希望する就労形態についてみると、「パートタイム、アルバイト等」が45.2%となっています。

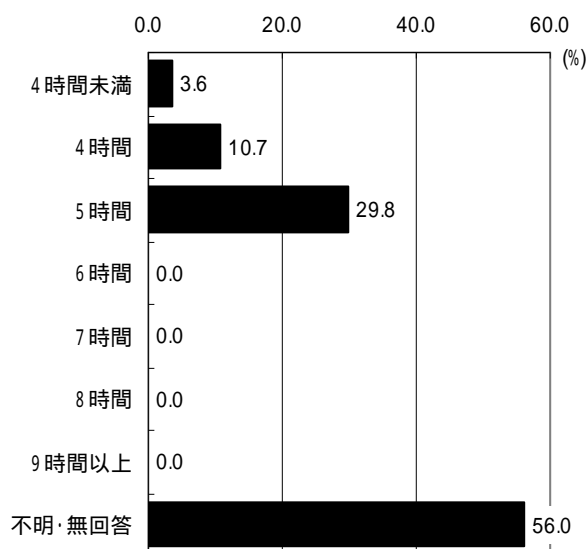
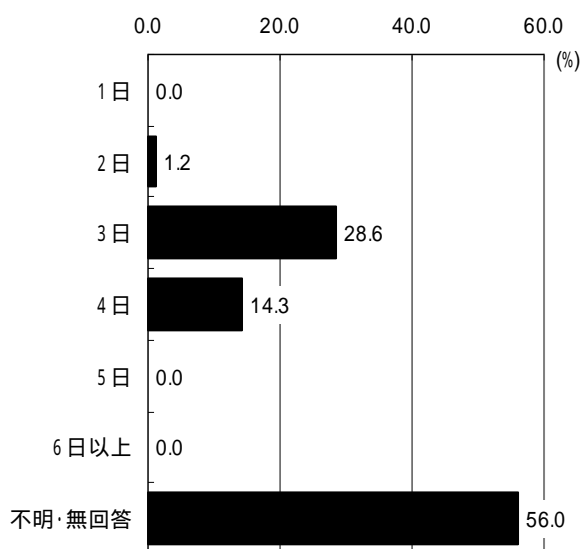
希望する就労形態



これまで就労経験のない母親の今後の就労を希望する人の週当たりの希望する就労日数については、「3日」が28.6%と最も高くなっています。また、希望する1日当たりの就労時間については、「5時間」が29.8%と最も高く、次いで「4時間」が10.7%となっています。

希望する週当たりの就労日数

希望する1日当たりの就労時間



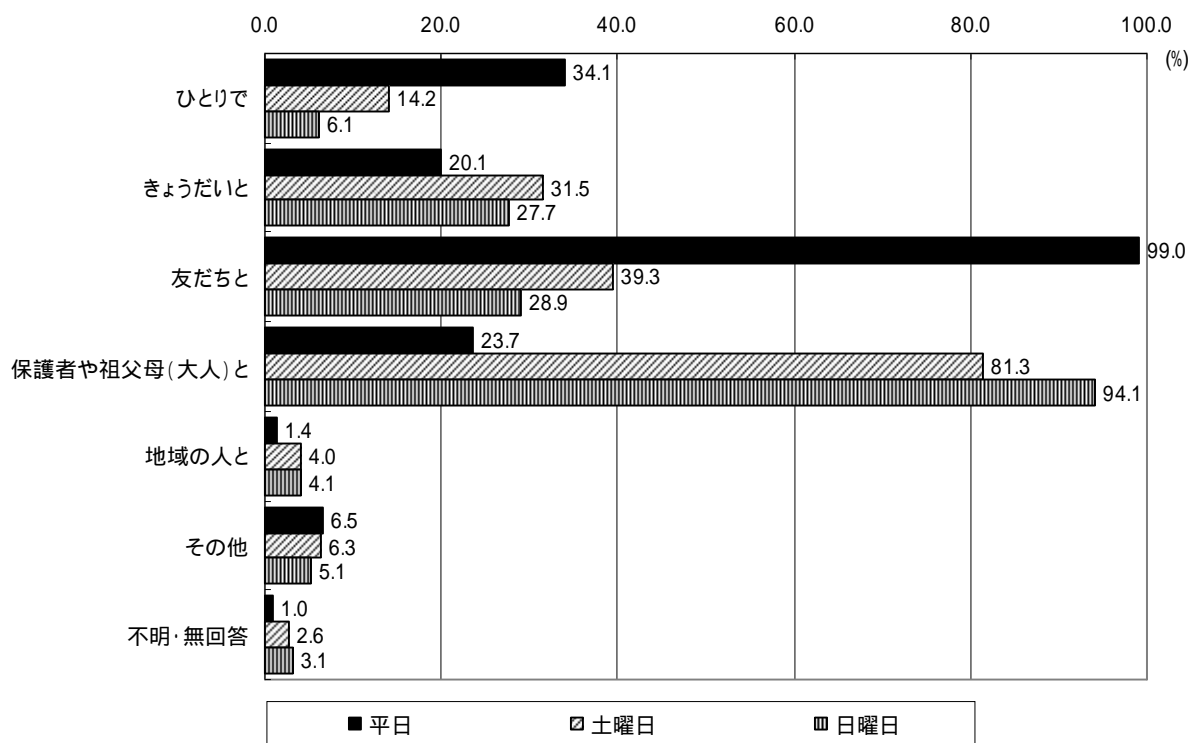
3. 宛名のお子さんの放課後や休日の過ごし方について

問9 宛名のお子さんは、平日の放課後や休日等は、どのように過ごしていますか。(2つまで)

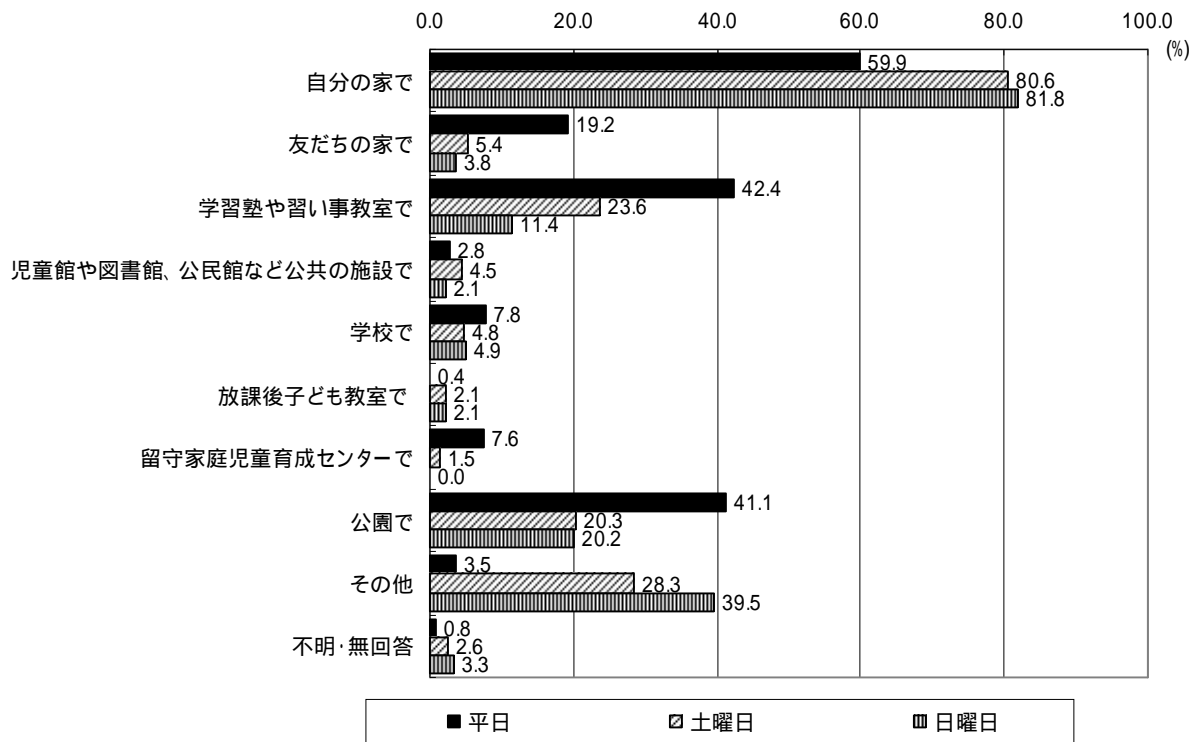
お子さんの放課後や休日は、平日は「友だちと」(99.0%)がほとんどですが、土曜日および日曜日になると、「保護者や祖父母(大人)と」が高くなっており、土曜日が81.3%、日曜日が94.1%となっています。

場所については、「自分の家で」が平日(59.9%)、土曜日(80.6%)、日曜日(81.8%)とも最も高くなっています。

【誰と過ごしていますか】

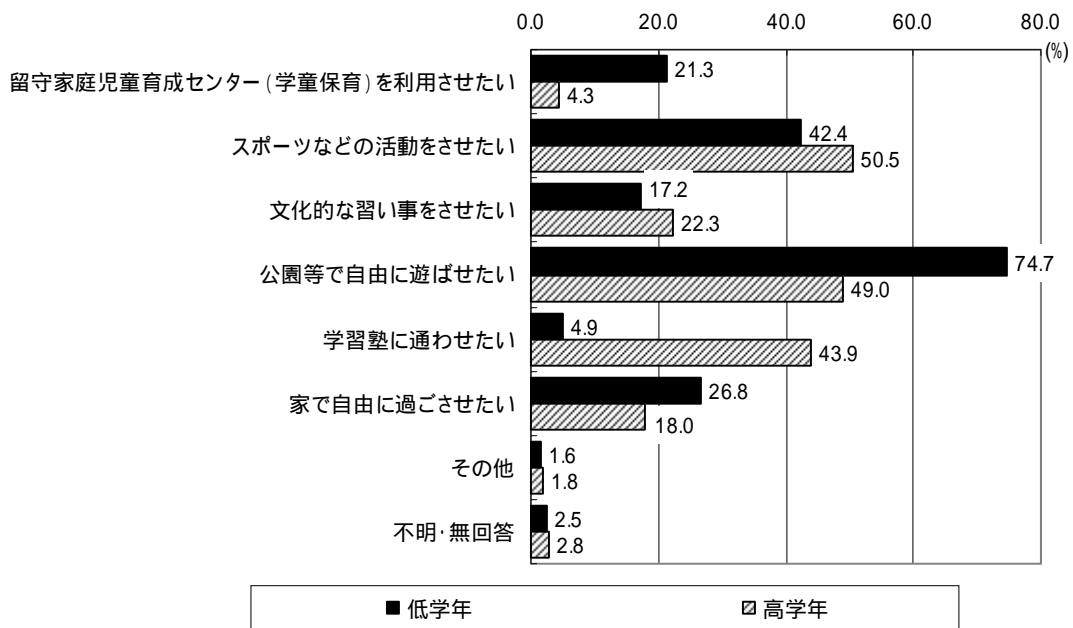


【どこで過ごしていますか】



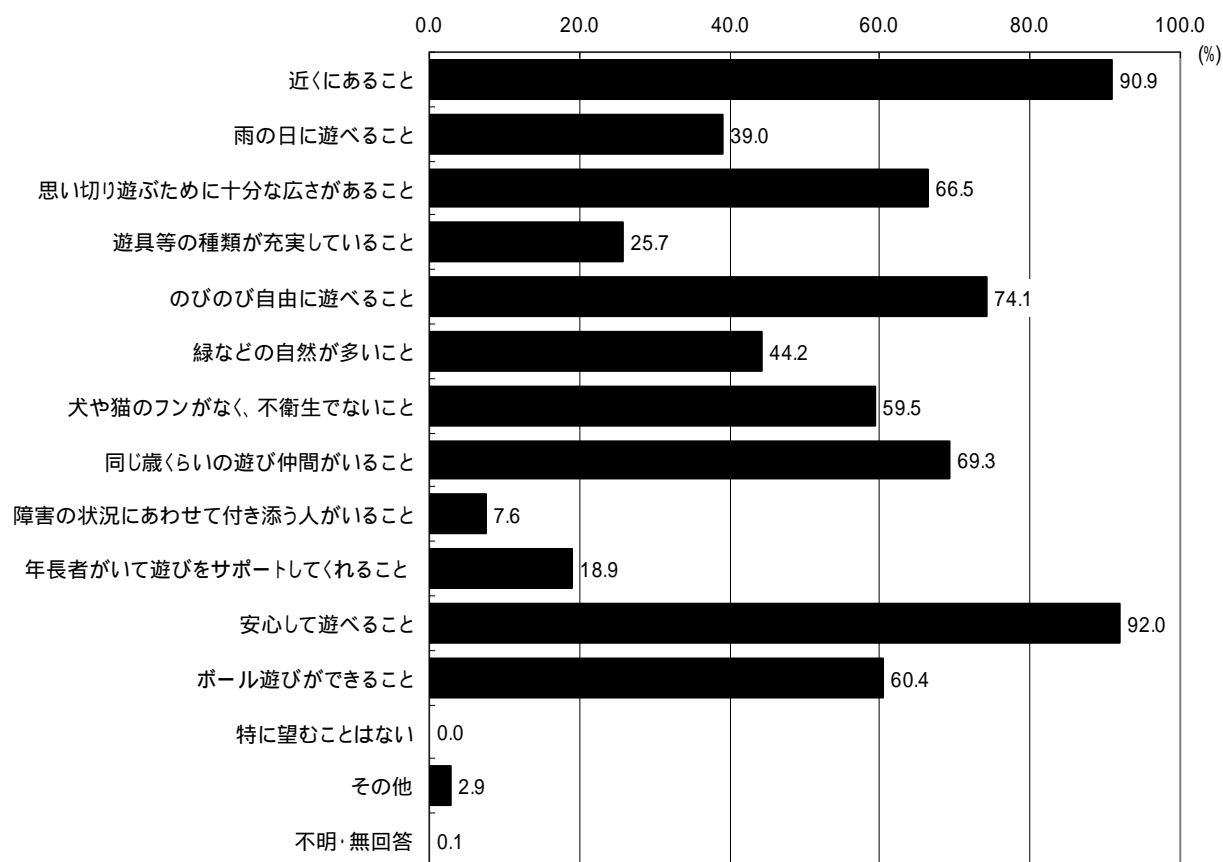
問10 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。低学年のときと高学年のとき、それぞれについてご記入ください。(2つまで)

お子さんの放課後の過ごし方については、低学年では、「公園等で自由に遊ばせたい」が74.7%と最も高く、高学年では、「スポーツなどの活動をさせたい」が50.5%と高くなっています。



問 1 1 あなたが、子どもの遊び場について望ましいと思うことは何ですか。(MA)

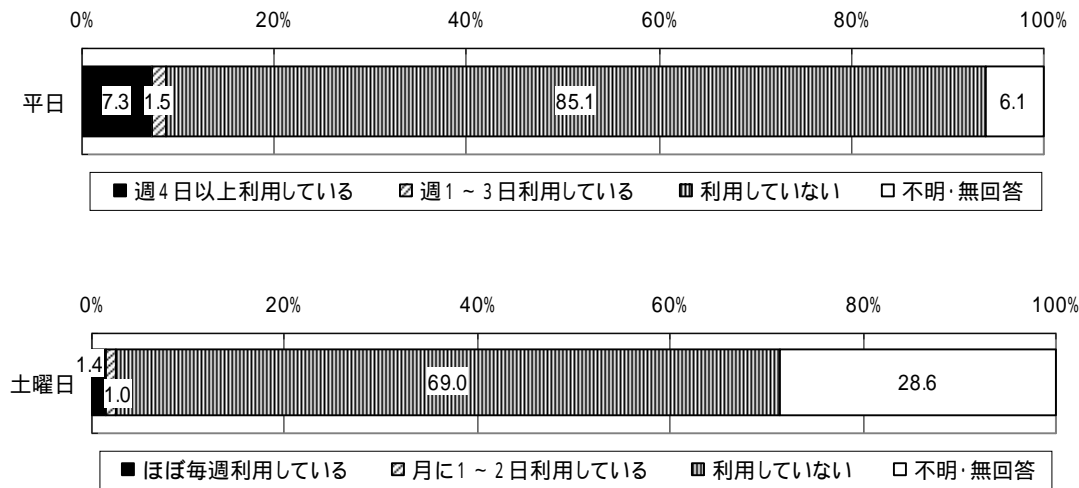
遊び場について望ましいと思うことは、「安心して遊べること」が 92.0%と最も高く、次いで「近くにあること」が 90.9%となっています。



4. 宛名のお子さんの留守家庭児童育成センター(学童保育)の利用状況や今後の利用意向について

問12 平日、土曜日に、宛名のお子さんは留守家庭児童育成センター(学童保育)を利用されていますか。(SA)

留守家庭児童育成センター(学童保育)の利用状況は、「利用していない」が平日では85.1%、土曜日では69.0%となっています。



[問12 留守家庭児童育成センター(学童保育)を利用している方に]

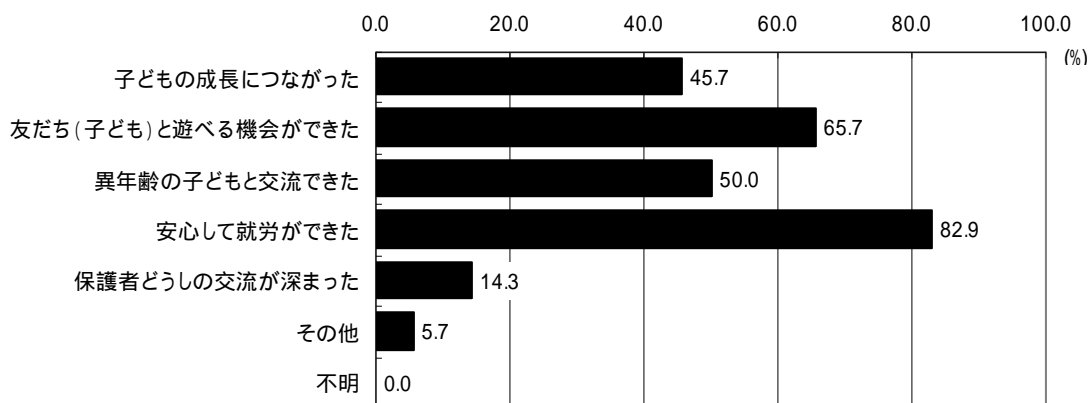
問12-1 平日に留守家庭児童育成センター(学童保育)を利用されている理由についてうかがいます。(SA)

留守家庭児童育成センター(学童保育)を利用している理由は、「保護者が現在就労している」が100.0%となっています。



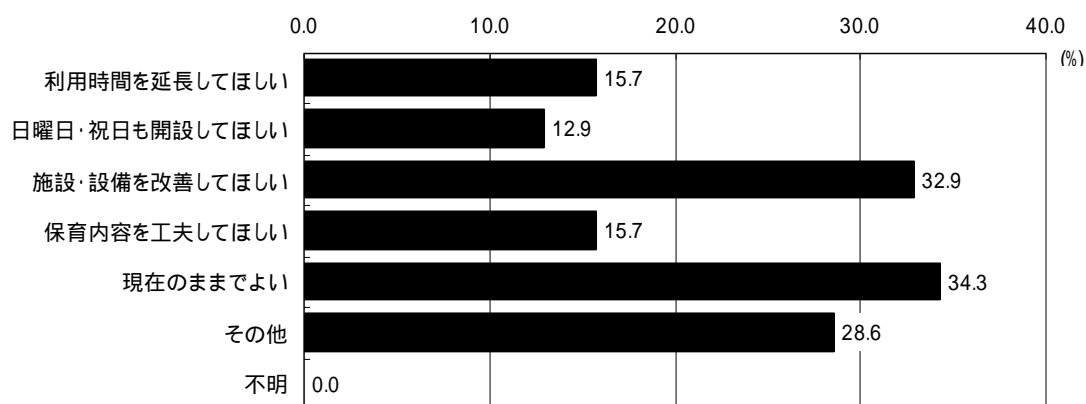
問12-2 現在通っている留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用してよかったと感じることはありますか。（MA）

現在通っている留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用してよかったことについては、「安心して就労ができた」が82.9%と最も高く、次いで「友だち(子ども)と遊べる機会ができた」(65.7%)となっています。



問12-3 現在通っている留守家庭児童育成センター（学童保育）に対して要望はありますか。（MA）

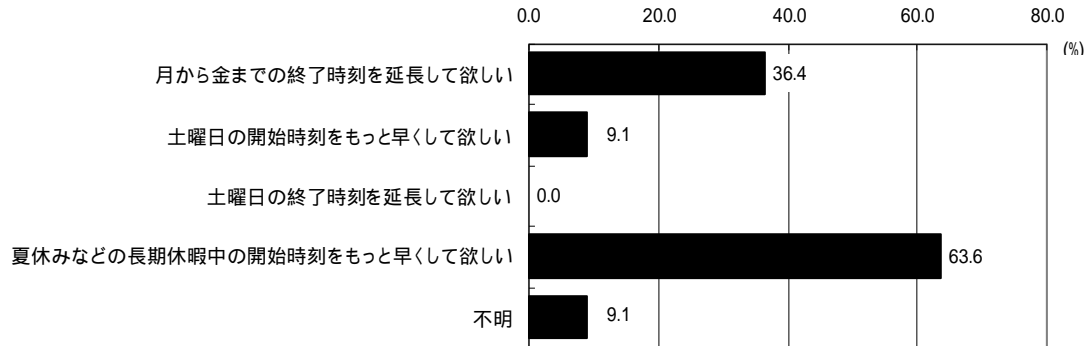
現在通っている留守家庭児童育成センター（学童保育）に対しての要望については、「現在のままでよい」が34.3%と高くなっている一方で、「施設・設備を改善してほしい」が32.9%と高くなっています。



[問 1 2 - 3 「 1 . 利用時間の延長」を希望された方に]

問 1 2 - 4 延長を希望されるのは、どの時間帯ですか。(MA)

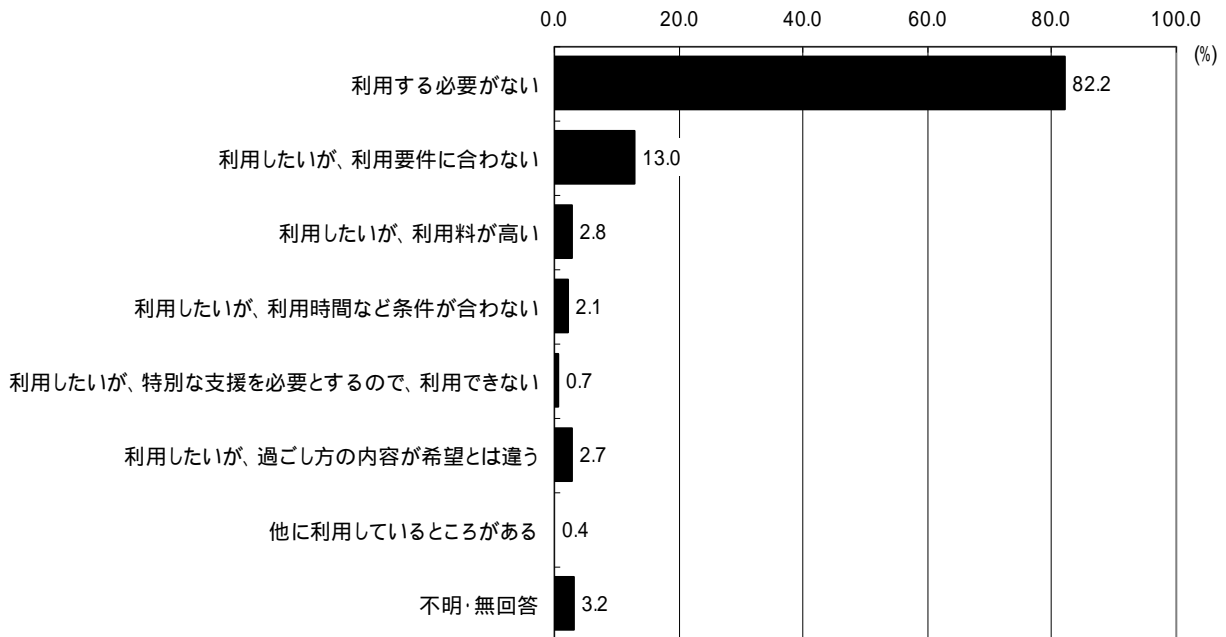
利用時間の延長を希望された方で、延長を希望される時間帯については、「夏休みなどの長期休暇中の開始時刻をもっと早くして欲しい」が 63.6%と半数以上となっています。



[問 1 2 平日に留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用していない方に]

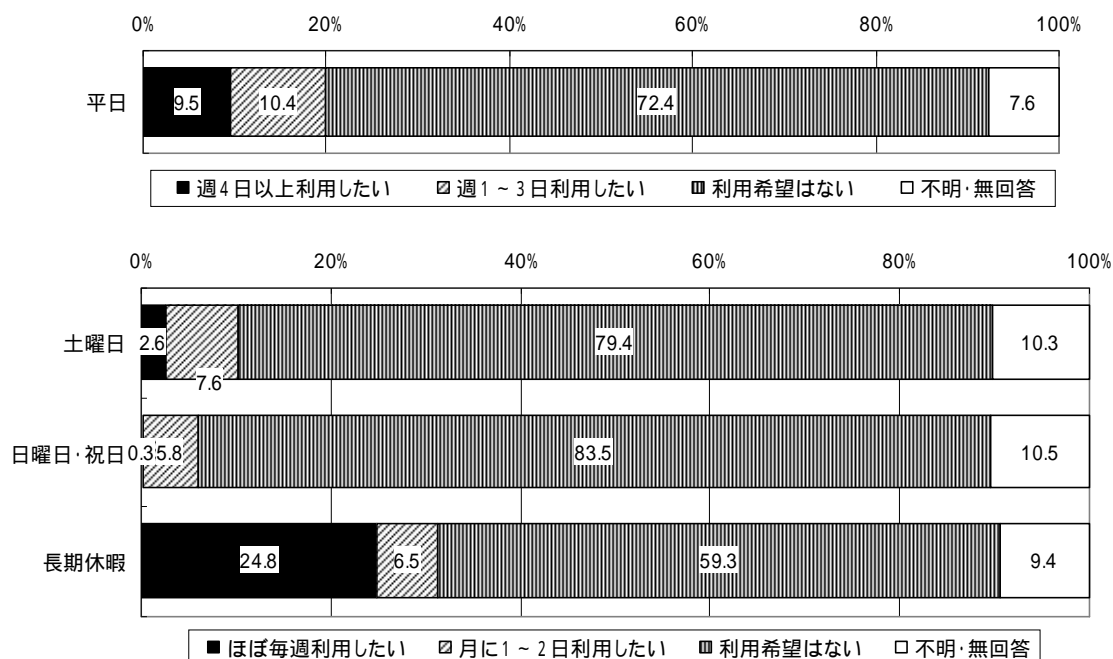
問 1 2 - 5 利用していない理由についてうかがいます。(MA)

平日に留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用していない理由として、「利用する必要がない」が大半で 82.2%と高くなっています。また、「利用したいが、利用要件に合わない」という人も 13.0%います。



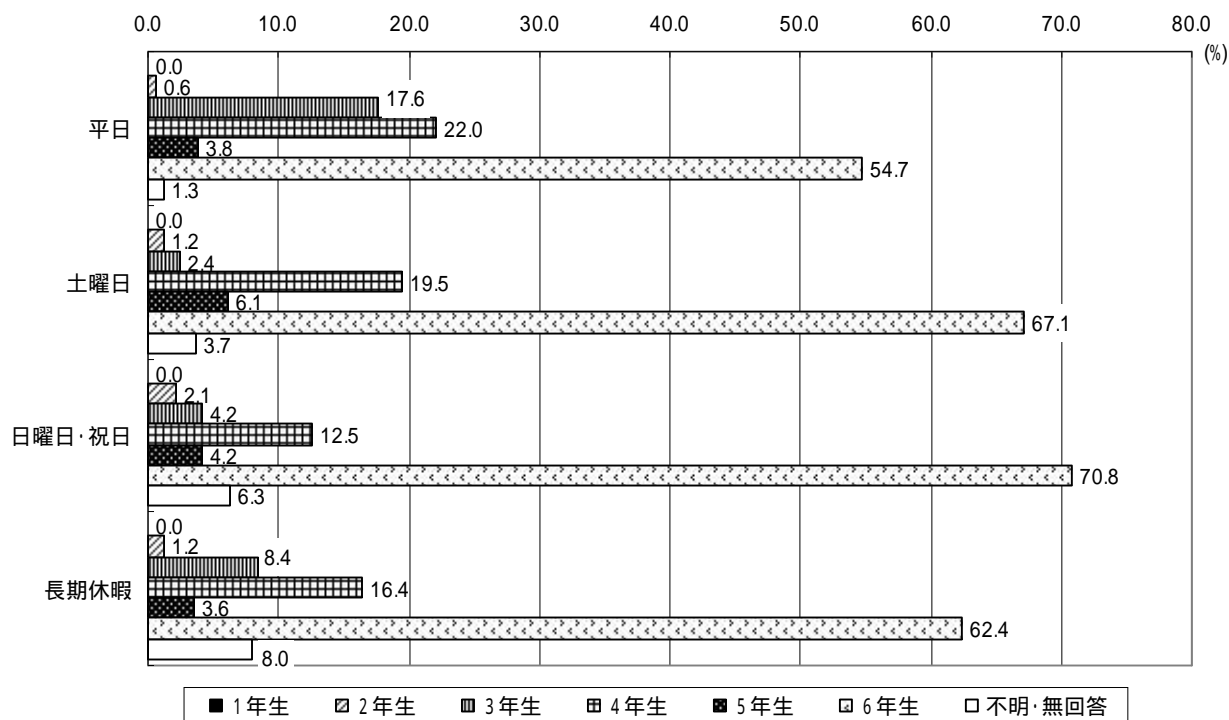
問13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんは、平日、土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童育成センター（学童保育）の利用を希望されますか。（SA）

留守家庭児童育成センター（学童保育）の利用希望について、平日、土曜日、日曜日・祝日は「利用希望はない」が7割を超えているのに対して、長期休暇では「ほぼ毎週利用したい」が24.8%となっています。



また、留守家庭児童育成センター（学童保育）の利用希望の学年については、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇のすべてにおいて、1、2年生までの利用希望が0.0%～2.1%とほとんどないのに対して、6年生までの希望は54.7%～70.8%と、すべてにおいて高くなっています。

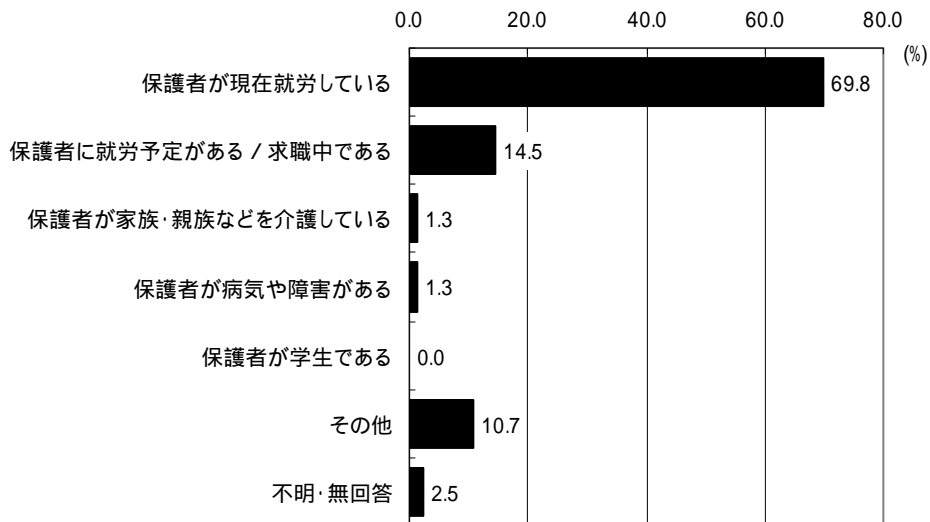
利用希望の学年



[問 1 3 で 平日の「 1 .」または「 2 .」を回答された方に]

問 1 3 - 1 平日に留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用したい理由についてうかがいます。
（SA）

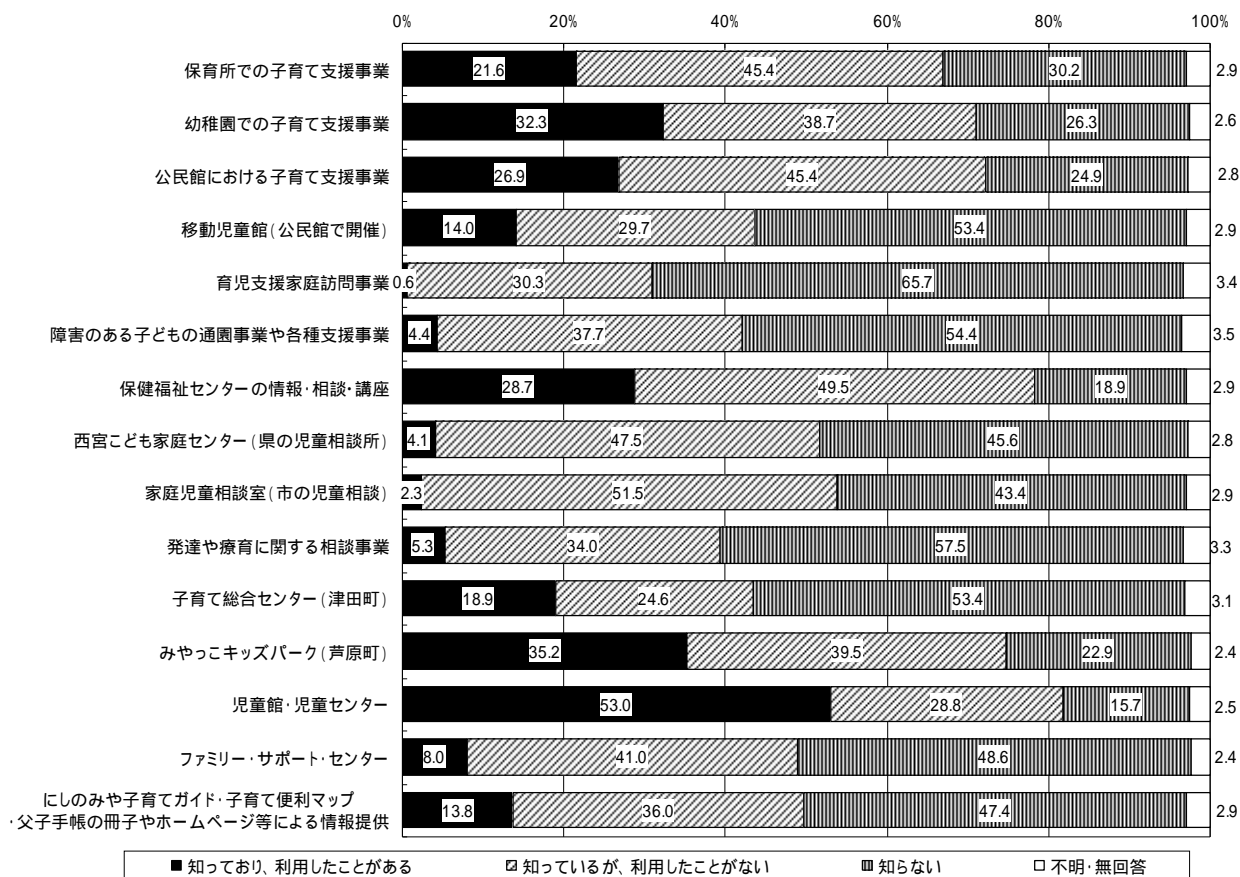
平日に留守家庭児童育成センター（学童保育）を利用したい理由については、「保護者が現在就労している」が69.8%と最も高くなっています。



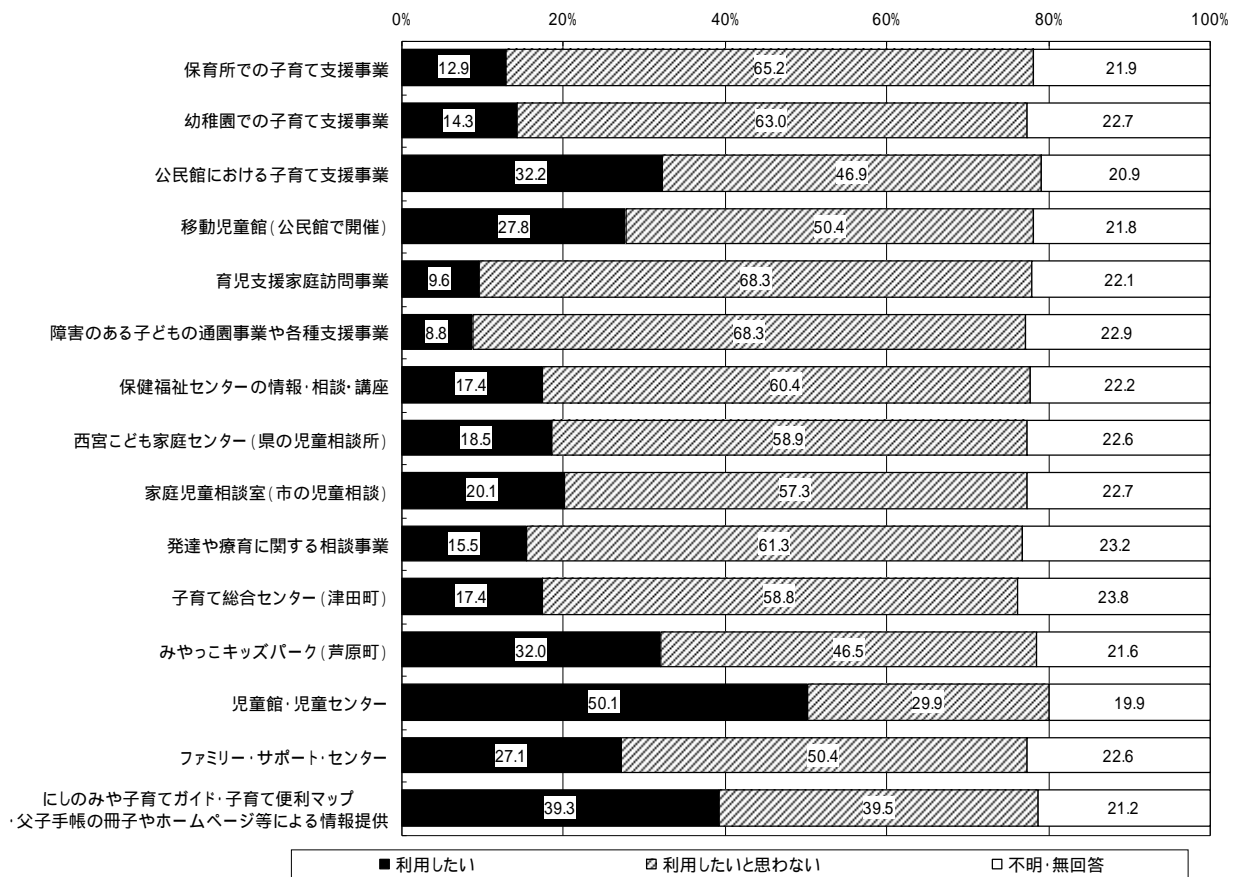
5. 子育て支援サービスの認知度・利用意向について

問14 これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについてうかがいます。(SA)

現在の利用状況・認知度として、「知っており、利用したことがある」割合が高いものとして、「児童館・児童センター」が53.0%、次いで、「みやっこキッズパーク(芦原町)」(35.2%)、「幼稚園での子育て支援事業」(32.3%)となっています。一方で、「知らない」割合が高いのは、「育児支援家庭訪問事業」(65.7%)、「発達や療育に関する相談事業」(57.5%)となっています。

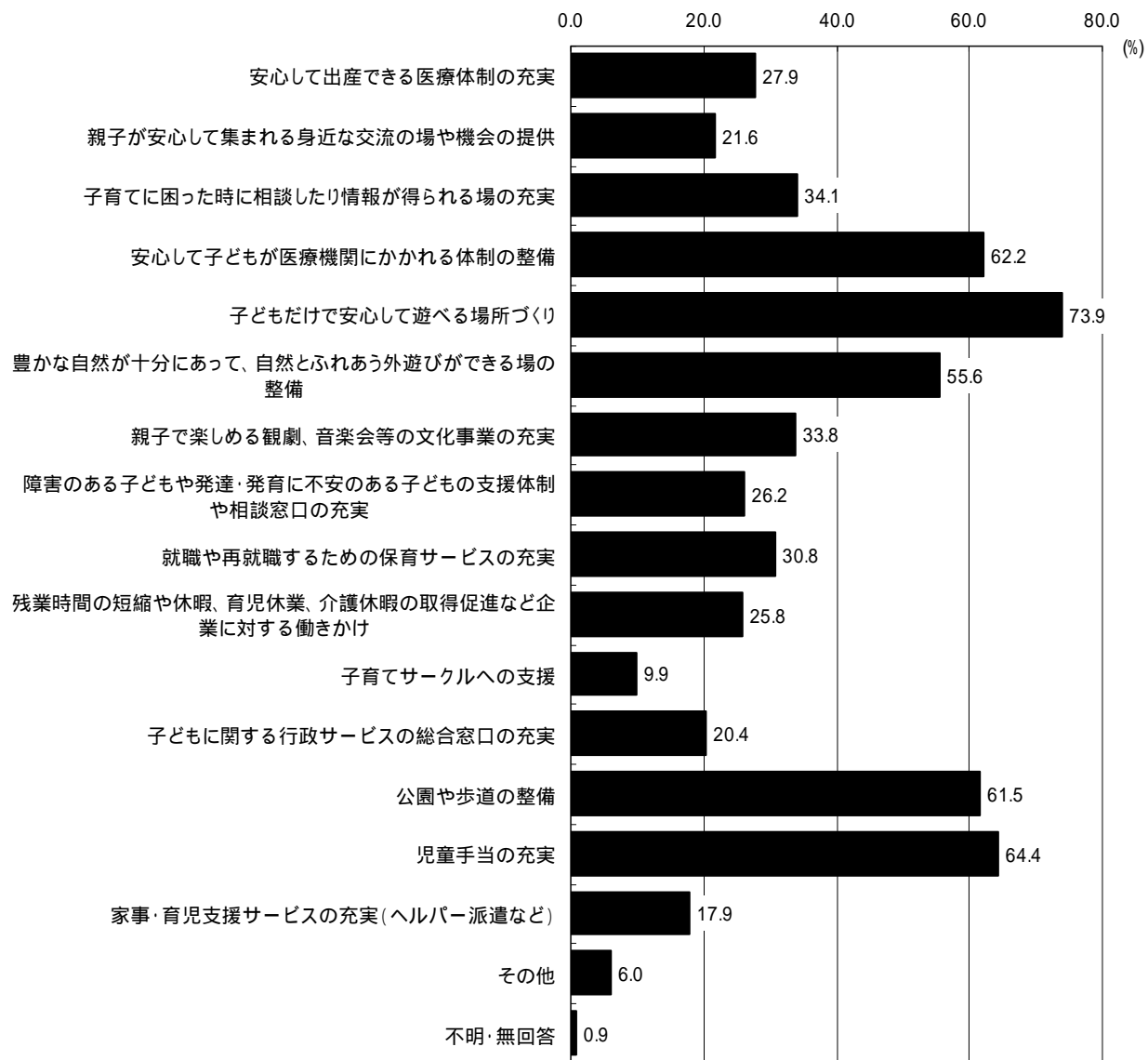


今後の利用意向については、「利用したい」割合が高いのは、「児童館・児童センター」が50.1%、次いで「にしのみや子育てガイド・子育て便利マップ・父子手帳の冊子やホームページ等による情報提供」(39.3%)となっています。



問15 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。(MA)

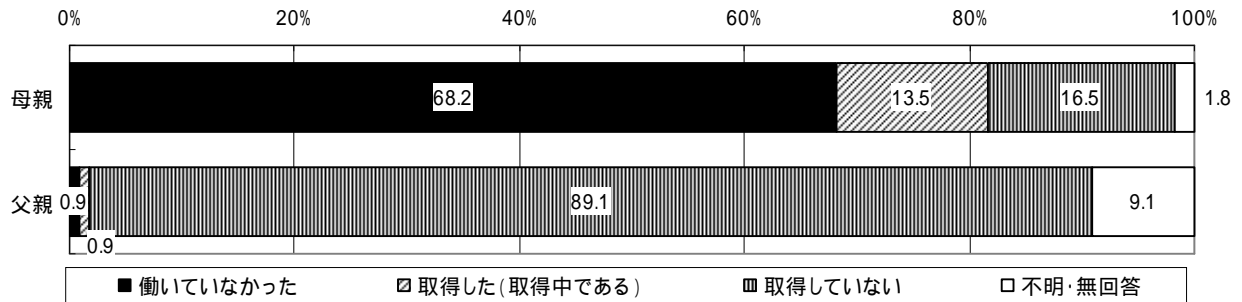
子育て支援でもっと力をいれてほしいものについては、「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」が73.9%と最も高く、次いで「児童手当の充実」(64.4%)、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」が62.2%となっています。



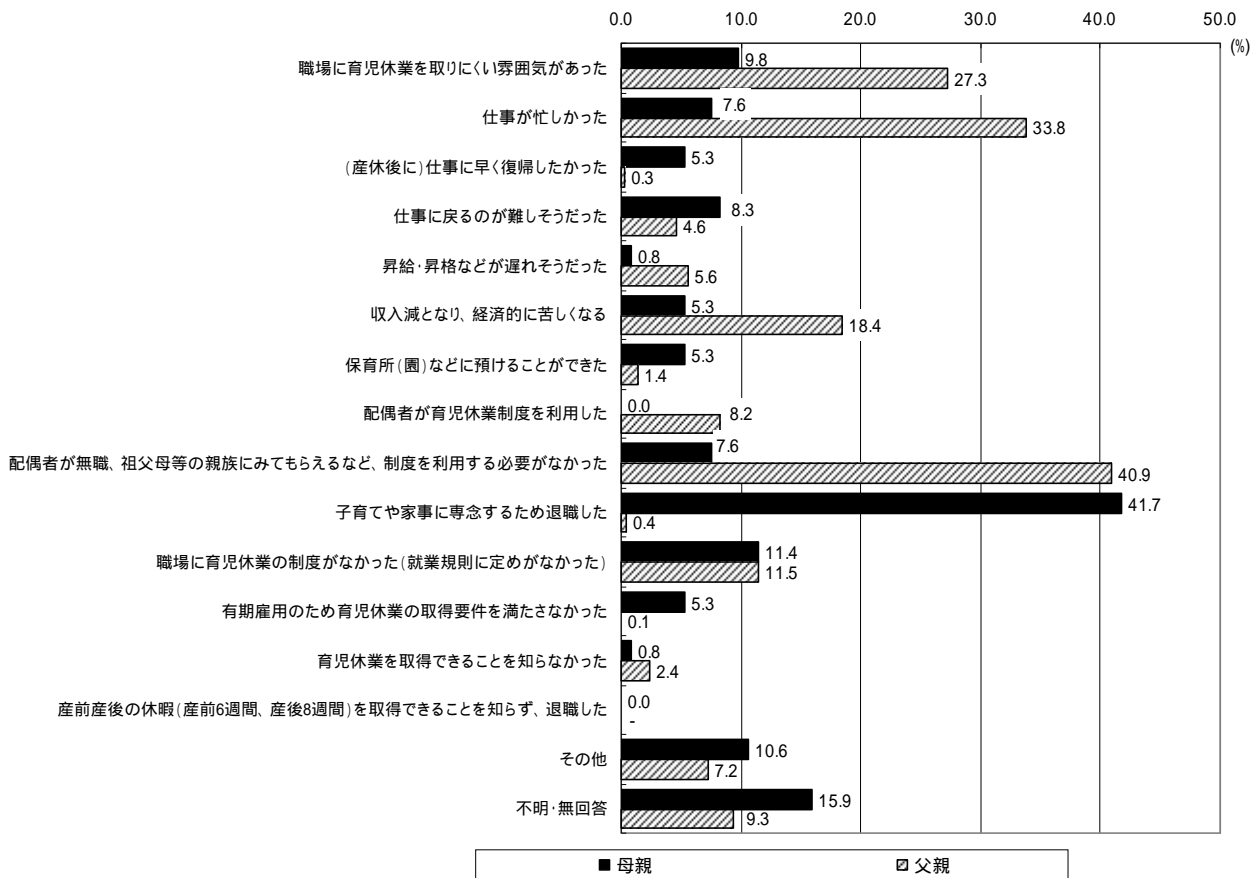
6. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問16 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(SA)

育児休業を取得の有無については、母親は「取得した(取得中である)」が13.5%いるものの、「働いていなかった」が68.2%で最も高く、父親は「取得していない」が大半の89.1%となっています。



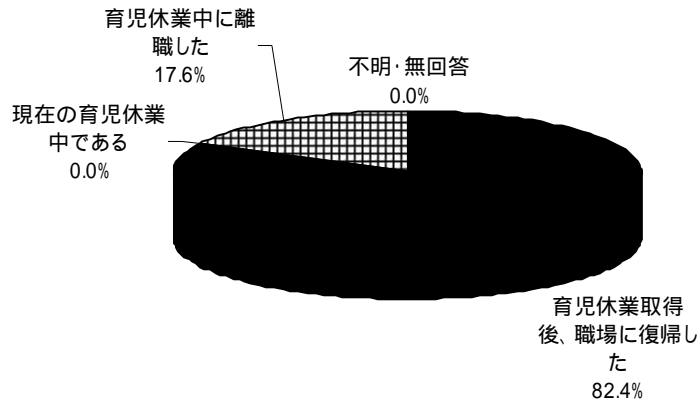
育児休業を取得していない理由としては、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(41.7%)と最も高く、父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」とする人が最も高く40.9%となっています。



[問16で母親が「2.取得した(取得中である)」と回答した方に]

問16-1 母親：育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(SA)

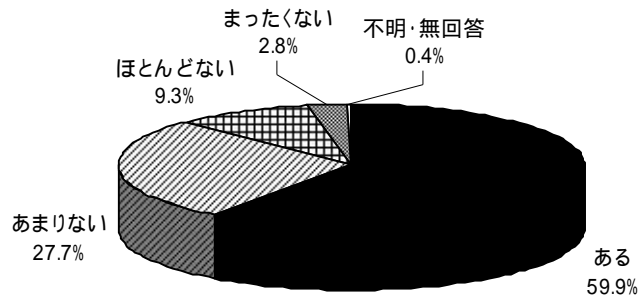
育児休業取得後、職場への復帰の有無については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が82.4%と大半を占めています。



7. 子育てへの思いについて

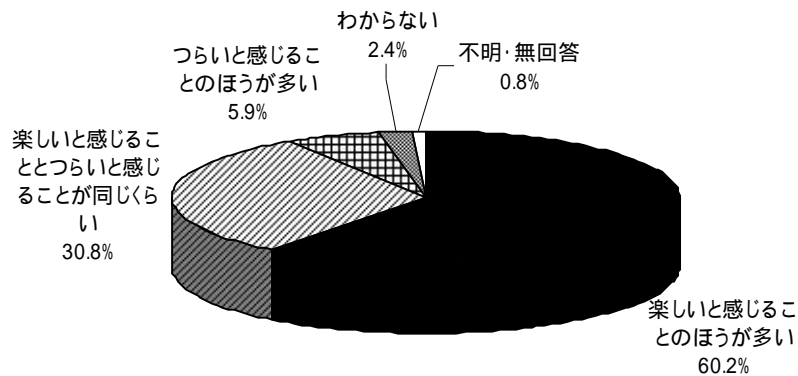
問17 子育てに関して情報を基に考えたり、家族で話し合ったりする時間はありますか。(SA)

子育てに関して情報を基に考えたり、家族で話し合ったりする時間の有無については、家族で話し合ったりする時間が「ある」という人59.9%となっています。



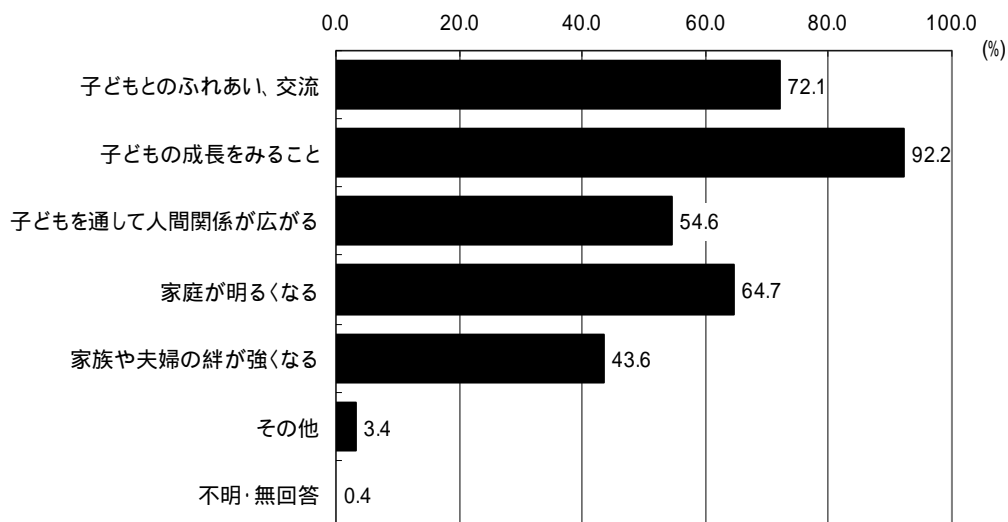
問17-1 子育てを楽しんでいることが多いですか。つらいと感じることが多いですか。(SA)

子育てを「楽しいと感じることが多い」という人が最も高く、半数以上の60.2%となっています。



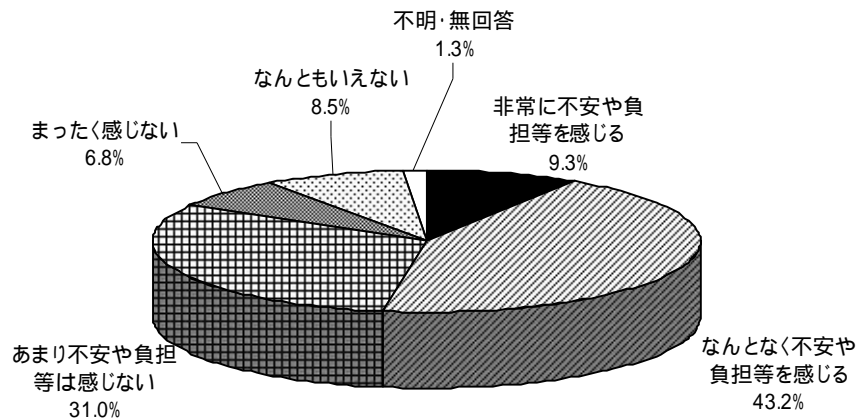
問17-2 子育ての楽しみはどんなことですか。(MA)

子育ての楽しみについて、「子どもの成長をみること」(92.2%)が最も高く、次いで「子どもとのふれあい、交流」(72.1%)となっています。



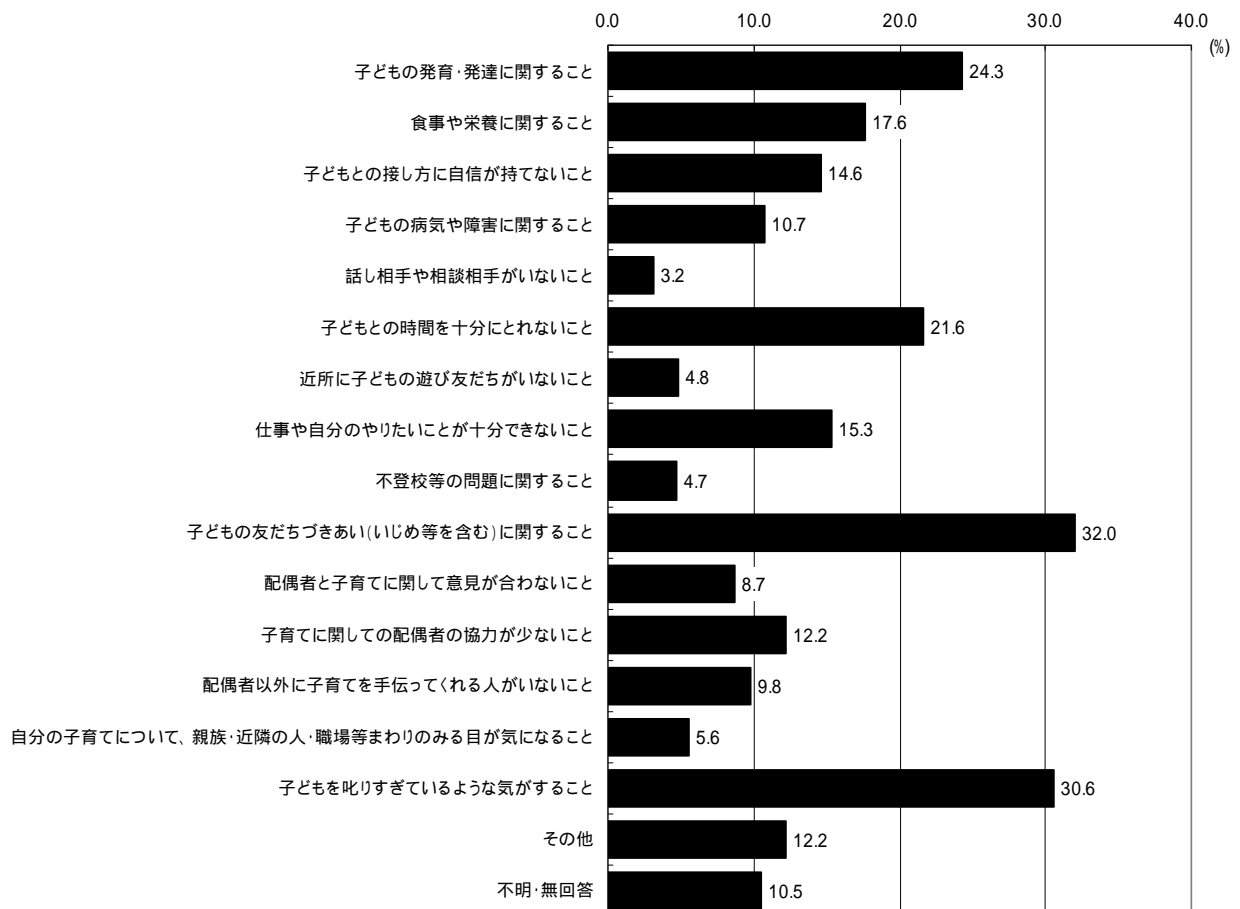
問17-3 子育てに関して不安や負担等を感じますか。(SA)

子育ての不安や負担について、「なんとなく不安や負担等を感じる」が43.2%と最も高くなっています。また、「非常に不安や負担等を感じる」という人が9.3%いる一方で、「まったく感じない」が6.8%となっています。



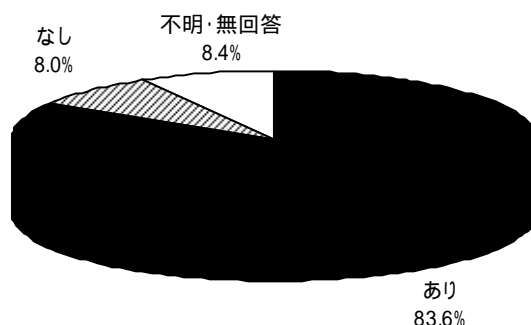
問17-4 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。(MA)

日頃の悩みや気になることについては、「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」が32.0%と最も高く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がすること」(30.6%)となっています。



問17-5 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(SA)

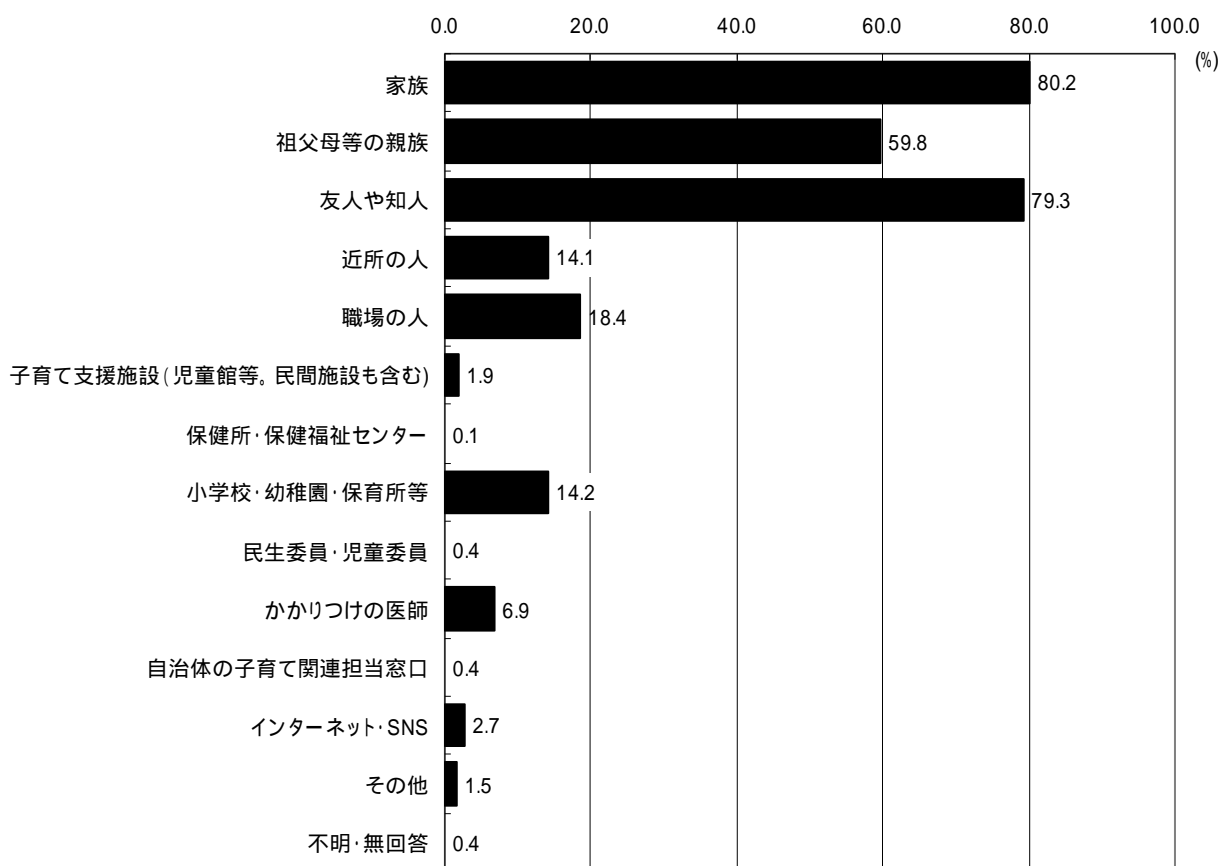
お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所について、「ある」という人が大半で83.6%となっています。



[問17-5で「1. あり」と回答した方に]

問17-6 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(MA)

お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所については、「家族」が80.2%と最も高く、次いで「友人や知人」(79.3%)となっています。

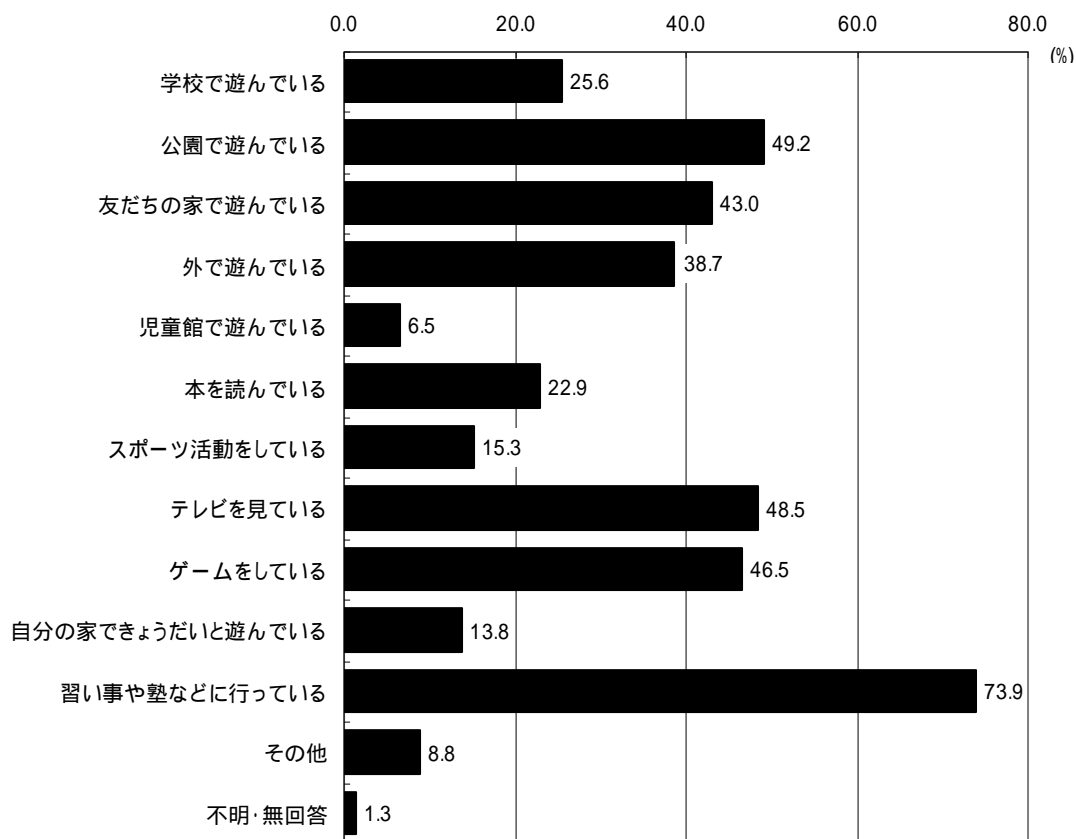


宛名のお子さん（小学4年生～6年生）ご本人について

1. 放課後の過ごし方について

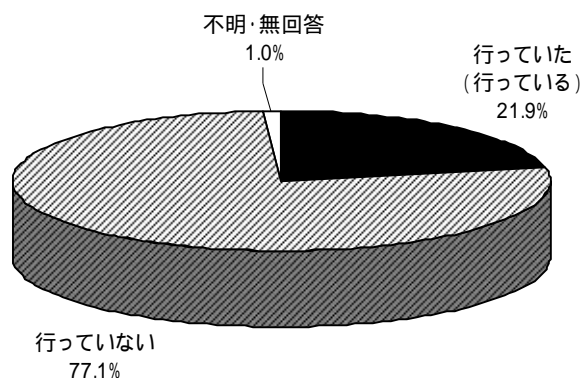
問19 放課後は何をしてお過ごしが多いですか。（MA）

小学4年生～6年生の放課後については、ばらつきがあるものの「習い事や塾などに行っている」が73.9%と最も高く、次いで「公園で遊んでいる」（49.2%）、「テレビを見ている」（48.5%）が高くなっています。



問20 あなたは留守家庭児童育成センター（学童保育）に行っていましたか。（SA）

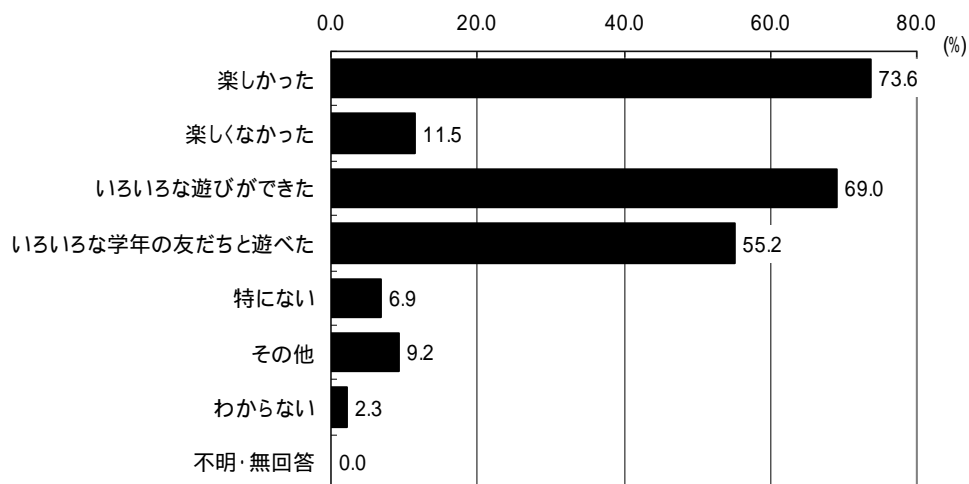
留守家庭児童育成センター（学童保育）に行っていたかどうかについては、大半が「行っていない」で77.1%となっています。



[問20で「1. 行っていた(行っている)」と回答した方に]

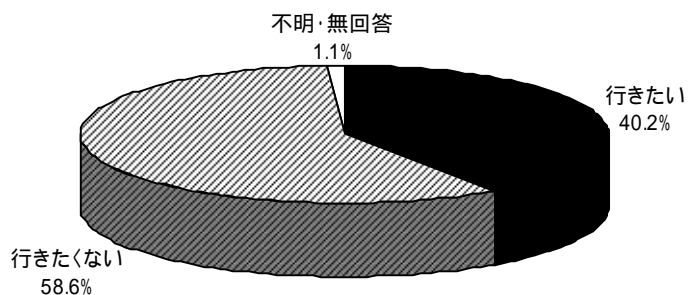
問20 - 1 留守家庭児童育成センター(学童保育)に行っていてどのように思いましたか。(MA)

留守家庭児童育成センター(学童保育)に行行って感じたことは、「楽しかった」が73.6%と最も高くなっており、次いで、「いろいろな遊びができた」が69.0%となっています。



問20 - 2 あなたは高学年になっても留守家庭児童育成センター(学童保育)に行きたいと思います(思いました)か。(SA)

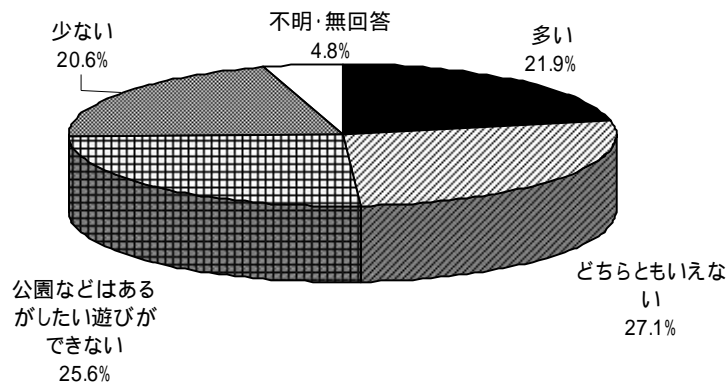
高学年になっても留守家庭児童育成センター(学童保育)に「行きたい」が40.2%となっている一方で、「行きたくない」が58.6%と半数を超え高くなっています。



2. あなたの身の回りの遊び場やその環境について

問 2 1 今住んでいるところは遊び場が多いですか。(SA)

今住んでいるところの遊び場については、回答にばらつきがあり、「どちらともいえない」が27.1%、「公園などはあるがしたい遊びができない」25.6%が高くなっています。



問 2 2 近くにあったらよいと思う遊び場などはどのようなものですか。特によいと思うものを5つ選んで、当てはまる番号に をつけてください。(5つまで)

近くにあったらよいと思う遊び場については、「ボール遊びや鬼ごっこができる空き地や原っぱ」(59.8%)が最も高く、次いで「プールやグラウンドなどのスポーツ施設」(47.0%)となっています。

